

建築工事 特記仕様書

1 工事概要
1 工事名称 H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事
2 工事場所 長野県上伊那郡 箕輪町 大字中箕輪 3730-246, 3730-247, 3730-248, 3730-275, 3730-276
3 用途地域等 都市計画区域()内() 用途地域()
防火地域等(防火・準防火()指定なし・2.2条)
その他の地域・地区()
4 主要用途 その他(農産物加工施設) (H09990)
【建築基準法 特殊建築物に該当しない】 【消防法 別表第一(12)イ】
5 敷地面積 2963.51 m²
6 工事の概要 新築 木造(在来工法) 平屋建て
7 注意事項
8 着工前の提出 質(白)練小(A3版) 2つ折製本3部, 質(白)練(A2版) 2つ折製本1部を工事打合せとして提出のこと(分層発注の場合においても、他工事面との合本を原則とする)

9 別途工事
10 特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。
○ 外構工事特記仕様書
○ 解体工事特記仕様書
○ 電気設備工事特記仕様書
○ 機械設備工事特記仕様書
II 建築工事仕様
1. 共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて公共建築工事標準仕様書(建築工種編)(国土交通省大匠官庁事務官庁事務部 平成22年版) (以下「標準仕様書」と称す)及び公共建築改修工事標準仕様書(建築工種編)(国土交通省大匠官庁事務官庁事務部 平成22年版) (以下「改修標準仕様書」と称す)による。
2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のついていない場合は※印のついたものを適用する。
(3) ※印のついたものは、共に適用する。
(4) 特記事項に記載の()内の表示番号は、建築工事標準仕様書の当該項目、当該図面又は当該表を示す。

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Contains detailed specifications for construction items like foundation, structure, and finishing.

15 特別な材料の工法
16 建築基準法による最低圧力の指定
17 設計 G.L.
18 技能士

19 工事経過記録
20 完成図等
21 完成写真
22 設備工事との取合い
23 火災保険等
24 公共事業労務費請求に対する協力
25 不法無届の排除
26 仮囲い
27 危険防止
28 交通誘導員
29 監督員事務所
30 工事表示板
31 事業コスト表示板
32 工事用水
33 工事用電力
34 工事用道路
35 足場等
36 その他の仮設

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Contains detailed specifications for construction items like foundation, structure, and finishing.

37 建設発生土の処理
38 山崩れ
39 湧水・湧水処理対策
40 既成コンクリート杭地業
41 杭の種類
42 杭の試験
43 杭の施工
44 杭打機の種類
45 杭の試験
46 杭の施工
47 杭の試験
48 杭の施工
49 杭の試験
50 杭の施工

51 鉄筋の種類
52 鉄筋の規格
53 鉄筋の寸法
54 鉄筋の加工
55 鉄筋の検査
56 鉄筋の検査
57 鉄筋の検査
58 鉄筋の検査
59 鉄筋の検査
60 鉄筋の検査

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Contains detailed specifications for construction items like foundation, structure, and finishing.

61 高力ボルト
62 溶接部の試験
63 錆止め塗装
64 耐火保護
65 アンカーボルトの保持及び埋込み工法
66 柱底地シモタル
67 溶融部めっき
68 コンクリートブロック
69 アスファルト防水
70 防水保証

71 石工
72 汚れ防止
73 タイル
74 タイル下地コンクリート
75 陶磁器タイル張り

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Contains detailed specifications for construction items like foundation, structure, and finishing.

1.3 ① 金属板 ② 断板 ③ 粘土瓦葺 ④ とい 5. ルーフドレン

1.4 ① 1. あと施工アンカー ② ステンレス表面処理 ③ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 ④ 鉄鋼の亜鉛めっき ⑤ 軽金属天井下地 ⑥ 軽金属壁下地 ⑦ 金属成形板張り ⑧ アルミニウム製笠木 ⑨ 手すり及びタラップ

1.5 セルフレベリング材 ② 仕上げ塗料仕上げ ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

4. 鋼製建築 5. 鋼製軽鋼 6. ステンレス製建築 7. 木製建築 8. 護具用金属 9. 自動ドア閉鎖装置 10. 重量シャッター 11. 軽量シャッター 12. オーバーヘッドドア 13. ガラス 14. ガラスブロック 15. カーテンウォールの性能

16. 1. 一般事項 17. ① 一般事項 18. ① 一般事項 19. ① ビニル床シート ② 化粧ビニル床シート ③ ビニル床タイル ④ 特殊遮熱床材 ⑤ 視覚障害者用床タイル ⑥ ビニル幅木 ⑦ カーペット敷き

17. ① グレーチング ② 鋼製マンホールふた ③ 再生材料 ④ 壁土材料 ⑤ 遮断層及び土壌改良剤 ⑥ 遮断層 ⑦ 遮断層 ⑧ 遮断層 ⑨ 遮断層 ⑩ 遮断層 ⑪ 遮断層 ⑫ 遮断層 ⑬ 遮断層 ⑭ 遮断層 ⑮ 遮断層 ⑯ 遮断層 ⑰ 遮断層 ⑱ 遮断層 ⑲ 遮断層 ⑳ 遮断層 ㉑ 遮断層 ㉒ 遮断層 ㉓ 遮断層 ㉔ 遮断層 ㉕ 遮断層 ㉖ 遮断層 ㉗ 遮断層 ㉘ 遮断層 ㉙ 遮断層 ㉚ 遮断層 ㉛ 遮断層 ㉜ 遮断層 ㉝ 遮断層 ㉞ 遮断層 ㉟ 遮断層 ㊱ 遮断層 ㊲ 遮断層 ㊳ 遮断層 ㊴ 遮断層 ㊵ 遮断層 ㊶ 遮断層 ㊷ 遮断層 ㊸ 遮断層 ㊹ 遮断層 ㊺ 遮断層 ㊻ 遮断層 ㊼ 遮断層 ㊽ 遮断層 ㊾ 遮断層 ㊿ 遮断層

8. フローリング張り 9. 敷き 10. 石こうボード、その他ボード及び合板張り 11. 遮音シール材 12. 断熱材 13. フリーアクセスフロア 14. 階段止り止め (ノンスリップ) 15. 床目地掃 16. 黒板及び約(バド) 17. 黒板 18. 黒板 19. 黒板 20. 黒板 21. 黒板 22. 黒板 23. 黒板 24. 黒板 25. 黒板 26. 黒板 27. 黒板 28. 黒板 29. 黒板 30. 黒板

20. 1. フリーアクセスフロア 21. 階段止り止め (ノンスリップ) 22. 床目地掃 23. 黒板及び約(バド) 24. 黒板 25. 黒板 26. 黒板 27. 黒板 28. 黒板 29. 黒板 30. 黒板

21. グレーチング 22. 鋼製マンホールふた 23. 再生材料 24. 壁土材料 25. 遮断層及び土壌改良剤 26. 遮断層 27. 遮断層 28. 遮断層 29. 遮断層 30. 遮断層

16. 点検口 17. くつきマット 18. ステンレス洗し台 19. コンロ台 20. つり戸棚 21. 水切 22. 旗竿受台 23. 旗竿 24. 扉内視板 25. 視覚障害者用誘導ブロック 26. 出溝取付材 27. かざ箱 28. 身障者用可動手すり 29. 消火器ボックス 30. ピクチャーレール

21. グレーチング 22. 鋼製マンホールふた 23. 再生材料 24. 壁土材料 25. 遮断層及び土壌改良剤 26. 遮断層 27. 遮断層 28. 遮断層 29. 遮断層 30. 遮断層

21. グレーチング 22. 鋼製マンホールふた 23. 再生材料 24. 壁土材料 25. 遮断層及び土壌改良剤 26. 遮断層 27. 遮断層 28. 遮断層 29. 遮断層 30. 遮断層

各工事の区分表

工 事 項 目	建築	電気	機械	外構	備 考
構造躯体の貫通スリーブ及び埋め	○	○	○		各工事に必要な「 ○ 」は各々の工事にする(予備は建築工事)
同上貫通の開口補強	○				
同上スリーブ及び埋め入れの穴埋め補修	○	○	○		
工場製作肉付切及び固定の天井、床、各種設備器具の穴開け、取付等及び補修	※	○	○		※下地補強のみ建築
天井付各種設備器具の穴開け、取付等及び補修	○				
設備関係家のシンダーコンクリート					
屋上、屋外及び室内設置機器及び水廻りの基礎					
同上 柱上 (防水)					
同上 用架台及びアンカーボルト埋め込み		○	○		
自動ドア・防火扉 (シャッター含む)	○	※			※煙感からの信号、1次配線
台所用VVFケーブル及び消室天井裏及び取付調整			○		2016年以降
同上ダクト接続			○		
同上電源配管、配線及び接続		○			
ユニットバス (ユニットバス以下同じ) 搬出し及び据付工事					
浴槽及び据付					
ユニットバス内シャワー水栓及び取付					
同上漏りシーリング打ち					
同上への配線及び配管接続					
キッチンキャビネット及び据付工事	○				
同上への配管接続			○		
吊戸棚、水切棚及び取付 (バックガード共)	○				
同上への照明用電源配線及び接続		○			
洗面台及び据付			○		
洗面台カウンター表面板仕上げ (製作物のみ)			○		
同上配管接続			○		
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続		○			
洗濯パン					
設備機器用スリーブ、給気用スリーブ及び取付			○		
ダクト用ベントキャップ及び取付			○		
床、壁、天井点検口 (下地補強共)	○				設備機器用は各設備工事
換気扇及び取付等への取付、配線	※	○			※配線は電気
換気扇取付等及び躯体への取付			○		
床暖房工事					
非常用照明及び誘導灯		○			
消火器					
同上表示及び収納箱					
各種配管、ダクトの開けり躯体貫通部のシーリング打ち		○	○		
エレベーター各層出入口躯体穴開け、吊りフック					
エレベーター出入口三方枠・扉上部裏板					
三方枠廻りのノ口詰め					
エレベーター機械室床、穴開け復旧工事					
資材出入口の仮設並びに復旧工事					
機器類取付後の出入口廻り(壁・床・枠等)仕上工事					
整地・ドレン・受け溝	○				
整地から第一雨までの接続	○				
同上第一雨以降の排水設備 (例・側溝等)				○	
マンホール、ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ	※1	○	○		※1タラップは建築工事 (躯体に設置する場合)
TVアンテナ、アンカーボルト取付工事			○		
屋上点検口、各種タラップ工事	○	※	※		※設置特記により電気、衛生又は空調
ゴミ集積所工事 (屋外)					1 仮設用の上下水道・ガス・電気等の加入金。
自転車庫 (屋外)					2 仮設用の上下水道・ガス・電気等に要する費
同上照明器具及び接続					3 1、2以外の工事及び設備等に要する上下水電気等に要する費用
プロパンボンベ庫					4 上下水道・ガス・電気等の加入金、負担金
同上配管工事					※ガス供給業者とする
便所の目皿・手すり		○			便器一体の手すり除く
便所のペーパーホルダー		○			
手洗い乾燥機					
浄化槽・受水槽・オイルタンク組立	※	○			※特殊基礎は建築工事
屋外駐車場、歩道工事				○	
雨水排水側溝設置工事				○	
同上排水管接続				○	

工 事 項 目	建築	電気	機械	外構	別途	備 考
・仮設用の上下水道・ガス・電気等の加入金。	○	○	○	○		
・仮設用の上下水道・ガス・電気等に要する費	○	○	○	○		
上下水道・ガス・電気等の加入金、負担金	○	○	○	○		

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

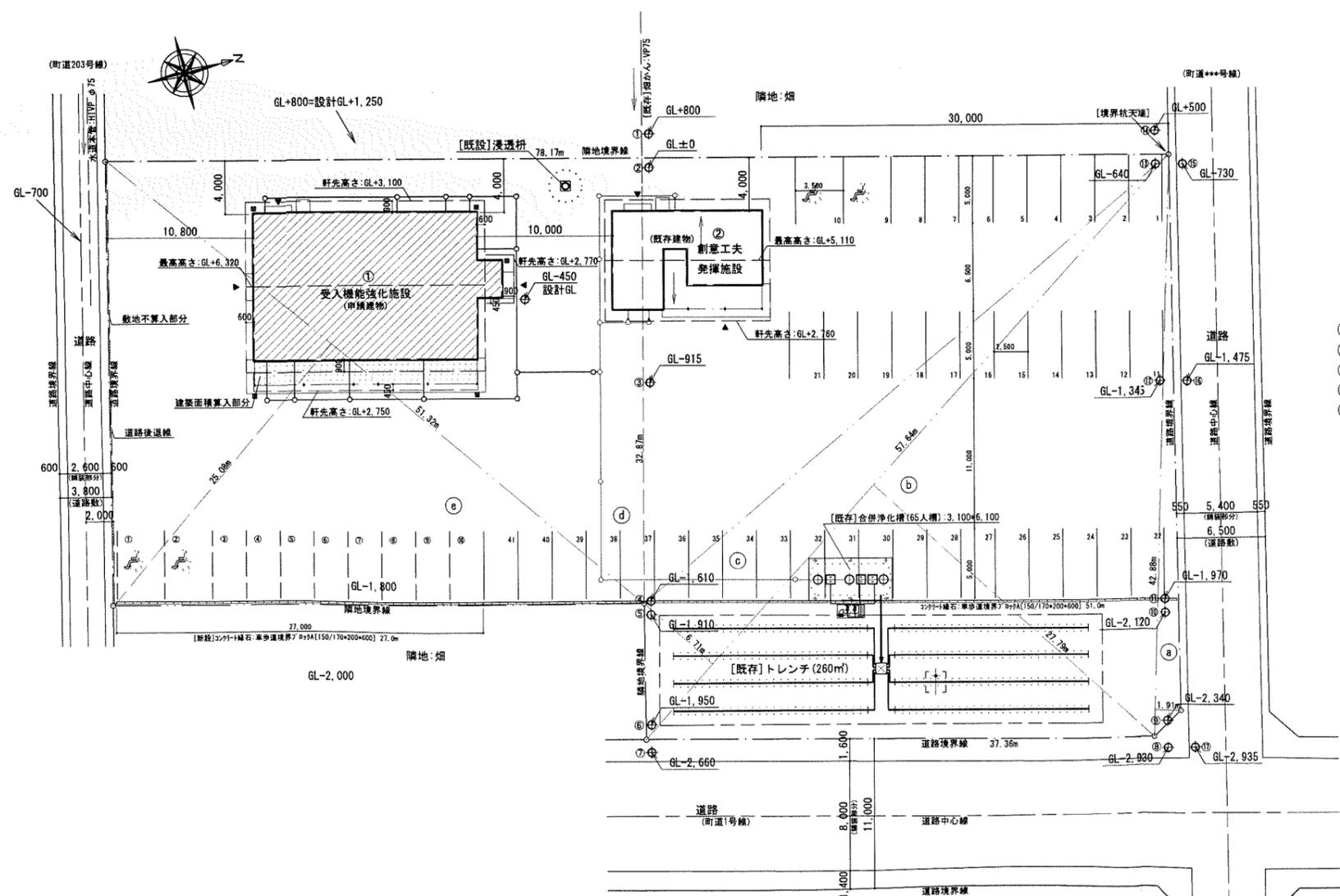
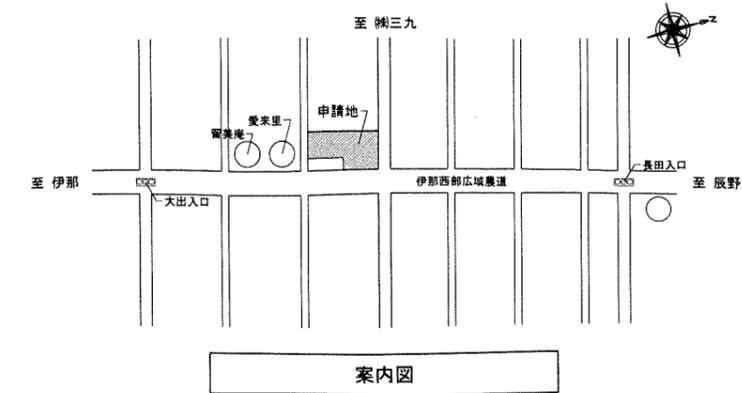
設計担当者
一級建築士 第22902号 堀口 隆

Date H 23 . 3 .
Scale

Title
H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事

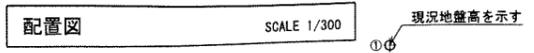
Drawing Title
工事区分表

Sheet No.
D-03 / D-21
整理番号 11005



Ⓐ	42.88 *	1.91 * 1/2 =	40.9504
Ⓑ	57.64 *	27.79 * 1/2 =	800.9078
Ⓒ	57.64 *	6.71 * 1/2 =	193.3822
Ⓓ	78.17 *	32.87 * 1/2 =	1,284.7239
Ⓔ	51.32 *	25.08 * 1/2 =	643.5528
		合計	2,963.5171

申請地: 箕輪町大字中箕輪3730-246, 3730-247, 3730-248, 3730-275, 3730-276



用途地域: 無指定 (基準: 200/60) -- 本敷地: 200/70 防火指定: 無し

敷地面積	2,963.51 m ²			
敷地内建物面積表				
	建築面積		延べ面積	
	申請部分	既存部分	申請部分	既存部分
① 申請建物	213.64 m ²	—	183.83 m ²	—
② 既存建物	—	79.49 m ²	—	79.49 m ²
合計	213.64 m ²	79.49 m ²	183.83 m ²	79.49 m ²
敷地内建築面積		293.13 m ²	敷地内延べ面積	
建ぺい率		9.90 %	容積率	
			8.89 %	

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
 E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号 設計担当者
 管理 建築士 堀口 隆
 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
 Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912
 一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 23 . 3 .
 Scale 1/300

Title H23年度 農村活性化支援事業
 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title 配置図 案内図 面積表
 Sheet No. D-04 / D-21
 整理番号 11005

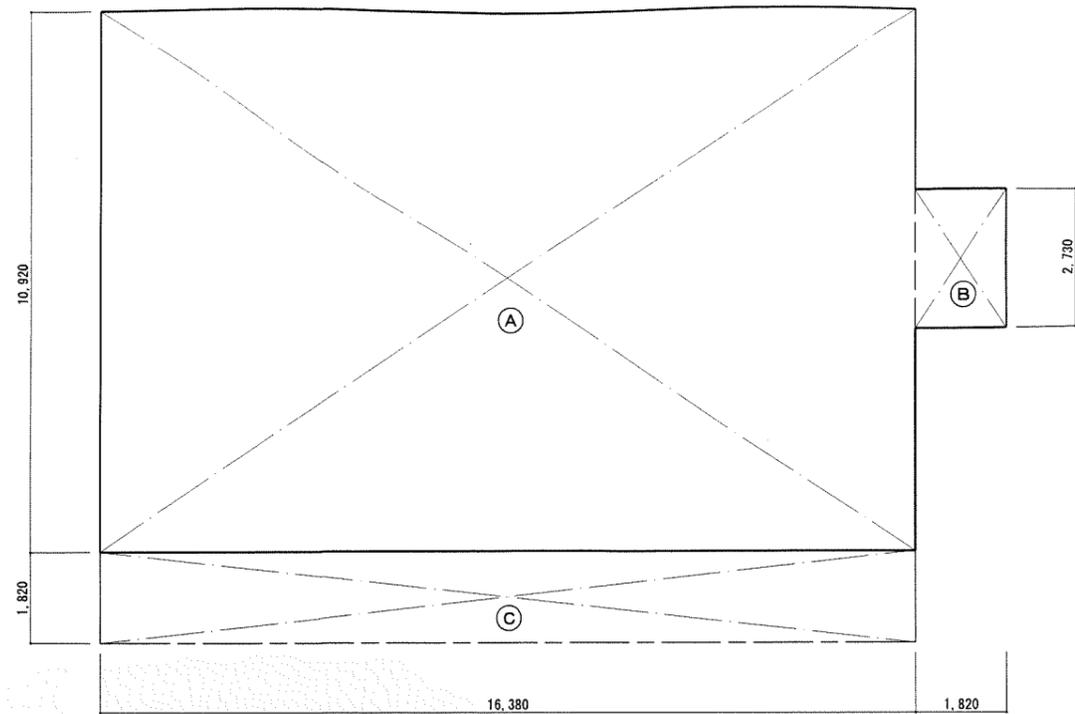
外部仕上表

屋根	ガルバリウム鋼板立平置きt=0.4(5/10勾配、玄関屋根3/10勾配) 7/10合板(T-1)t=12 下地 7/270t=10-FINING 940 唐草、ジョイント加付 - 他:屋根と同材 止金具:専用金物(カラー塗装鋼板) 2段(玄関屋根 1段)	外壁	窯業系サイディング t=16 横張り(金具留め工法) 上部:ニチハ:モリエーサー-D16Vシリーズ しびきV 同等 腰:ニチハ:モリエーサー-D16Vシリーズ 7/270t=10V 同等	断熱材	★天井裏断熱材:グラスウール t=100(防湿フィルム付) ★外壁断熱材(間柱間):グラスウール t=100(防湿フィルム付) ★土間下断熱材:ポリスチレンフォーム保温材 t=25 ★建具裏断熱材(四方): シックハウス対策換気設備:24時間換気扇、給気口(第3種換気) 靴洗い・外流し:詳細図参照 外構工事:外構図参照 庇(アルミ既製品) D=600, W=1,920:ひさしH型【三協立山7/270 同等】
棟	棟:(換気棟)ガルバリウム鋼板製[S型換気棟 同等] L=1820 5ヶ所 (一般)ガルバリウム鋼板 t=0.4加工 両押え:ガルバリウム鋼板 t=0.4 加工	根廻り	コンクリート打放し補修	その他	
破風	ガルバリウム鋼板 t=0.4加工 木下地(2段):24x150	ポーチ	天井:けい酸加シム板(半数程度 有孔板) t=6 AEP塗装 床:コンクリート打 同時金ごて押さえ		
樋	軒樋:硬質塩ビ製[シルビースタ777 同等] 受け金具:φ910 壁樋:カラービニール t=75 受け金具:φ1,820 けい酸加シム板(半数程度 有孔板) t=6 AEP塗装	犬走り	コンクリート打 同時金ごて押さえ		
軒裏	けい酸加シム板(半数程度 有孔板) t=6 AEP塗装 木製天井下地組	建具	カラーガラス(住宅用、半外付 一部:シャッター付 一部:可動扉付) へガラス 網戸付		
下屋根	屋根:折板[ガルバリウム鋼板(丸山)] t=0.5 6/6付 裏貼付付 (軒先:アルミ、タイル) 軒樋:硬質塩ビ製[角]W120[7/270折板1201型 同等] 壁樋:カラービニール t=75	柱・梁(木製)	杉材等[同等品] 塗り 柱脚金物:SUS製装飾金物		

内部仕上表

階	室名	床		巾木		壁		廻り縁		天井		天井高	備考	
		下地	レベリング	高さ	下地	高さ	下地	高さ	下地	高さ				
	前処理室 [wet仕様]	0にて	床:防汚性ビニ床シートNC t=2.0 [TAJIMA:クリナ 同等] 床:防塵塗料塗り	FL±0	床材立上+エッジシール (モルタル金ごて下地)	H=250 H=325	W+D1	壁:化粧珪藻土 t=6 珪藻土張り(目地シリング) (下端:塩ビ見切 取付)	下地:防水石膏ボード t=9.5	塩ビ製	LGS	珪藻土 t=6(目地Vカット+V処理) EP塗り	2,400	給気口[24h換気用] 捕虫器 SUS(304) 天井点検口(450口):1ヶ所 室名札
	漬物充てん包装室 [wet仕様]	0にて	床:防汚性ビニ床シートNC t=2.0	FL±0	床材立上+エッジシール (モルタル金ごて下地)	H=250	W+D1	壁:化粧珪藻土 t=6 珪藻土張り(目地シリング) (下端:塩ビ見切 取付)	下地:防水石膏ボード t=9.5	塩ビ製	LGS	珪藻土 t=6(目地Vカット+V処理) EP塗り	2,400	給気口[24h換気用] 室名札
	漬物倉庫	0にて	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0	FL±0	軟質ビニ巾木	H=75	W+D1	壁:ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=12.5	下地:石膏ボード t=9.5	塩ビ製	LGS	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=9.5	2,400	換気扇[24h換気用] 室名札
	倉庫	0にて	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0	FL±0	軟質ビニ巾木	H=75	W+D1	壁:ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=12.5	下地:石膏ボード t=9.5	塩ビ製	LGS	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=9.5	2,400	換気扇[24h換気用] 室名札
	漬物仕込室 [wet仕様]	0にて	床:防汚性ビニ床シートNC t=2.0	FL±0	床材立上+エッジシール (モルタル金ごて下地)	H=250	W+D1	壁:化粧珪藻土 t=6 珪藻土張り(目地シリング) (下端:塩ビ見切 取付)	下地:防水石膏ボード t=9.5	塩ビ製	LGS	珪藻土 t=6(目地Vカット+V処理) EP塗り	2,400	換気扇[24h換気用] 天井点検口(450口):1ヶ所 室名札
	惣菜室 [wet仕様]	0にて	床:防汚性ビニ床シートNC t=2.0	FL±0	床材立上+エッジシール (モルタル金ごて下地)	H=250	W+D1	壁:化粧珪藻土 t=6 珪藻土張り(目地シリング) (下端:塩ビ見切 取付) 一部(ノド)設置部分:SUS(430) t=0.6 張り	下地:防水石膏ボード t=9.5	塩ビ製	LGS	珪藻土 t=6(目地Vカット+V処理) EP塗り	2,700	給気口[24h換気用] 天井点検口(450口):1ヶ所 室名札 SUS7-D [設備工事]
	製品冷蔵ストック室	0にて	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0	FL±0	軟質ビニ巾木	H=75	W+D1	壁:ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=12.5	下地:石膏ボード t=9.5	塩ビ製	LGS	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=9.5	2,400	換気扇[24h換気用] 天井点検口(450口):1ヶ所 室名札
	検査室	0にて	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0	FL±0	軟質ビニ巾木	H=75	W+D1	壁:ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=12.5	下地:石膏ボード t=9.5	塩ビ製	LGS	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=9.5	2,400	換気扇[24h換気用] 室名札
	ジャム製造室	0にて	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0	FL±0	軟質ビニ巾木	H=75	W+D1	壁:ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 一部(ノド)設置部分:SUS(430) t=0.6 張り	下地:石膏ボード t=12.5	塩ビ製	LGS	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=9.5	2,700	給気口[24h換気用] 天井点検口(450口):1ヶ所 室名札 SUS7-D [設備工事]
	パン製造室	0にて	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0	FL±0	軟質ビニ巾木	H=75	W+D1	壁:ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 一部(ノド)設置部分:SUS(430) t=0.6 張り	下地:石膏ボード t=12.5	塩ビ製	LGS	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=9.5	2,700	給気口[24h換気用] 天井点検口(450口):1ヶ所 室名札 SUS7-D [設備工事]
	玄関	0にて	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 床:防塵塗料塗り	FL±0 FL-75	軟質ビニ巾木 床材立上	H=75 H=75	W+D1	壁:ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=12.5	下地:石膏ボード t=9.5	塩ビ製	LGS	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=9.5	2,400	給気口[24h換気用] SUS箱
	廊下1	0にて	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0	FL±0	軟質ビニ巾木	H=75	W+D1	壁:ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=12.5	下地:石膏ボード t=9.5	塩ビ製	LGS	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=9.5	2,700	洗面、手洗器+カウンター 捕虫器 誘導標識 天井点検口(450口):1ヶ所
	廊下2	0にて	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 床:防塵塗料塗り	FL±0 FL-75	軟質ビニ巾木 床材立上	H=75 H=75	W+D1	壁:ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=12.5	下地:石膏ボード t=9.5	塩ビ製	LGS	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=9.5	2,700	捕虫器 誘導標識 天井点検口(450口):2ヶ所 SUS(304)箱
	更衣室	0にて	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0	FL±0	軟質ビニ巾木	H=75	W+D1	壁:ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=12.5	下地:石膏ボード t=9.5	塩ビ製	LGS	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=9.5	2,400	給気口[24h換気用] 室名札
	トイレ	0にて	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0	FL±0	軟質ビニ巾木	H=75	W+D1	壁:ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=12.5	下地:石膏ボード t=9.5	塩ビ製	LGS	ビニ床シート(抗菌)NC t=2.0 下地:石膏ボード t=9.5	2,400	換気扇[24h換気用] 室名札 衛生設備機器 ライン
<p>※注意事項 ①内部建具上木枠 上部:シリング(防カビ性)施工——ほこり溜り防止</p>														

<ul style="list-style-type: none"> 合板類、仕上材、建具、ユニット家具類は、すべて☆☆☆☆を使用することとして、現場施工前に監督員の承認を受けること。 シックハウス対策による、換気扇及び給気口を設置すること(図示による) シリング 変成シリコンシリング 防湿 土間下:ポリスチレンフォーム t=0.15 防塵、防塵措置 GL+1,000以内の外壁軸組、外壁木系下地 [環境対策品を使用のこと] D1:内部壁下地横調縦(18x40) @455 鋼製建具枠—MDF t=20[W=119程度] アングルしゃくり付 ノックアウト MDF材 見えがかり部:樹脂化粧シートとする 	<p>下地 凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> RC 鉄筋コンクリート CB コンクリートブロック ALC 軽量気泡コンクリート版 K 鋼製床組 LGS 軽量鉄骨 N 木組 0にて コンクリート金ごて押さえ 0にて モルタル金ごて押さえ M モルタル塗り PB 石膏ボード 	<p>塗装記号</p> <ul style="list-style-type: none"> SOP 合成樹脂塗合ベイント塗り AIP アルミニウムベイント塗り FE フタル酸樹脂エナメル塗り LE ラッカーエナメル塗り VP(VE) 塩化ビニル樹脂エナメル塗り AE アクリル樹脂エナメル塗り CE 塩化ゴム系エナメル塗り AC アクリル樹脂ニス塗り ②-UC 2液形ポリウレタンニス塗り EP(AEP) 合成樹脂エマルジョンベイント塗り (AEPは 外部用) G-EP 艶有り合成樹脂エマルジョンベイント塗り 	<p>防火材料 認定番号リスト</p> <p>不燃:NM 準不燃:QM 難燃:RM</p> <ul style="list-style-type: none"> T-EP 合成樹脂エマルジョン塗料塗り OC スーパーニス塗り FC フタル酸樹脂ニス塗り ①-UC 1液形油性ポリウレタンニス塗り CL クリヤラッカー塗り OS ステン塗り OP 油性塗合ベイント塗り <p>不燃:NM-8576 NM-8577 NM-8578 NM-8579 NM-8619 NM-8613 NM-9824 NM-9827 NM-9829 NM-9836 NM-8615 NM-9827</p>	<ul style="list-style-type: none"> 化粧石膏吸音ボード(t=9.5) [JIS:GB-P] QM-9822 特殊石膏吸音ボード(t=9.5) [JIS:GB-P] QM-9825 ロックウール化粧吸音板(t=9以上) [JIS:DR] NM-8599 化粧ケイカル板 NM-2183 内装複層複吹付 不燃下地:NM-8573 準不燃下地:QM-9813 難燃下地:RM-9362 ②変換(共通仕様書指定工程) 基材同等 難燃01号 ビニルクロス(防火1-1) 不燃下地:NM-9899 準不燃下地:QM-9512 金属下地:QM-9512 ②ビニルクロス(防火2-2) 不燃下地:QM-9401 準不燃下地:QM-9401 金属下地:RM-9220
---	--	---	--	---



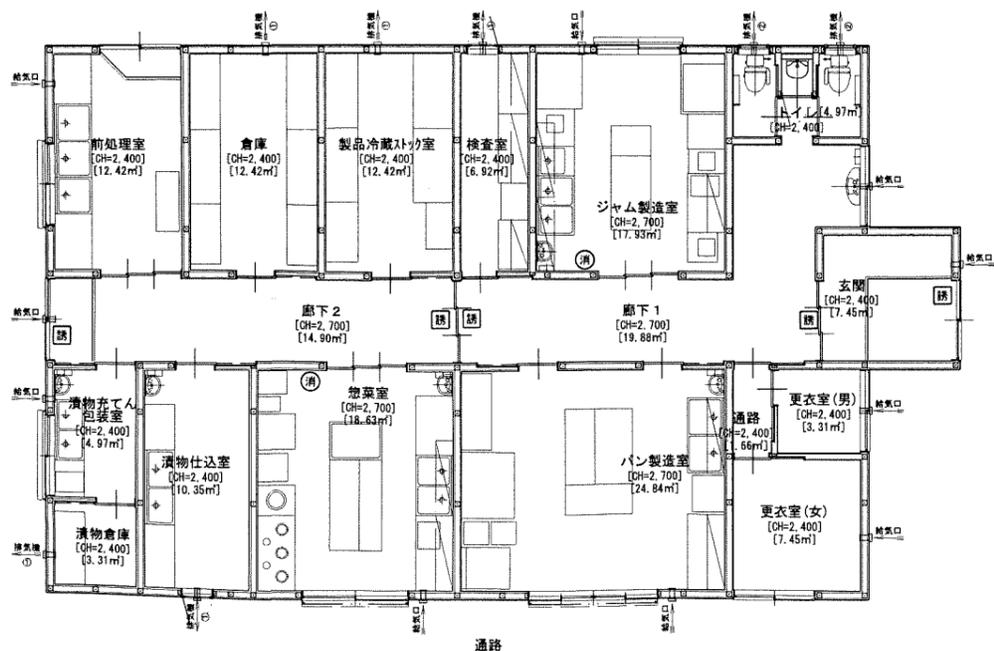
建築面積
 A: 16.38 * 10.92 = 178.8696
 B: 1.82 * 2.73 = 4.9686
 C: 16.38 * 1.82 = 29.8116
 合計 213.6498

床面積
 A: 16.38 * 10.92 = 178.8696
 B: 1.82 * 2.73 = 4.9686
 合計 183.8382

面積算定図 SCALE 1/100

シックハウス対策換気設備 最低必要排気量

室名	床面積 m ²	平均天井高 h	気積 m ³	換気種別	換気回数 n	最低必要 排気量 m ³ /h
前処理室	12.42	2.40	29.81			
充てん包装室	4.97	2.40	11.93			
漬物倉庫	3.31	2.40	7.95	給気口及び 排気機		
倉庫	12.42	2.40	29.81			
漬物仕込室	10.35	2.40	24.84			
惣菜室	18.63	2.70	50.31			
ストック室	12.42	2.40	29.81			
検査室	6.92	2.40	16.61			
ジャム製造室	17.93	2.70	48.42			
パン製造室	24.84	2.70	67.07			
玄関	7.45	2.48	18.48			
廊下1	19.88	2.70	53.68			
廊下2	14.90	2.70	40.23			
更衣室	12.42	2.40	29.81			
トイレ	4.97	2.40	11.93			
合計	183.83		470.69		0.30	141.21



シックハウス対策換気設備[機械設備工事] 凡例

排気機①	(排気)バ'イ'ファン:V-08PHLD6[三菱]→有効換気量:40m ³ /h [深型フード(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3[三菱]]	5
排気機②	(排気)バ'イ'ファン:V-08PALD6[三菱]→有効換気量:40m ³ /h [深型フード(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3[三菱]]	2
給気口	(給気)自然給気ユニット[三菱]:P-13KOU3 [深型フード(防虫網付)φ100用:P-13VSSQ3-AF[三菱]]	10

※注番はすべて同等品とする

シックハウス対策関係 凡例

- シックハウス対策 24時間換気扇
- シックハウス対策 自然給気口

- 消火器(粉末10型)[表示プレート共]—別途
- 誘導標識

法規チェック

前処理室	採光:12.42*1/20=0.621m ² 以上必要 AW2: [(1.6*0.9)*3]*1+AW6a: [(1.65*0.9)*3]*1=8.775—OK 換気:12.42*1/20=0.621m ² 以上必要 AW2: (0.78*2.0)*1+AW6a: (0.8*0.9)*1=2.28—OK 排煙:12.42*1/50=0.249m ² 以上必要 AW2: (0.78*0.325)*1+AW6a: (0.8*0.36)*1=0.541—OK
漬物充てん包装室	採光: 4.97*1/20=0.249m ² 以上必要 AW6b: [(1.6*0.9)*3]*1=4.32—OK 換気: 4.97*1/20=0.249m ² 以上必要 AW6b: (0.78*0.9)*1=0.702—OK 排煙: 4.97*1/50=0.100m ² 以上必要 AW6b: (0.78*0.36)*1=0.280—OK
漬物仕込室	採光:10.35*1/20=0.518m ² 以上必要 AW8: [(0.6*0.9)*3]*1=1.62—OK 換気:10.35*1/20=0.518m ² 以上必要 AW8: (0.6*0.9)*1=0.54—OK 排煙:10.35*1/50=0.207m ² 以上必要 AW8: (0.6*0.36)*1=0.216—OK
惣菜室	採光:18.63*1/20=0.932m ² 以上必要 AW4: [(2.105*1.3)*3]*1=8.209—OK 換気:18.63*1/20=0.932m ² 以上必要 AW3: (1.02*1.3)*1=1.326—OK 排煙:18.63*1/50=0.373m ² 以上必要 AW3: (1.02*0.46)*1=0.469—OK
検査室	採光: 6.92*1/20=0.346m ² 以上必要 AW8: [(0.6*0.9)*3]*1=1.62—OK 換気: 6.92*1/20=0.346m ² 以上必要 AW8: (0.6*0.9)*1=0.54—OK 排煙: 6.92*1/50=0.138m ² 以上必要 AW8: (0.6*0.36)*1=0.216—OK
ジャム製造室	採光:17.93*1/7=0.897m ² 以上必要 AW5: [(1.65*1.3)*3]*1=6.435—OK 換気:17.93*1/20=0.897m ² 以上必要 AW5: (0.8*1.3)*1=1.04—OK 排煙:17.93*1/50=0.359m ² 以上必要 AW5: (0.8*0.46)*1=0.368—OK
パン製造室	採光:24.84*1/7=1.242m ² 以上必要 AW3: [(2.56*1.3)*3]*1=9.984—OK 換気:24.84*1/20=1.242m ² 以上必要 AW3: (1.25*1.3)*1=1.625—OK 排煙:24.84*1/50=0.497m ² 以上必要 AW5: (1.25*0.46)*1=0.575—OK

消防法 無窓階チェック

183.83*1/30=6.128m ² 以上必要
AW1: (0.78*2.0) 2ヶ所 AW2: (0.78*2.0) 1ヶ所 —OK
AW1: (1.6*2.0)*2+AW2: (1.6*2.0)*1+AW5: (1.65*1.3)*1=11.745—OK

シックハウス対策換気設備【機械設備工事】 凡例

排気機①	(排気)ハイファンV-08PHLD6[三菱]—有効換気量:40m ³ /h (深型フード(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3[三菱])	5
排気機②	(排気)ハイファンV-08PALD6[三菱]—有効換気量:40m ³ /h (深型フード(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3[三菱])	2
給気口	(給気)自然給気ユニット[三菱]P-13KQU3 (深型フード(防虫網付)φ100用:P-13VSSQ3-AF[三菱])	10

※品番はすべて同等品とする

シックハウス対策関係 凡例

- 換気機 [] シックハウス対策 24時間換気扇
- 給気口 [] シックハウス対策 自然給気口

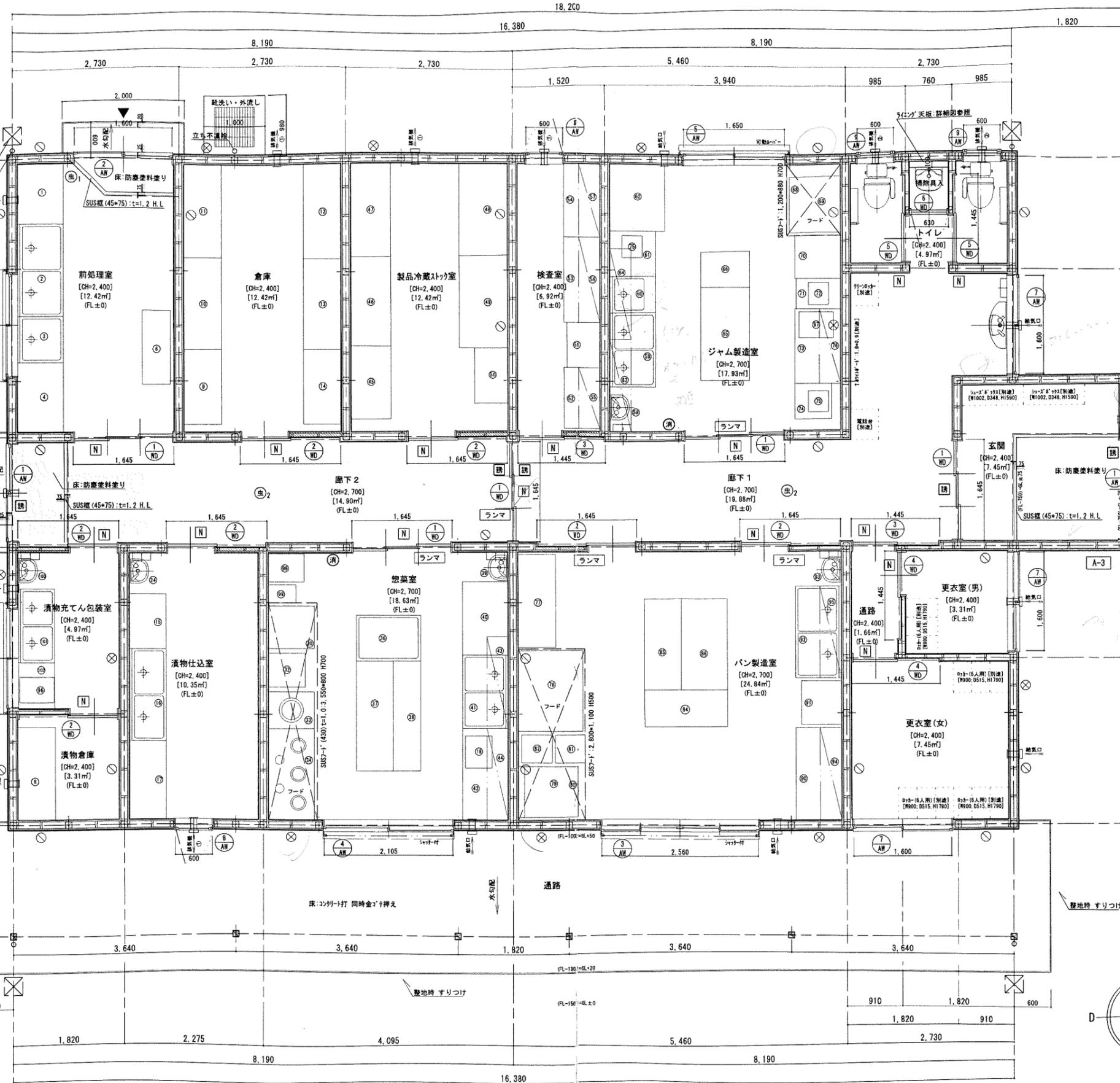
建築面積	213.64 m ² (64.62 坪)
2階床面積	—
1階床面積	183.83 m ² (55.60 坪)
延べ面積	183.83 m ²

Ⓜ 消火器(粉末10型)[表示プレート共]—別途 (2ヶ所)

凡例

管柱	105 * 105
管柱	105 * 105(化粧)
筋違	45 * 90
筋違	45 * 90 (タスキ掛け)

※片筋かしの取付方向、柱の仕口の仕様等については、壁量算定図、柱伏図を参照のこと。



記号	仕様・寸法等	数量
A-1	ワイヤネット[ホ-0]W1,805×H905 [KOKUYO]BB-FR35W 同等	1
A-2	SUS製郵便受け [杉田エス]DMK* 2型 同等	1
A-3	事業名等表示看板(400×300程度) 7カラー板 カッティングシート貼り	1
N	室名表示板(平付型):7カラー板 250×60 [杉田エス]7カラー室名サイン 同等	16
Ⓜ	誘導標識	5
Ⓜ	捕虫器 1:MP-600[同等]1ヶ所 2:MP-7000[同等]2ヶ所	

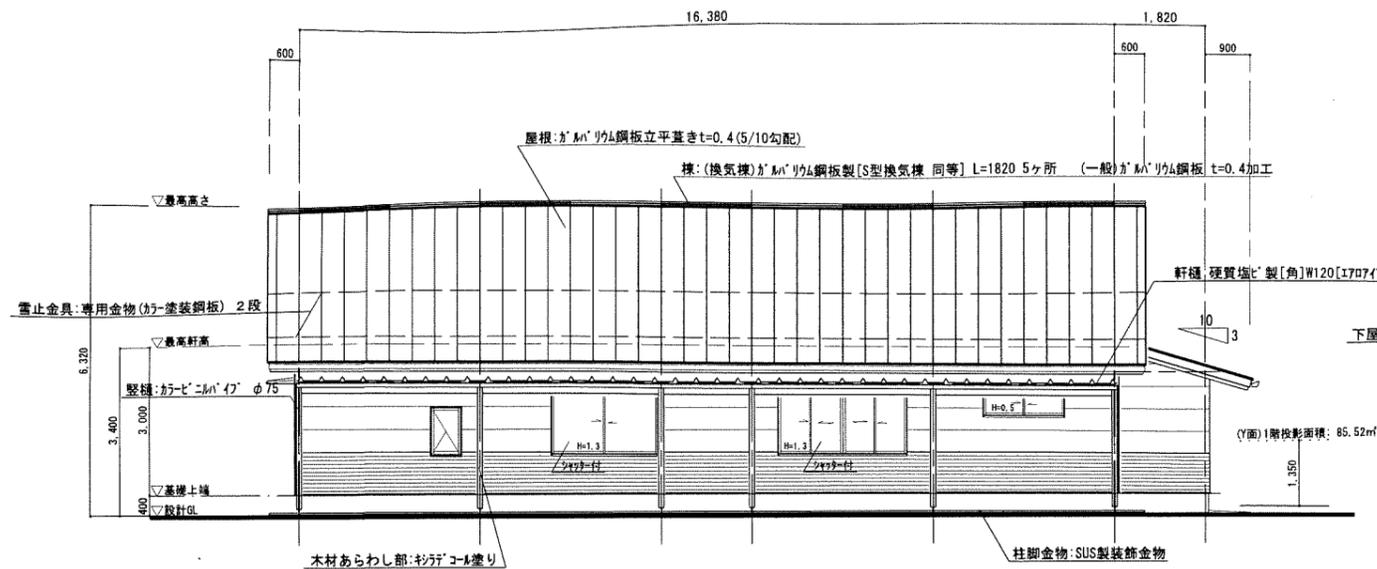
※取外し可能な壁構造とする部分(機器搬入、入替時) ※業務機器設置部分(壁際に限る)の床:一般FL+50とする(詳細は床伏図参照)。

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号 設計担当者
管理建築士 堀口 隆
一級建築士 第229022号 堀口 隆
Date H 23 . 3 .
Scale 1/50

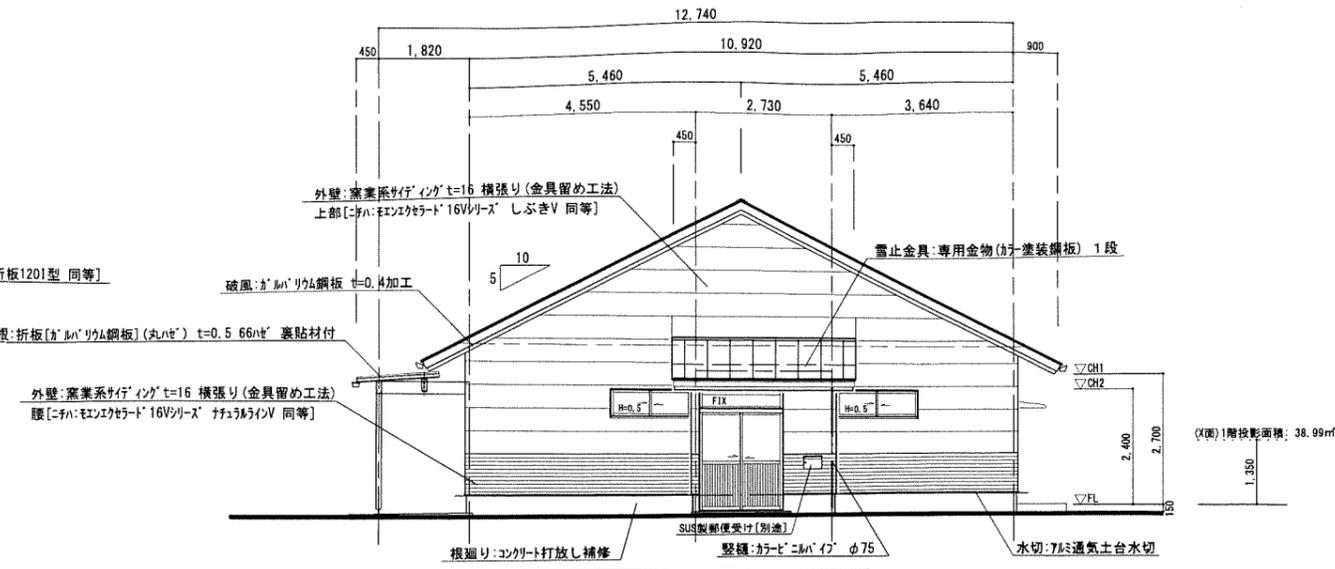
Title
H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事
Drawing Title
平面詳細図

Sheet No.
D-07 / D-21
整理番号 11005

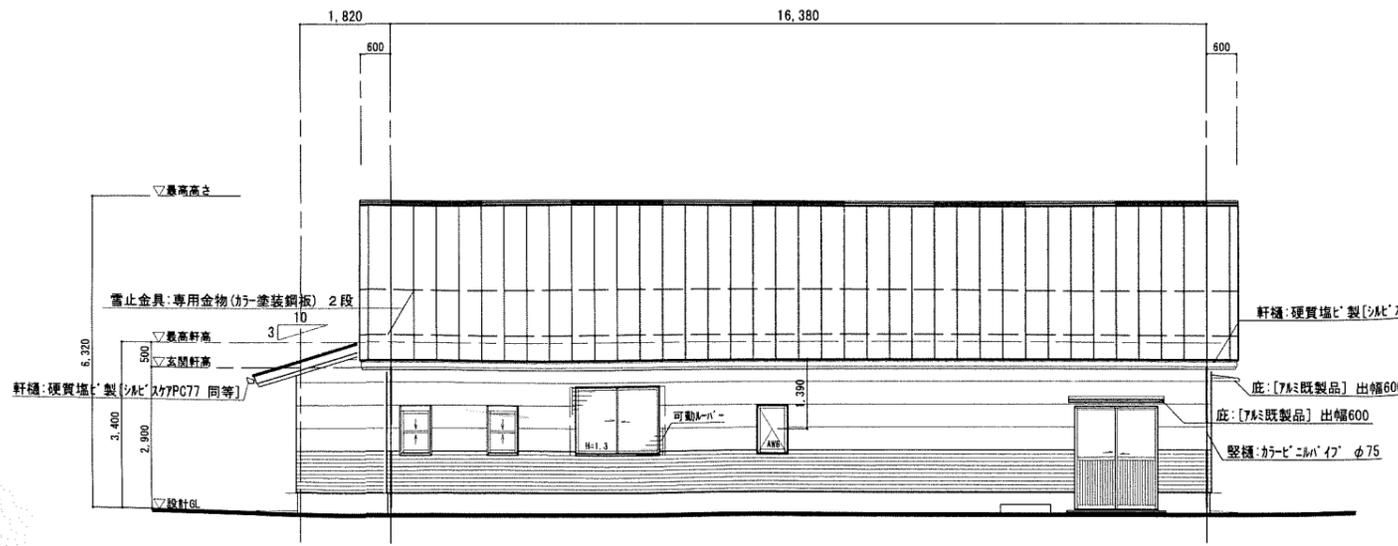


東側 立面図 SCALE 1/100

採光補正係数: 敷地の状況から明らかに ≥ 3 —3

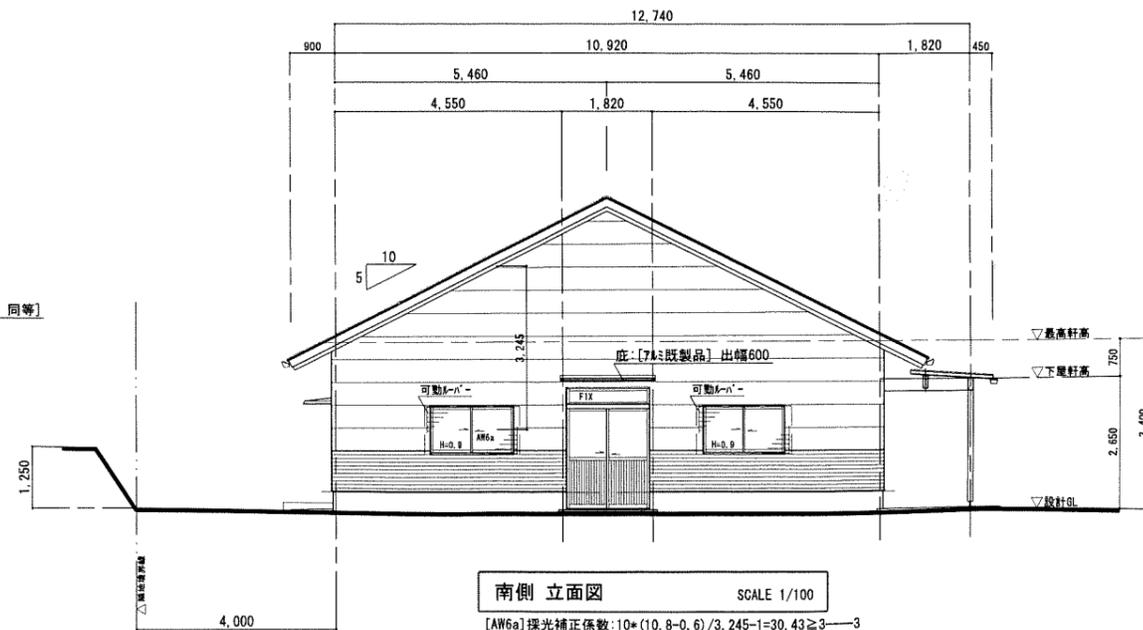


北側 立面図 SCALE 1/100



東側 立面図 SCALE 1/100

[AW8]採光補正係数: 10*(4.0-0.9)/1.39-1=21.30 ≥ 3 —3



南側 立面図 SCALE 1/100

[AW6a]採光補正係数: 10*(10.8-0.6)/3.245-1=30.43 ≥ 3 —3

無指定地域: 10d/h-1 d: 水平距離 h: 垂直距離 d/h: 採光補正係数
 ※採光補正係数算定については、一番不利な部分の算定とする
 (道路等の場合の緩和は考慮していない)

Horiguchi Architect & Associates
 堀口設計事務所
 E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)0第39211号
 管理建築士 堀口 隆
 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
 Phone 0265-79-8836 Fax 0265-79-8912

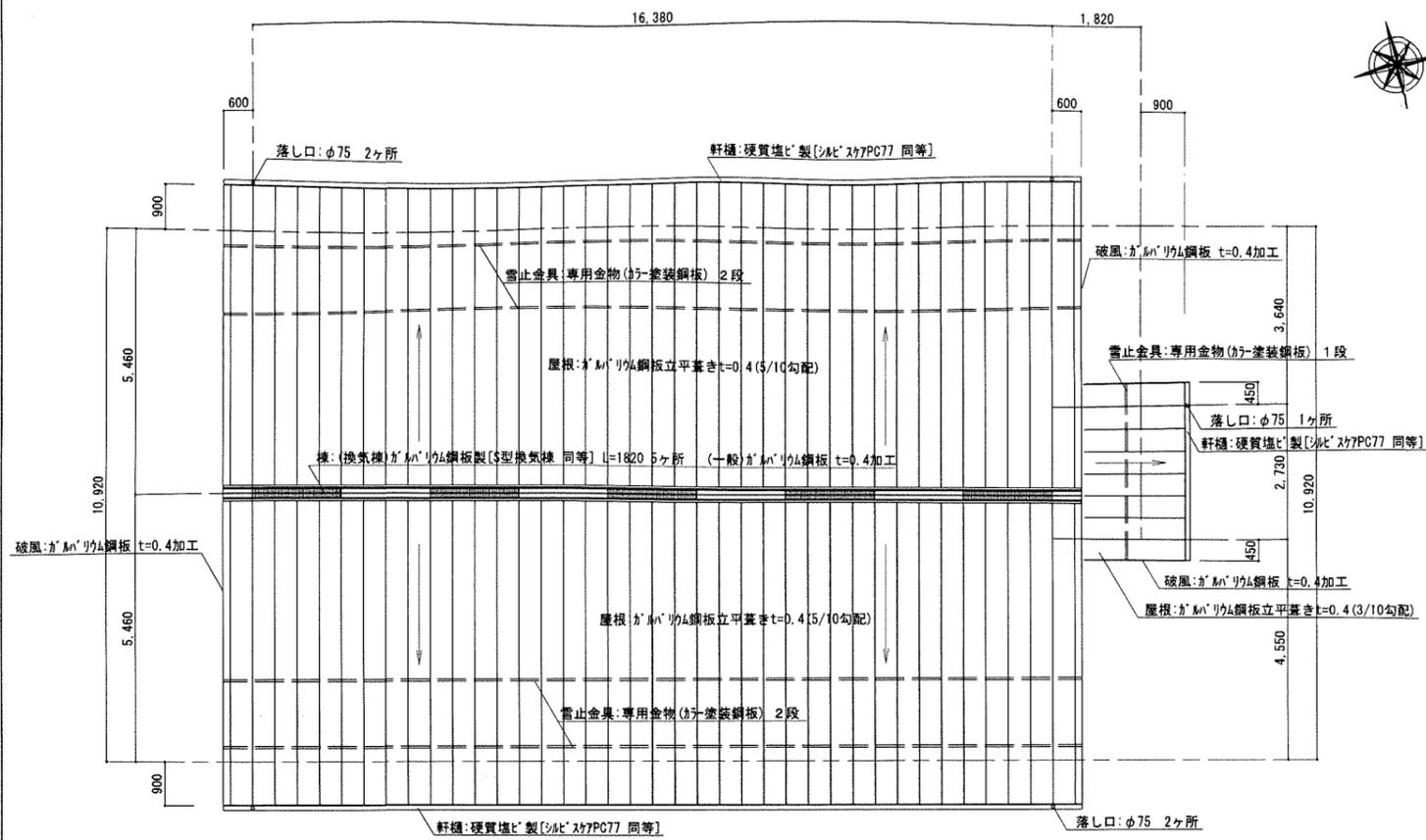
設計担当者
 一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date
 H 23 . 3 .
 Scale
 1/100

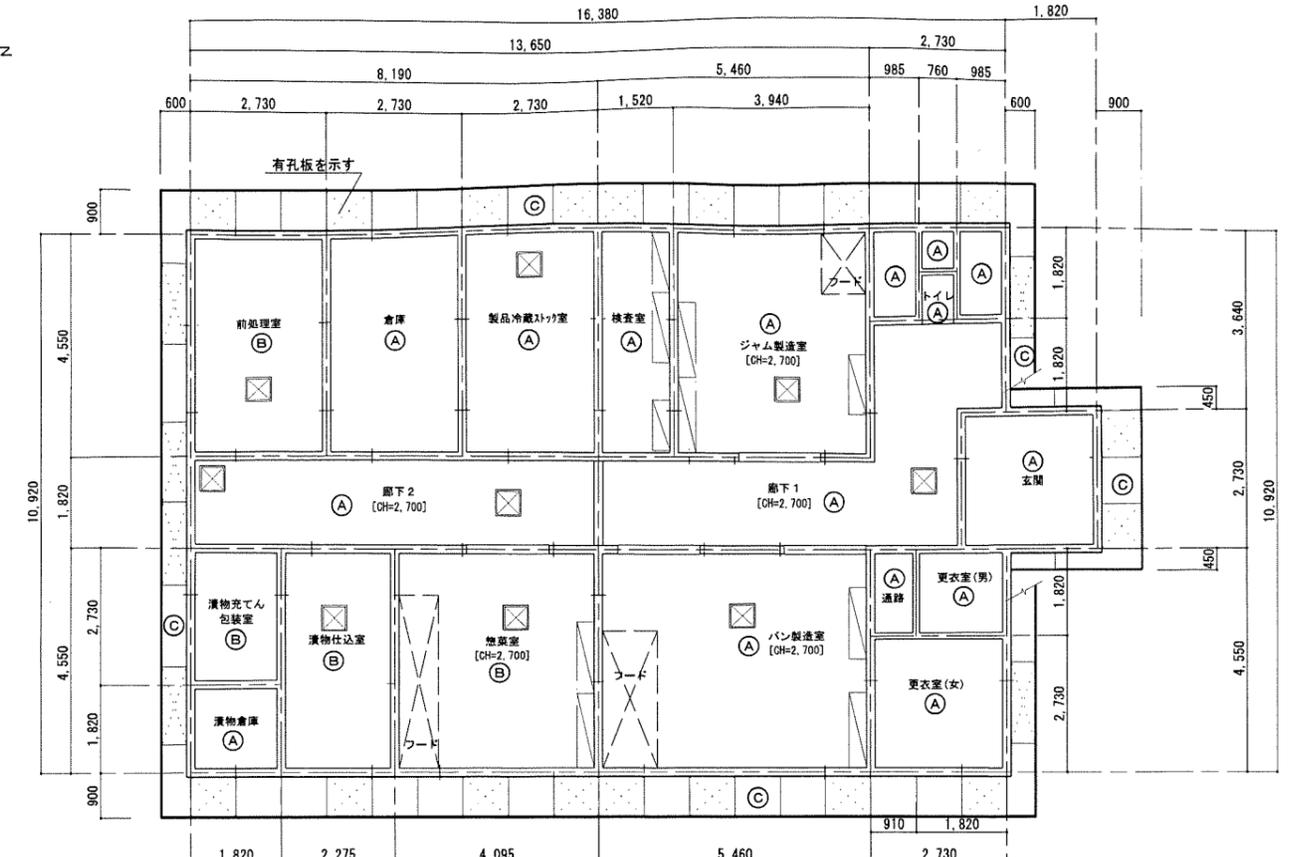
Title
 H23年度 農村活性化支援事業
 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title
 立面図

Sheet No.
 D-08 / D-21
 整理番号 11005

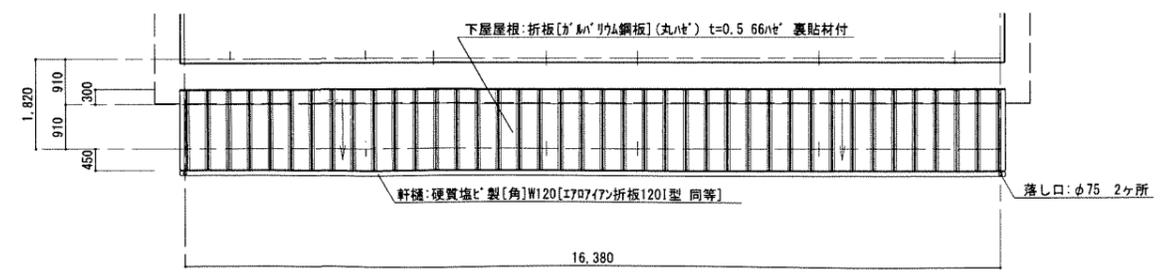


屋根伏図 SCALE 1/100

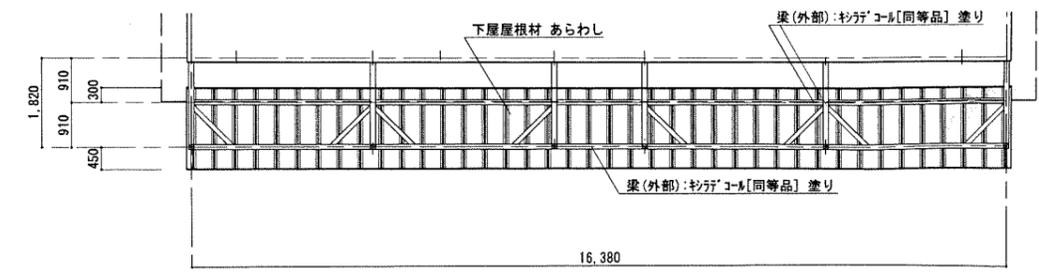


天井伏図 SCALE 1/100

※天井高さ特記なき部分は CH=2,400

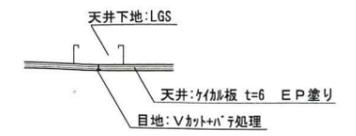


下屋部分 屋根伏図 SCALE 1/100

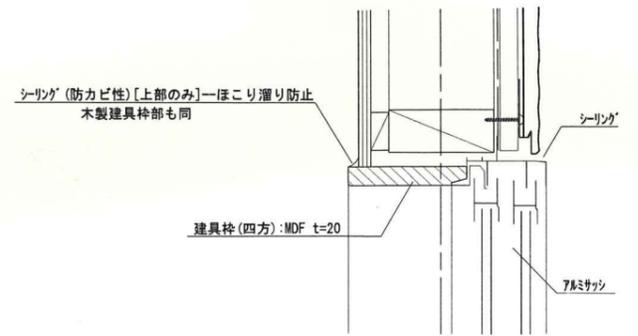


下屋部分 天井伏図 SCALE 1/100

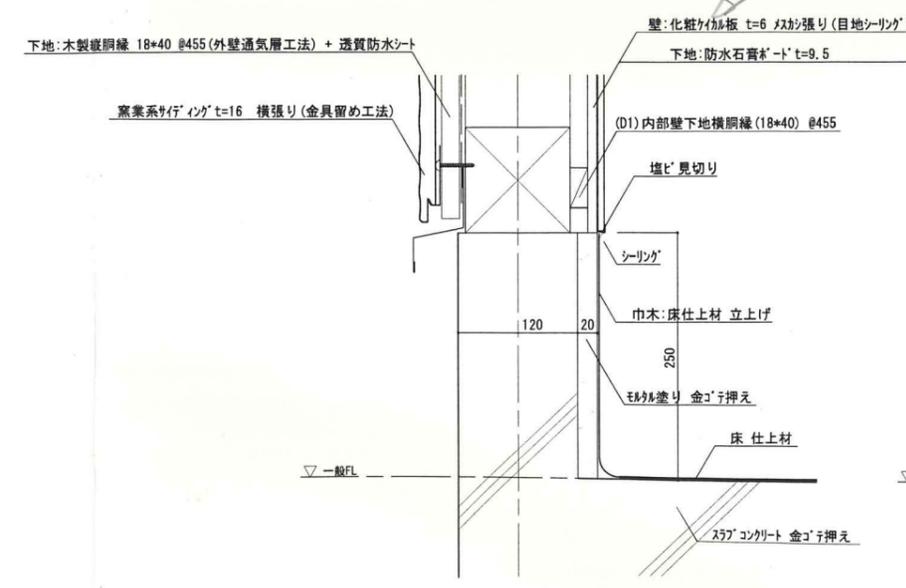
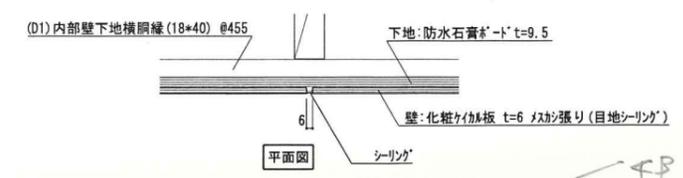
記号	仕上
(A)	天井吹付(防火2-2) [普及品] 下地:石膏ボード t=9.5
(B)	外装板 t=6 (目地Vカット+UV処理) EP塗
(C)	[外部] 付いた酸加減板 (半数 有孔板) t=6 AEP塗装
☒	天井点検口 (7尺枠) 450口 ※設置位置: 現場指示



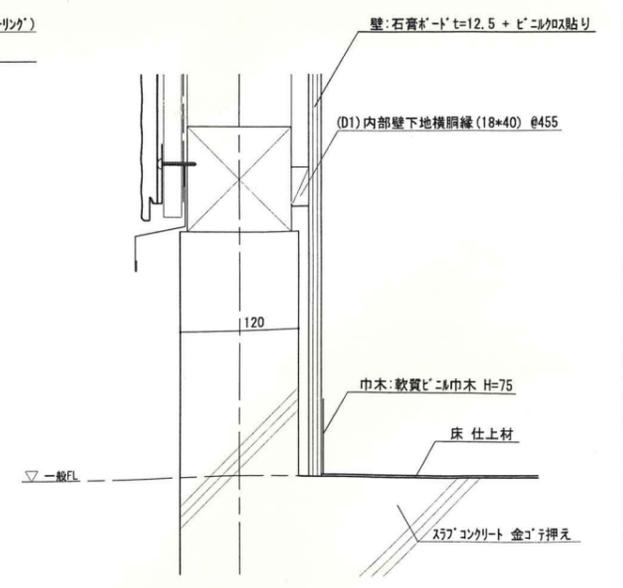
天井:石膏板+塗装 詳細図 SCALE 1/5



(内部) 建具枠廻り シリング 詳細図 SCALE 1/5



床~巾木 [wet仕様] SCALE 1/5

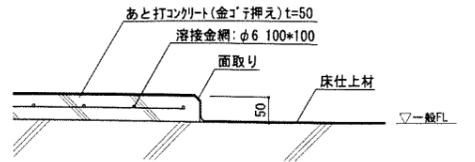


床~巾木 [wet仕様以外 (dry仕様)] SCALE 1/5

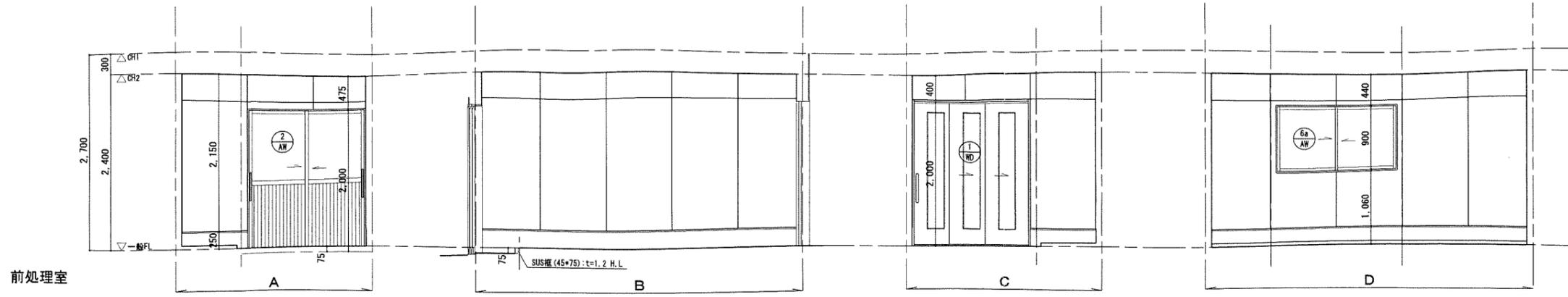


床伏図 SCALE 1/50

一般FL+50部分(あと打ちコンクリート部分)を示す

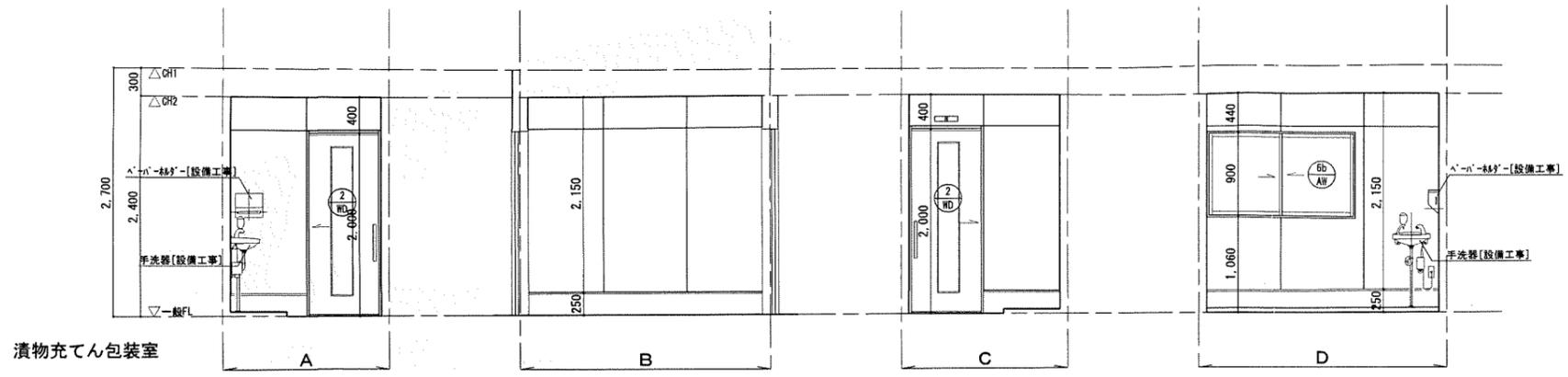


断面図 SCALE 1/10

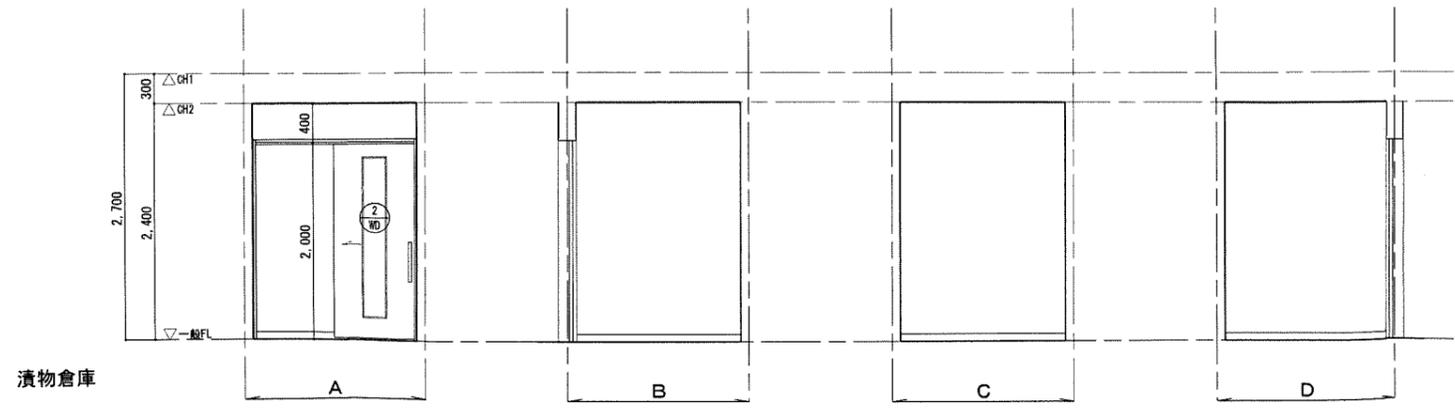


前処理室

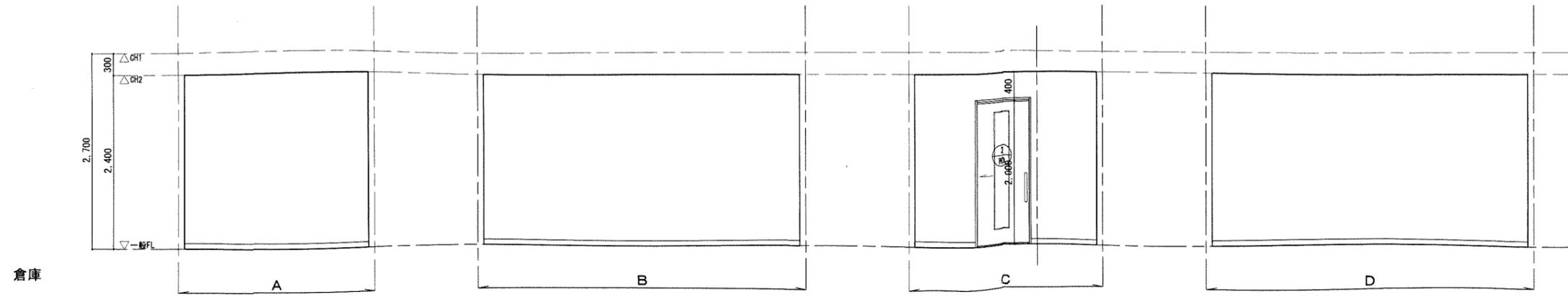
凡例
 □ 誘導標識
 □ 室名表示板(平付型): 770*60



漬物充てん包装室



漬物倉庫



倉庫

Horiguchi Architect & Associates
 堀口設計事務所
 E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

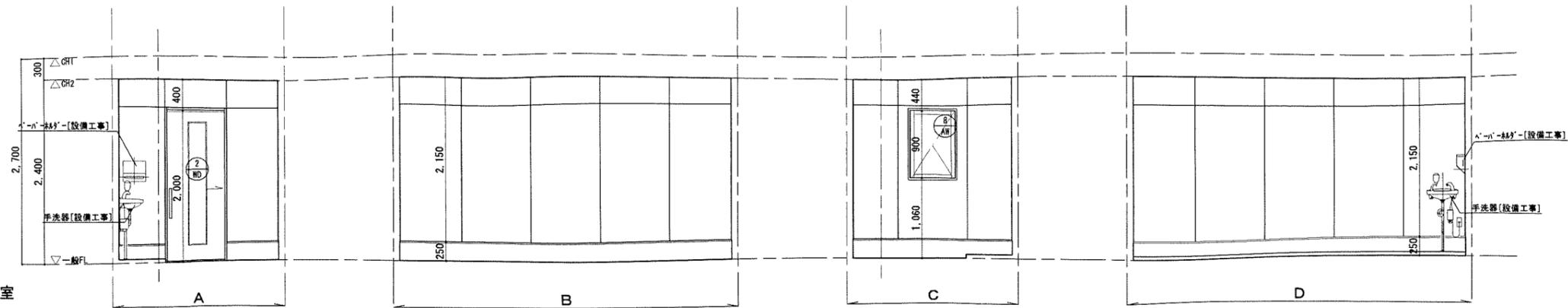
一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号 設計担当者
 管理建築士 堀口 隆
 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
 Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912
 一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date
 H 23 . 3 .
 Scale
 1/50

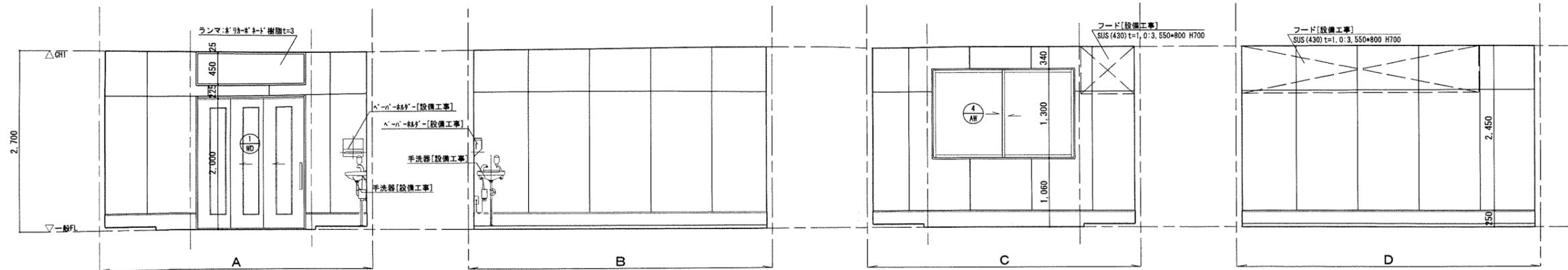
Title
 H23年度 農村活性化支援事業
 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title
 展開図 1
 Sheet No.
 D-14 / D-21
 整理番号 11005

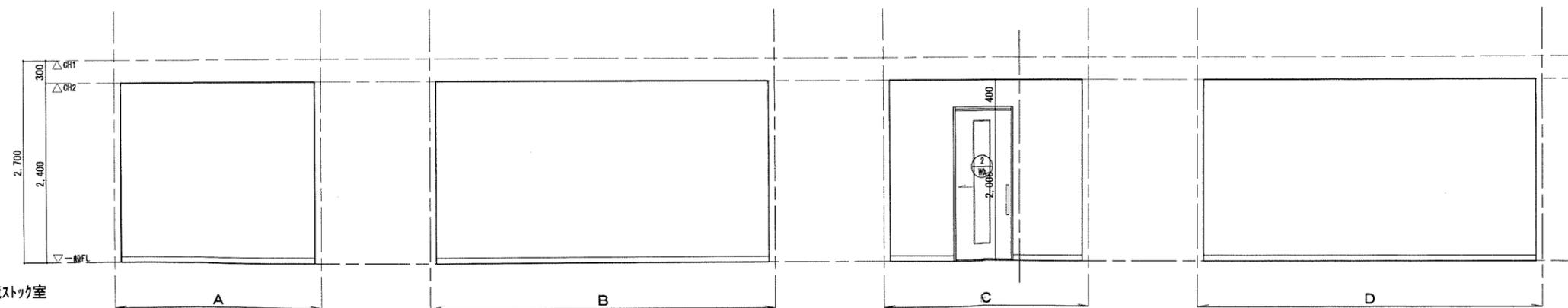
漬物仕込室



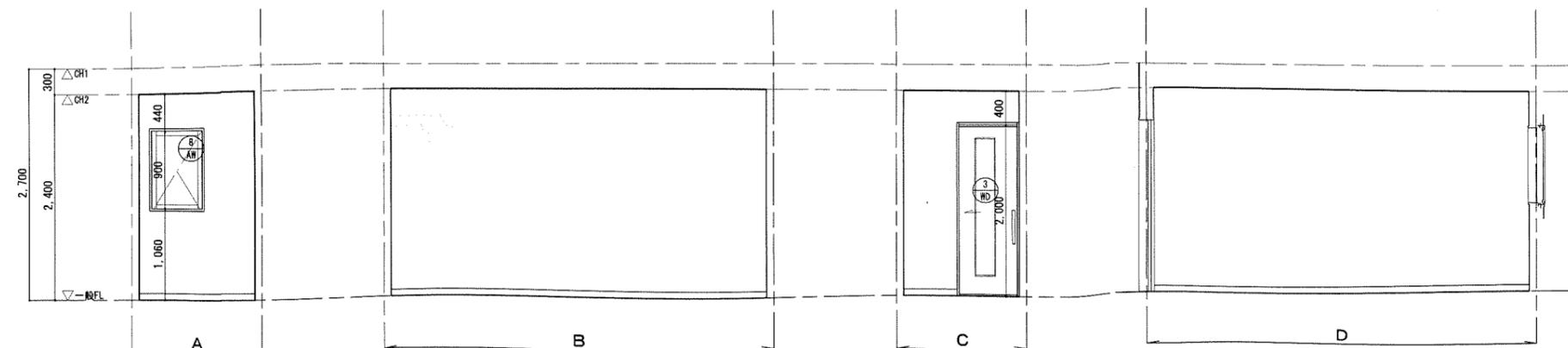
惣菜室

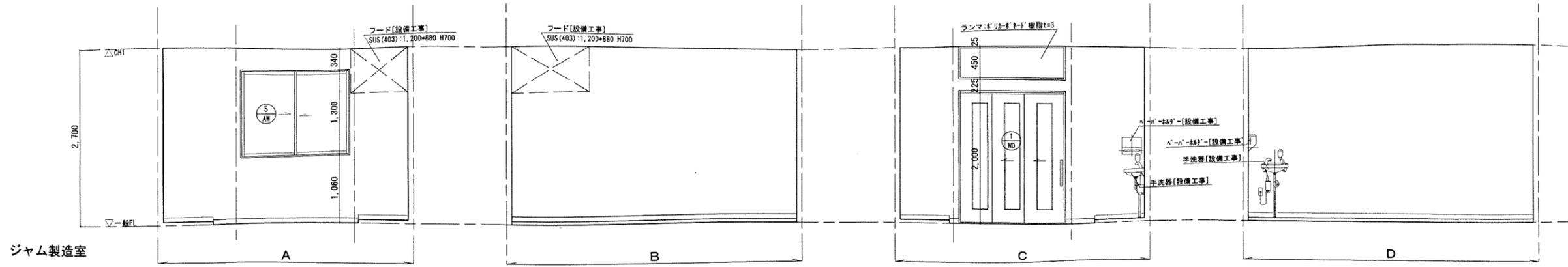


製品冷蔵ストック室

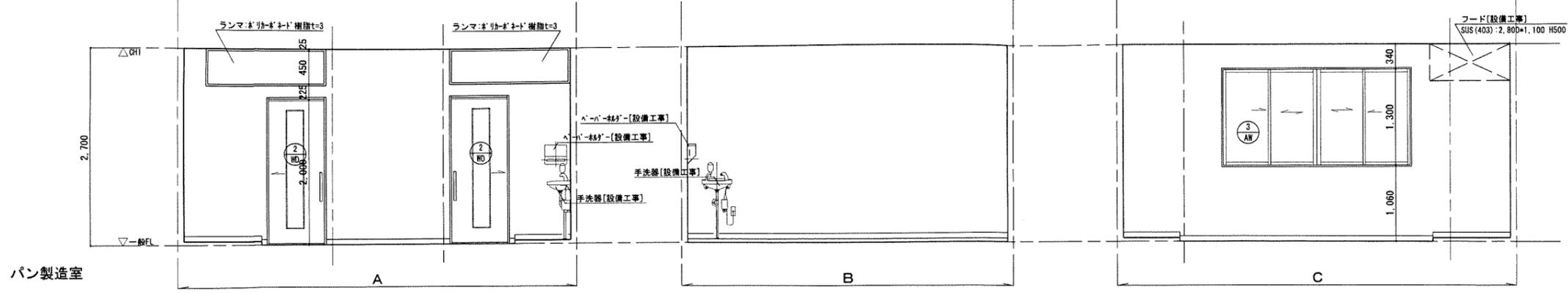


検査室

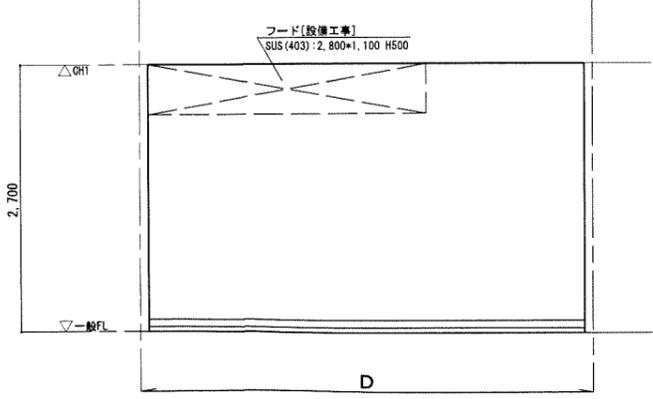




ジャム製造室

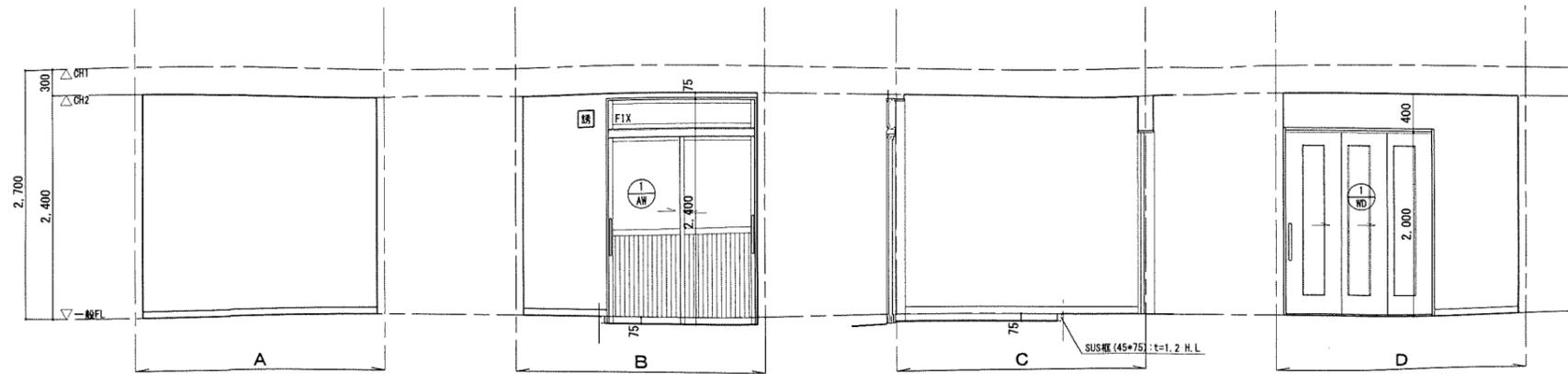


パン製造室



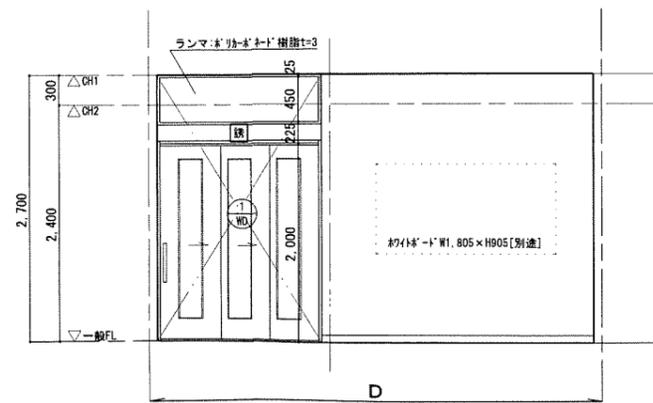
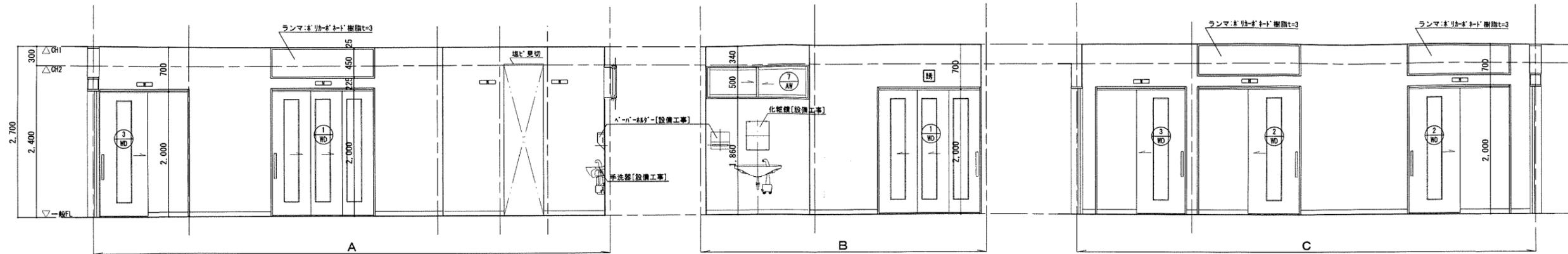
D

玄関

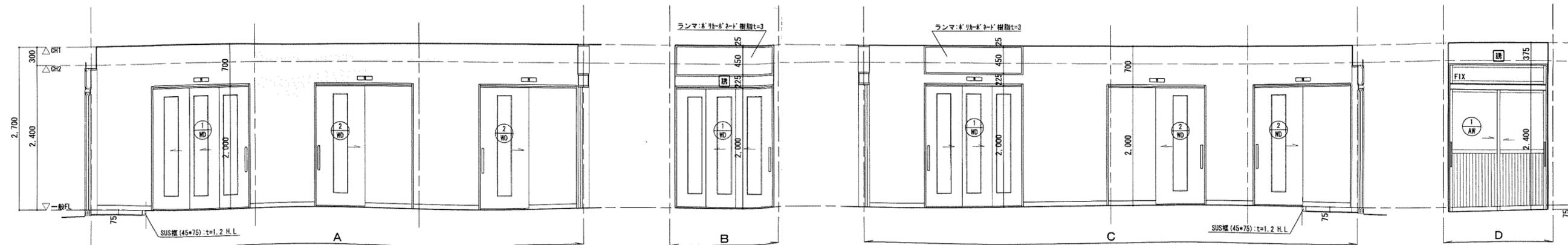


- 凡例
- 誘導標識
 - 室名表示板(平付型): 77×114板 250×60

廊下1



廊下2



Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265-79-8836 Fax 0265-79-8912

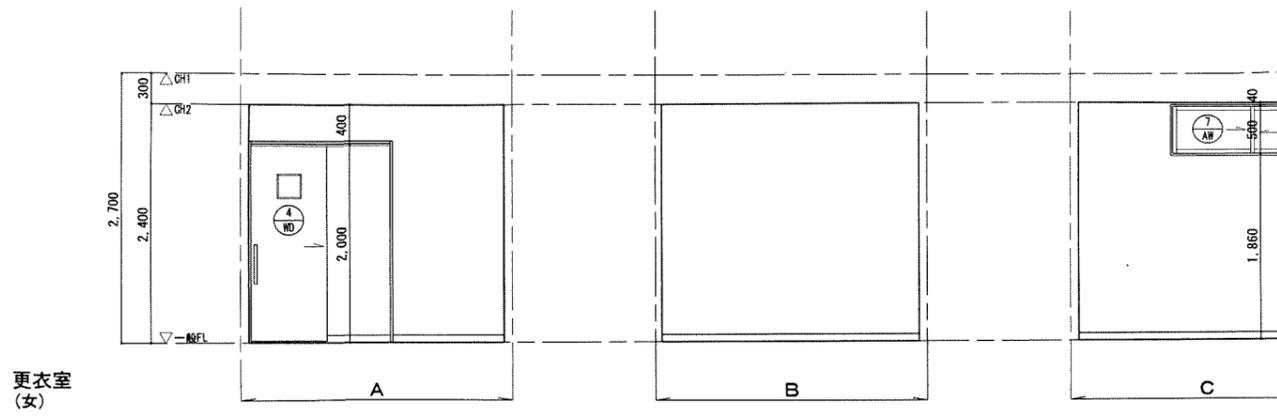
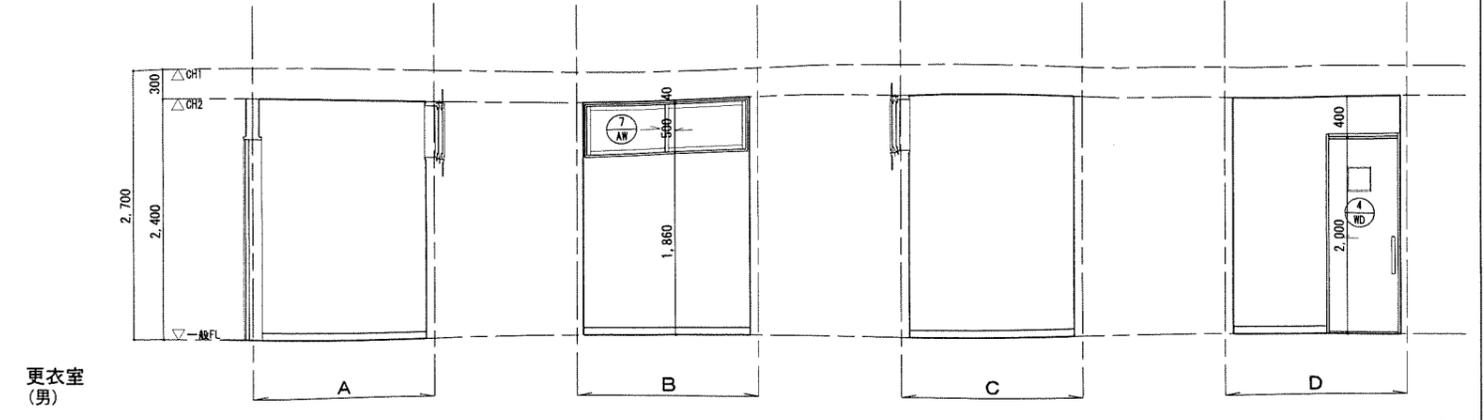
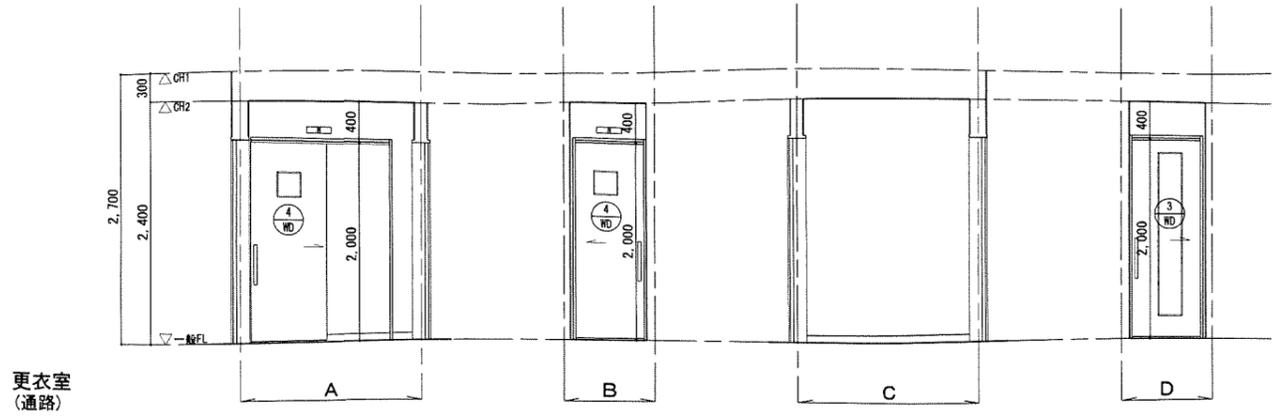
設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 23 . 3 .
Scale 1/50

Title
H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title
展開図 4

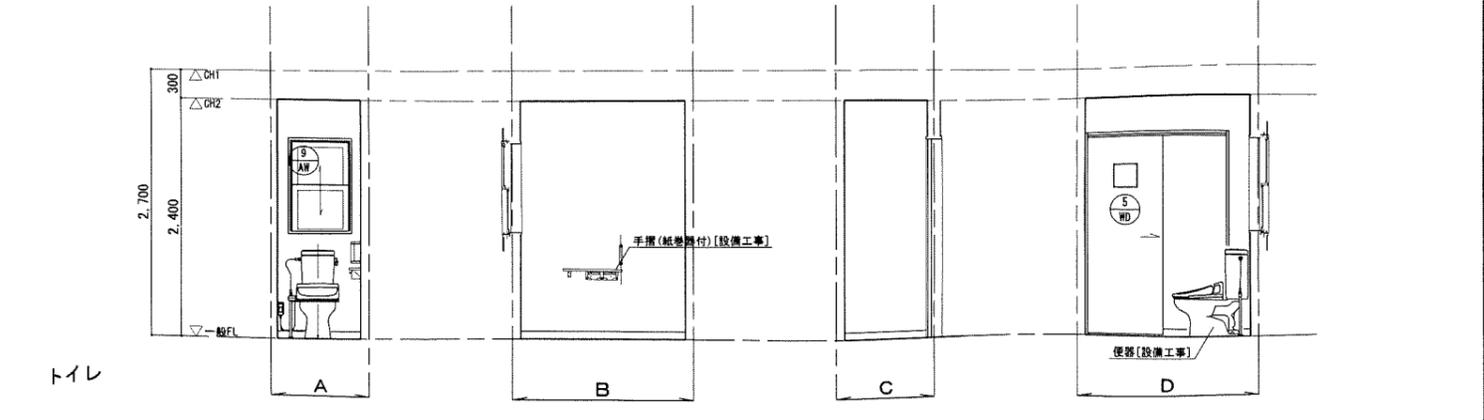
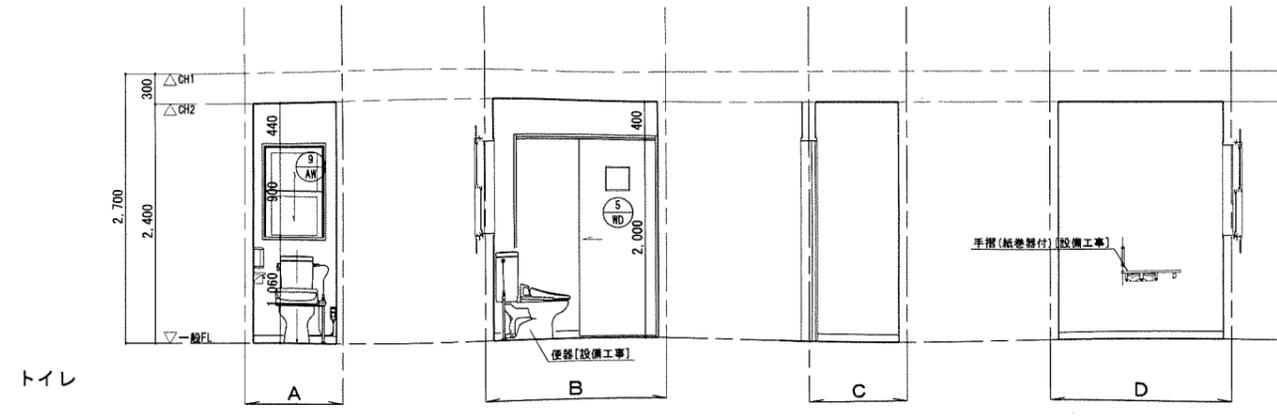
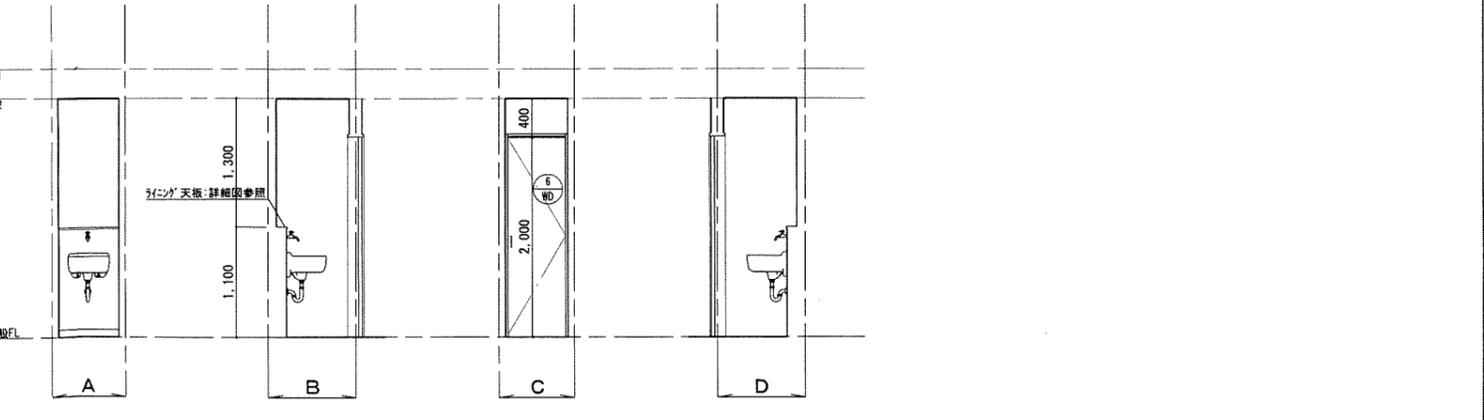
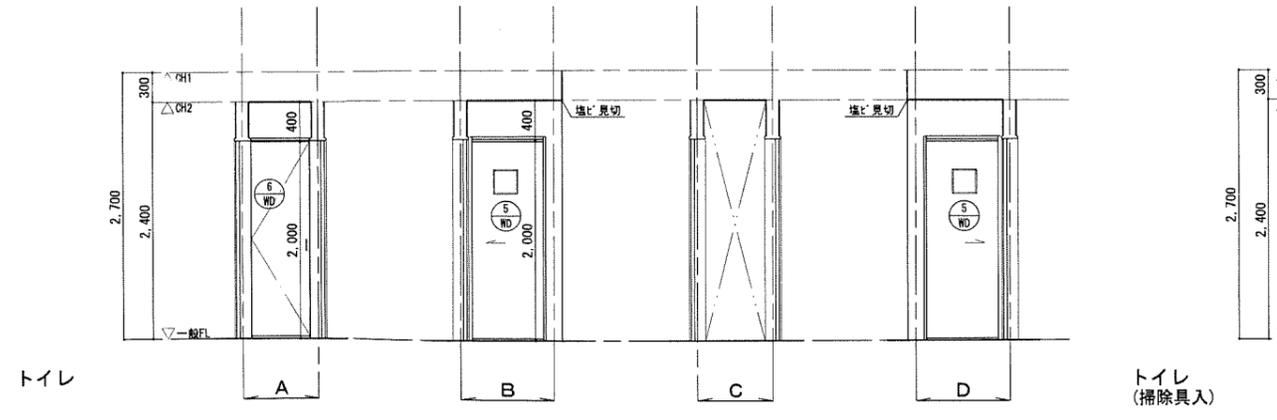
Sheet No.
D-17 / D-21
整理番号 11005



凡例

誘導標識

室名表示板(平付型):7711板 250*60



Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所

E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

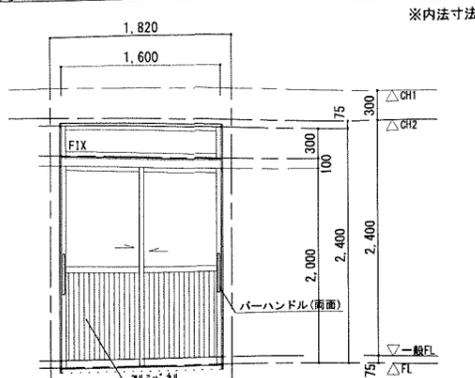
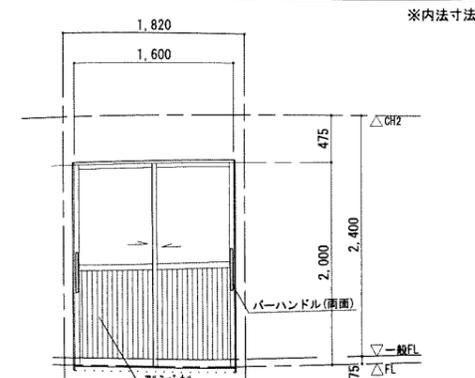
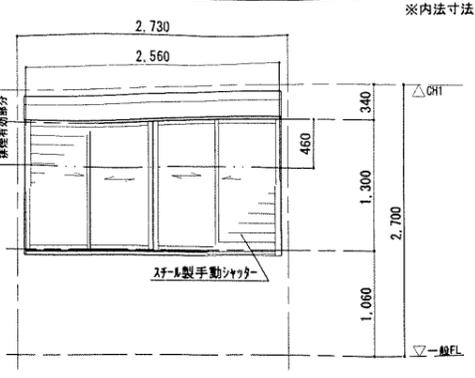
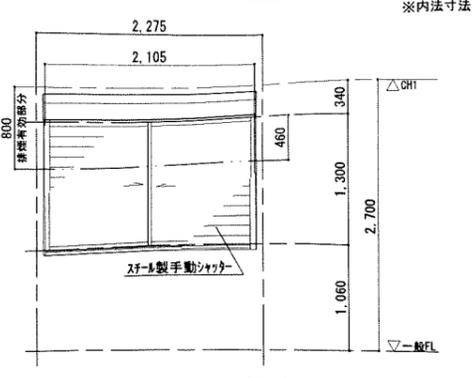
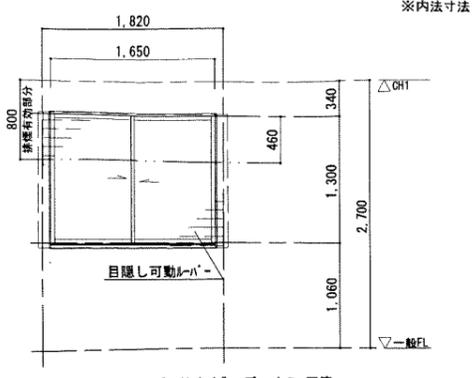
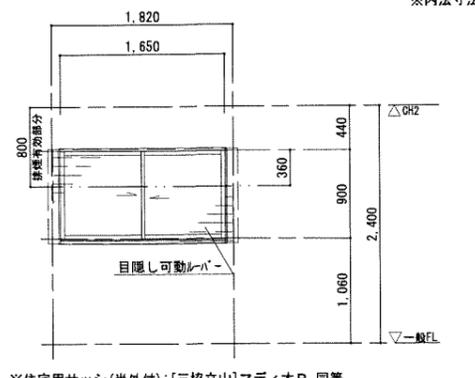
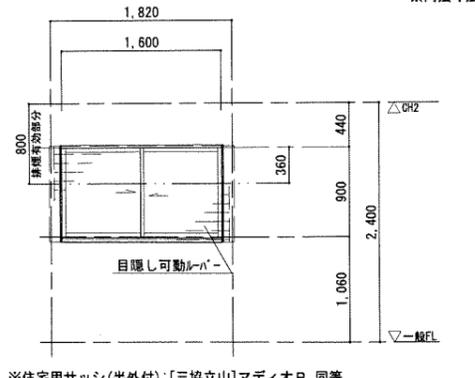
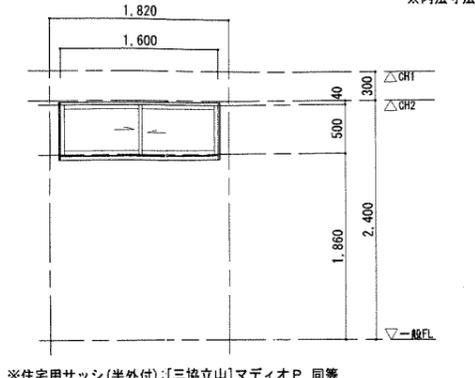
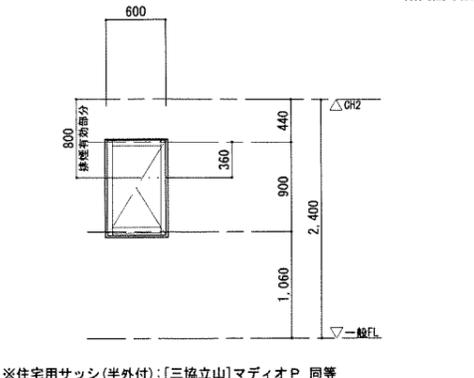
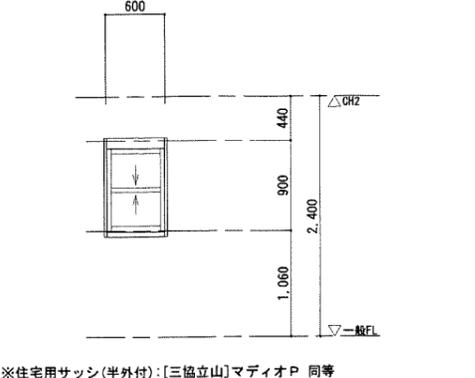
Date H 23 . 3 .
Scale 1/50

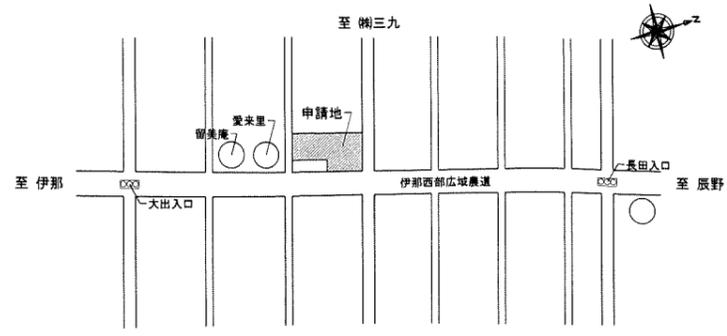
Title
H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title
展開図 5

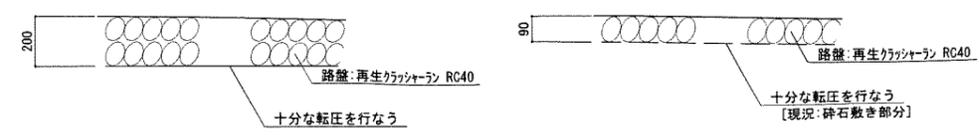
Sheet No.
D-18 / D-21
整理番号 11005

記号・取付場所	① 玄関、廊下、ジャム製造室、惣菜室、前処理室	② パン製造室、製品冷蔵ストック室、倉庫、漬物仕込室、漬物充てん包装室、漬物倉庫	③ 検査室、更衣室	④ 更衣室	⑤ トイレ
姿図・寸法					
形式・数量	室内引戸(上吊り仕様) 3連戸[フラッシュ] 4ヶ所	室内引戸(上吊り仕様) 片引き戸[フラッシュ] 7ヶ所	室内引戸(上吊り仕様) 片引き戸[フラッシュ] 2ヶ所	室内引戸(上吊り仕様) 片引き戸[フラッシュ] 2ヶ所	室内引戸(上吊り仕様) 片引き戸[フラッシュ] 2ヶ所
仕上	特殊化粧シート	特殊化粧シート	特殊化粧シート	特殊化粧シート	特殊化粧シート
ガラス	[型:(かすみ)] 4mm	[型:(かすみ)] 4mm	[型:(かすみ)] 4mm	[型:(かすみ)] 4mm	[型:(かすみ)] 4mm
金物	バーハンドル(両面) 付属金物一式	バーハンドル(両面) ストッパー 付属金物一式	バーハンドル(両面) ストッパー 付属金物一式	バーハンドル(両面) ストッパー 付属金物一式	握込み引手(両面) 表示錠 ストッパー 付属金物一式
建具見込	[枠見込]たて:182 よこ:176	[枠見込]たて:182 よこ:176	[枠見込]たて:182 よこ:176	[枠見込]たて:152 よこ:146	[枠見込]たて:152 よこ:146
備考	[三協立山]ウッデリアIS(ノンケーシング枠) 同等	[三協立山]ウッデリアIS(ノンケーシング枠) 同等	[三協立山]ウッデリアIS(ノンケーシング枠) 同等	[三協立山]ウッデリアIS(ノンケーシング枠) 同等	[三協立山]ウッデリアIS(ノンケーシング枠) 同等
記号・取付場所	⑥ 掃除具入(トイレ)				
姿図・寸法					
形式・数量	クローゼット開き戸(片開き戸タイプ)[フラッシュ] 1ヶ所				
仕上	特殊化粧シート				
ガラス					
金物	取手 付属金物一式				
建具見込	[枠見込]たて:100 よこ:97				
備考	[三協立山]ウッデリアIS(ノンケーシング枠) 同等				
記号・取付場所					
姿図・寸法					
形式・数量					
仕上					
ガラス					
金物					
建具見込					
備考					

記号・取付場所	1 AW 玄関 廊下 2	2 AW 前処理室	3 AW パン製造室	4 AW 惣菜室	5 AW ジャム製造室
	※内法寸法 	※内法寸法 	※内法寸法 	※内法寸法 	※内法寸法 
形式・数量	引違い窓2枚建(ランマ付)(土間納まりタイプ)[16022 H特寸] 2ヶ所	引違い窓2枚建(土間納まりタイプ)[16020] 1ヶ所	シャッター付(スチール製手動)引違い窓4枚建[25613] 1ヶ所	シャッター付(スチール製手動)引違い窓2枚建[25613 W特寸] 1ヶ所	引違い窓2枚建[16513] 1ヶ所
仕上	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)
ガラス	[型]4mm+A+[透明]3mm ランマ:[透明]3mm+A+[透明]3mm	[型]4mm+A+[透明]3mm	[透明]3mm+A+[透明]3mm	[透明]3mm+A+[透明]3mm	[型]4mm+A+[透明]3mm
金物	シリンダ錠 アングル SUSレベル パーハンドル 7öシö付 付属金物一式	シリンダ錠 アングル SUSレベル パーハンドル 7öシö付 付属金物一式	クレセント アングル スチール製手動シャッター 付属金物一式	クレセント アングル スチール製手動シャッター 付属金物一式	クレセント アングル 付属金物一式 目隠し可動ö- (RY型 同等)
建具見込	80mm	80mm	80mm	80mm	80mm
備考	建具枠(三方):W=119[MDF]t=20	建具枠(三方):W=119[MDF]t=20	可動網戸(サシネット) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20	可動網戸(サシネット) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20	可動網戸(サシネット) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20
記号・取付場所	6a AW 前処理室	6b AW 漬物充てん包装室	7 AW 廊下 1, 更衣室	8 AW 漬物仕込室, 検査室	9 AW トイレ
記号・取付場所	6a AW 前処理室	6b AW 漬物充てん包装室	7 AW 廊下 1, 更衣室	8 AW 漬物仕込室, 検査室	9 AW トイレ
	※内法寸法 	※内法寸法 	※内法寸法 	※内法寸法 	※内法寸法 
形式・数量	引違い窓2枚建[16509] 1ヶ所	引違い窓2枚建[16009] 1ヶ所	引違い窓2枚建[16005] 3ヶ所	たてすべり出し[06009] 2ヶ所	上げ下げ窓(ダブルハング)[06009] 2ヶ所
仕上	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)
ガラス	[型]4mm+A+[透明]3mm	[型]4mm+A+[透明]3mm	[型]4mm+A+[透明]3mm	[型]4mm+A+[透明]3mm	[型]4mm+A+[透明]3mm
金物	クレセント アングル 付属金物一式 目隠し可動ö- (RY型 同等)	クレセント アングル 付属金物一式 目隠し可動ö- (RY型 同等)	アングル 付属金物一式	カムラッチ フリクションステー アングル 付属金物一式	トップラッチ バランサー アングル 付属金物一式
建具見込	80mm	80mm	80mm	80mm	80mm
備考	可動網戸(サシネット) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20	可動網戸(サシネット) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20	可動網戸(サシネット) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20	横引きö-網戸(サシネット) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20	固定網戸(サシネット) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20
記号・取付場所					
形式・数量					
仕上					
ガラス					
金物					
建具見込					
備考					

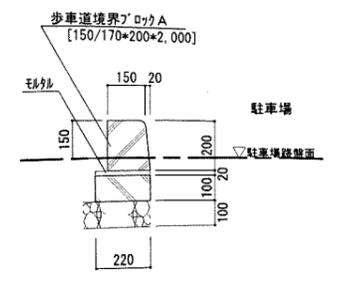


案内図

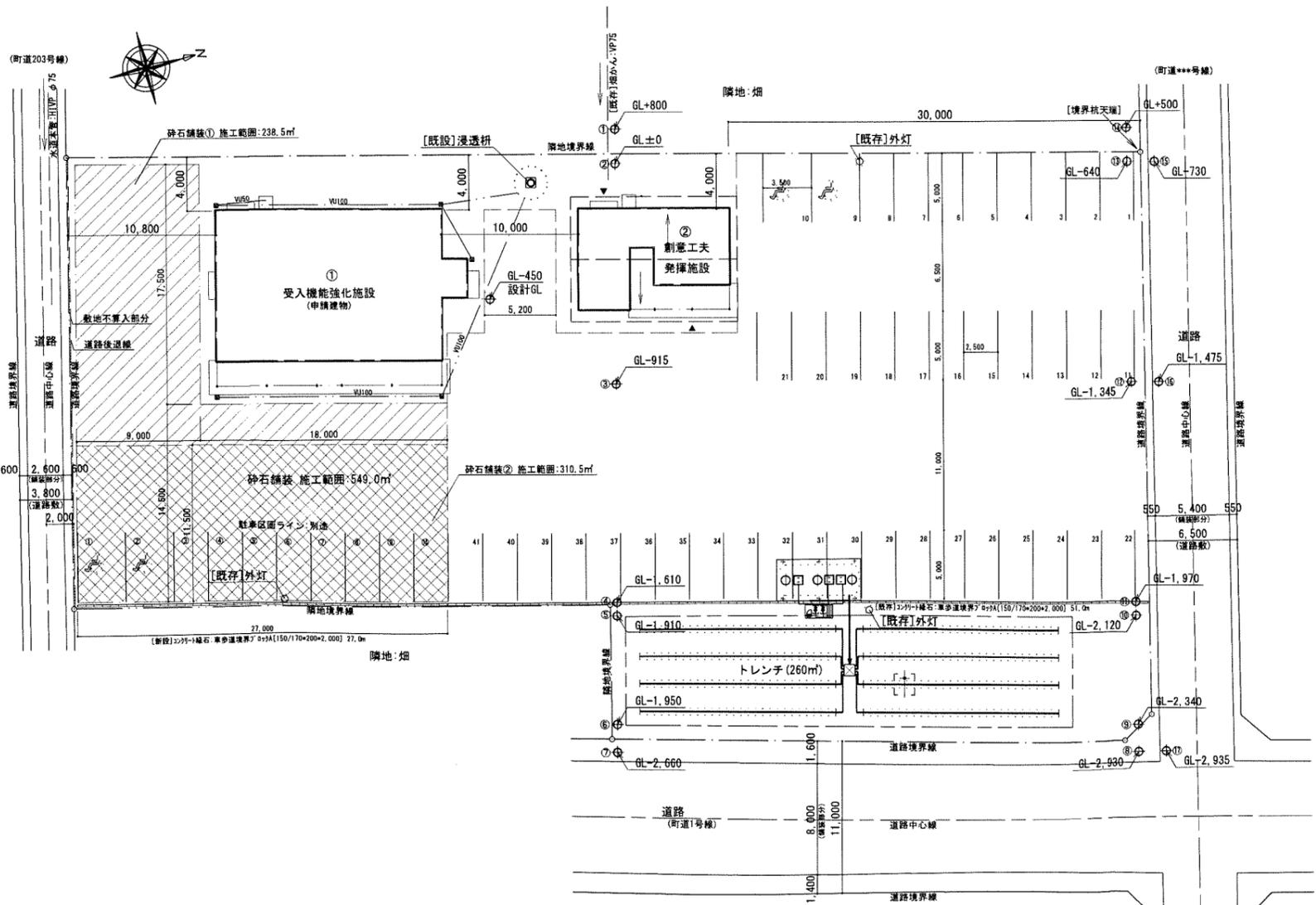


※1. 現況の土を碎石に置き換える
 ※2. 残土は指定場所に運搬を行なう(運搬距離:約3km)

駐車場 路盤構成 SCALE 1/20



コンクリート緑石 詳細図 SCALE 1/20



申請地: 箕輪町大字中箕輪3730-246, 3730-247, 3730-248, 3730-275, 3730-276

配置図 SCALE 1/300 現況地盤高を示す

構造設計標準仕様

適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事
工事場所 長野県 上伊那郡 箕輪町 大字中箕輪 3730-246, 3730-247, 3730-248, 3730-275, 3730-276
- (2) 工事種別 新築 増築 増改築 改築
- (3) 構造種別
 木造(W) 補強コンクリート・ブロック造(CB) 鉄骨造(S)
 鉄筋コンクリート造(RC) 壁式鉄筋コンクリート造(WRC) 鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)
 プレキャスト鉄筋コンクリート造(PCRC)
 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPCRC)
- (4) 階数
地下 階 地上 1 階 塔屋 階
- (5) 主要用途 その他(農産物加工施設) ---[08990]
- (6) 屋上付属物
 広告塔 高架水槽: ton 煙突
 キーホール: ton
- (7) 増築計画 有 () 無
- (8) 付帯工事
 門扉 フェンス 擁壁
- (9) 特別な荷重
 エレベーター: 乗人(ロープ式・油圧式) 客: ton リフト: ton
 倉庫床積載荷重: kg/m² 受水槽: ton
- (10) その他

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度	スラブ厚cm	備考
捨コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	F _c = <input type="checkbox"/> 15 <input checked="" type="checkbox"/> 18	15	
土間コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	F _c = <input type="checkbox"/> 18 <input checked="" type="checkbox"/> 21	18	
基礎、基礎梁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	F _c = <input type="checkbox"/> 18 <input checked="" type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> 24	18	
柱、梁、床、壁	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	F _c = <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> 24	18	比重
2~RF床	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	F _c = <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> 24		比重 1.9
押入コンクリート	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	F _c = <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21	18	比重
ラップコンクリート	<input type="checkbox"/> 普通	F _c = <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21	18	

(2) コンクリートブロック (CB)

- A種 B種 C種 t=100 120 150 190

(3) 鉄筋

種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	<input checked="" type="checkbox"/> SD295A	D16 以下	基礎・スラブ
	<input type="checkbox"/> SD295B		全て
	<input type="checkbox"/> SD345	D19, D22	ガス圧接継手
丸鋼	<input type="checkbox"/> SD235		特殊継手
溶接金網	<input type="checkbox"/>	φ6 150×150	()

(4) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	備考
<input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> SM400A <input type="checkbox"/> SM400B		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> STKR400 <input type="checkbox"/> STKR490 <input type="checkbox"/> BCR295		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SM490A <input type="checkbox"/> SM490B		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SSC400		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

(5) ボルト

- 高力ボルト F10T F8T S10T 認定品 (M12 M16 M20 M22)
 中ボルト φ= φ= 高力ボルトすべり係数試験 要 否
 アンカーボルト φ=12 Zマーク品

(6) 屋根、床、壁

- 頭付スタッド
- ALC版 t=
- 折板 形式: H= t=
- 折板 形式: H= t=
- デッキプレート 形式: t=
- キーストプレート 形式: t=
- 特殊デッキプレート 形式: t=

3. 地盤

- (1) 地盤調査資料
 有 (建設敷地内 近隣) ボーリング調査 平板載荷試験 水平地盤反力係数の測定
 スーデンソウデンゲイグ調査
- (2) 地盤調査計画
 無(調査予定) 有 無
 ボーリング調査 静的貫入試験 標準貫入試験 水平地盤反力係数の測定
 土質試験 物理調査 平板載荷試験
- (3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある
- (4) ボーリング標準貫入値、土質構成

深度	土質	N値	標準貫入試験					備考	
			10	20	30	40	50		60
0.5									○調査地番
1.0									○位置図
1.5									
2.0									
2.5									
3.0									
3.5									
4.0									
4.5									
5.0									
5.5									
6.0									○支持地盤、地層及び深さについてのコメント
6.5									
7.0									
7.5									
8.0									
8.5									○孔内水位
9.0									
9.5									
10.0									
10.5									
11.0									
11.5									○備考
12.0									

4. 地業工事

- (1) 直接基礎 ベタ基礎 布基礎 独立基礎 試験掘 有 無
 深さ: GL-0.65 m 支持層: 長期許容地耐力: 20 kN/m²
 載荷試験 有 無
- (2) 杭基礎 支持層:

杭種	材料	施工法	備考
<input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> PC	PC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)	<input type="checkbox"/> 打ち込み	
<input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> H鋼	PHC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)	<input type="checkbox"/> 埋込み(セメント注工法)	
<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 摩擦杭	鋼材 (<input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> STK400)	<input type="checkbox"/> 埋込み(セメント注工法)	
		<input type="checkbox"/> BH 深礎	大臣認定 第 号 年 月 日
<input type="checkbox"/> 場所打ちコンクリート杭	コンクリート F _c =210 セメント量 300 kg/m ³ 鉄筋 主筋 SD345 HOOP SD295	<input type="checkbox"/> オールケーシング <input type="checkbox"/> 掘削杭 <input type="checkbox"/> リバースケーシング <input type="checkbox"/> アースリル <input type="checkbox"/> BH <input type="checkbox"/> 深礎 <input type="checkbox"/> 機械掘	掘削杭 日本建築学会認定 第 号 年 月 日

- 杭仕様 施工計画書承認 杭施工結果報告書
 試験杭 (有 無) (打ち込み 載荷)

杭径 (mm)	設計支持力 (t)	杭の先端深さ (m)	本数	特記事項

5. 鉄筋コンクリート工事

- (1) コンクリート
 コンクリートは JIS 認定工場の製品とし施工に関しては JASS5 による。
 セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
 フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術センターの技術評価を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。測定結果の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔においた3台の運搬車からその必要な本数を採取する。なお供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、4適用に3本を用いる。
 ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継継中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。
- (2) 鉄筋
 鉄筋は JIS G3112 の規格品を標準とする。
 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継ぎ手位置、継手の重ね長さ、定着長さは、「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。
 D22未満は、すべて重ね継手とする。継手をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
 ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超えるときは、200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。外観検査 有 無、引張試験 有 無、超音波探傷試験 有 無
 柱の帯筋 (HOOP) の加工方法は、 H型(タガ型) W型(溶接型) S型(スパイラル型) とする。
 コンクリート及び鉄筋の試験は、「建築物の工事における試験及び検査に関する***取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。
 試験機関名
 代行業者名
 代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。
- (3) 型枠
 材料 合板厚 12mmを標準とする。 打合せにより金属製枠パネルの使用も可
 型枠最小貯留期間---圧縮強度とは材令日数経過後に確認すべき強度とする。

セメントの種類	せき板				支柱			
	基礎、はり側、柱、壁	スラブ下、はり下	スラブ上	はり下	スラブ下	スラブ上	はり下	はり下
早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント
高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種
シリケートA種	シリケートA種	シリケートA種	シリケートA種	シリケートA種	シリケートA種	シリケートA種	シリケートA種	シリケートA種
材令	15℃以上	5~15℃	5℃未満	5℃未満	5℃未満	5℃未満	5℃未満	5℃未満
圧縮強度	2	3	4	6	8	17	28	28
	3	5	6	10	12	25	28	28
	5	8	10	16	15	28	28	28
	50N/mm ²				設計基準強度の50%			
					設計基準強度の85%			
					設計基準強度の100%			

- 注) 1. 片持ち梁、庇、スパン9.0m以上の梁下は、工事監理者の指示による。
 注) 2. 大梁の支柱の盛りかえは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。
 注) 3. 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
 注) 4. 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
 注) 5. 支柱の盛りかえは、小梁が終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
 注) 6. 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
- (2) 工事監理者の承認を必要とするもの
 製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書
 建設省告示第1103号による認定工場(大臣認定 グレード登録 ランク)
 材料規格証明書または試験成績書
 鋼材 高力ボルト 特殊ボルト スタッドジベル
 社内検査表
- (3) 工事監理者が行う検査項目
 (印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
 原寸検査 組立・開先検査 製品検査
 建方検査
- (4) 接合部の溶接は下記によること
 ***アーク溶接工事管理規程(建築構造設計指針第12章)
 鉄骨造等の建築物の工事に関する***取扱要綱(建築構造設計指針第12章)
 日本建築学会「溶接工作規程、同解説I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
- (5) 接合部の検査
 溶接部の検査(検査結果は後日工事監理者に報告すること)
- | 検査箇所 | 検査方法 | 検査率又は検査数 | | | 備考 |
|---------------------------------|-----------|----------|------|-------|----|
| | | 社内 | 第三者 | 工事監理者 | |
| <input type="checkbox"/> 突合せ溶接部 | 超音波探傷試験 | 100% | 30% | 100% | |
| <input type="checkbox"/> | 外観(目視)検査 | 100% | 100% | 100% | |
| <input type="checkbox"/> | マクロ試験・その他 | % | % | % | |
- 第三者検査機関名 C. I. W.
 第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。
 注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。
- 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを塗金外産2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらかさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。
- (6) 防錆塗装
 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5621、2回塗りを標準とする。
 現場における高力ボルト接合部及び接合部の薬品調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。
- (7) 耐火被覆の材料
 柱: ケイカル板 t=25 梁: ロックウール吹付 t=30

7. 設備関係

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を5cm以上とする。

8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

配筋基準図

1. 一般事項

1.1 適用範囲

- ・鉄筋コンクリート構造、鉄筋鉄骨コンクリート構造、壁式鉄筋コンクリート構造、補強コンクリートブロック構造、コンクリートブロック塀、コンクリートブロック機壁に適用する。
- ・構造図に記入のない事項は本基準図を適用する。また、本基準図で、配筋方法等の優先順位は、○印が最優先とし、次に※印を優先とする。

1.2 鉄筋の記号及び表示

記号	○	×	◇	⊗	⊙	◎	⊕		
鉄筋径	丸鋼	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
	丸鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ

- ・特記で丸鋼と指定されている場合は、その径を鉄筋径該当の径に読み替える。
- ・この基準図では上表の記号を使用しない。

表示方式	例
異形鉄筋	n-Dd
鉄筋	Dd-@L
丸鋼	n-dφ
	dφ-@L

2. 鉄筋の加工

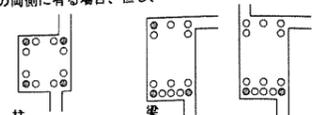
2.1 鉄筋の折曲げ基準

曲げ角度	折曲げ図	SR235		SD295 SD345		SD390	使用箇所
		SR235	D16以下	D19以上	D19以上		
180		D	3d	3d	4d	5d	柱、梁の主筋、杭基礎のベース筋、径16mm以上の鉄筋
		I	11d	11d	12d	14d	
135		D	3d	3d	4d	-	径13mm以上の鉄筋、あばら筋、帯筋、床版筋、スパイラル筋
		I	11d	11d	12d	-	
90		D	3d	3d	4d	-	T形、L形梁のあばら筋
		I	11d	12d	12d	-	
135 90		D	3d	3d	4d	-	布基礎のベース筋、巾止筋
		I	8d	8d	8d	-	
		I'	9d	9d	10d	-	

注1. Dは曲げ内法直径、I、I'はフック部分の長さ

曲げ角度	折曲げ図	中間部			使用箇所		
		~D16	D19 ~D25	D29 ~D38			
90以下		D	3d	3d	-	あばら筋、帯筋、スパイラル筋	
		D	4d	6d	8d		床版筋、壁筋
		D	3d	6d	8d		

- 丸鋼の末端部には、フックを付ける。
- 異形鉄筋の末端部には、下記の場合にフックを付ける。
 - ・柱の四隅に有る鉄筋で重ね継手及び最上階の柱図に有る場合(下図○印部分)
 - ・梁主筋の重ね継手か、梁の出隅及び下階の両側に有る場合、但し、基礎梁を除く(下図◎印部分)
 - ・煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)
 - ・杭基礎のベース筋、帯筋、あばら筋、巾止め筋



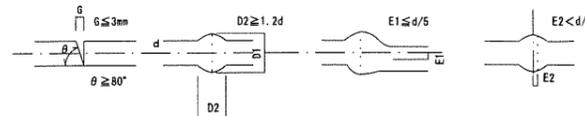
2.2 鉄筋の継手長さ、定着長さ

鉄筋の種類	設計基準強度		フック無し			フック有り			
	普通	軽量	L1	L2	L3	L1	L2	L3	L3
SD295A	150 ~ 180		45d	40d	小梁 スラブ	10d	35d	30d	10d
SD295B					かつ				かつ
SD345	210 ~ 240	210 ~ 270	40d	35d	150mm以上	30d	25d	15d	150mm以上
SDR295									
SDR345	270 ~ 380		35d	30d		25d	20d		
SD390	210 ~ 240	210 ~ 270	45d	40d		35d	30d		
	270 ~ 380		40d	35d		30d	25d		
SR235	150 ~ 180		-	-		45d	45d	25d	150mm以上
SR235	210 ~ 240	210 ~ 225	-	-		35d	35d		

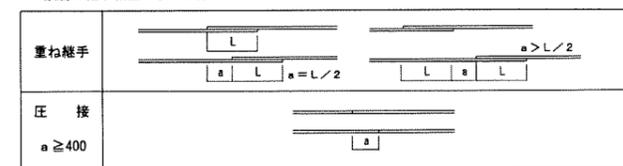
- 注意
- L1: 継手、並びに下記 2. 及び 3. 以外の定着長さ。
 - L2: 異形鉄筋で、割裂破壊の恐れのない箇所での定着長さ。
 - L3: 小梁及び床版の下端筋の定着長さ。但し、基礎耐圧版、これを受ける小梁を除く。
 - フックのある場合の、L1 L2 L3はフック部分を含まない。
 - 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。
 - D29以上の鉄筋は、重ね継手としてはならない。
 - D19以上の鉄筋は、原則としてガス圧接とする。

2.3 ガス圧接・継手

- 鉄筋径の差が5mmを超える場合は圧接としてはならない
- ガス圧接の形状は以下の通りとする。



鉄筋の継手相互のずらし方

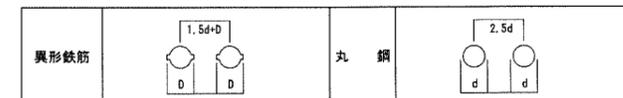


ただし、床版、壁の場合を除く

2.4 鉄筋のあき

鉄筋相互のあきは下記の値のうち最大のもの以上とする。

- 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上
- 25mm
- 丸鋼の径及び異形鉄筋の径(呼び名の数値)の、1.5倍以上



注 D: 鉄筋の最大径 d: 鉄筋径

2.5 バーサポート・スペーサの種類および数量・配置の標準

部位	スラブ	梁	柱
種類	コンクリート製 鋼製	コンクリート製鋼製 プラスチック製	コンクリート製鋼製 プラスチック製
数量	上端筋、下端筋 各々1.3個/m ²	間隔1.5m程度	上段は第一段の帯筋の位置 中段は柱の中間 柱幅1.0mまで2個 柱幅1.0mまで3個
配置			
部位	基礎	基礎梁	壁・地下外壁
種類	コンクリート製 鋼製	コンクリート製鋼製 プラスチック製	コンクリート製鋼製 プラスチック製
数量	面積 4m ² 程度 8個 16m ² 程度 20個	間隔 1.5m程度	上段は第一段目の壁筋 中段は上段より1.5m下 横間隔は1.5m程度
配置			

- 注意
- 側梁以外の梁は上または下に設置し、側梁は側面にも設置する。
 - 基礎梁は上または下と側面にも設置する。

2.6 鉄筋のかぶり厚さ

部	位	かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	屋根スラブ	内 30
	床スラブ	
	非耐力壁	外 40 (1)
	柱	内 40
梁		
土に接する部分	耐力壁	外 50 (2)
	擁壁	50 (3)
	柱・はり・床スラブ・耐力壁	50
	基礎・擁壁	70

木構造 特記仕様書 1

1. 一般事項

(1) 適用範囲
本仕様書は建築物および工作物の構造上主要な部分に木材を用いる工事に適用する。
は適用項目を示すものとする。

(2) 設計図書
設計図書とは本仕様書、設計図、指示書（現場説明書および質疑回答書を含む）をいう。

(3) 標準仕様書
設計図書に記載なきものは「住宅金融公庫監修・木造住宅工事共通仕様書」及び「国土交通大臣官房官庁業務部監修・木造建築工事共通仕様書」に準ずる。
上記の仕様書に記載なき場合は、公共規格がこれに準ずる規格を適用する。

(4) 設計図書の優先順位
設計図書の優先順位は下記による。
 1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）
 2. 設計図
 3. 本仕様書
 4. 標準仕様書

(5) 疑義
疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。

(6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承認を受ける。

(7) 施工図及びプレカット図の提出
工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承認を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

(8) 製作工場の選定、承認
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承認を受ける。

(9) 各種試験・検査報告書の提出
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

2. 材料の品質

2.1 木質材料

(1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材
本項の内容は特記無き限り、針葉樹の構造用製材及び広葉樹の製材及び枠組壁工法構造用製材等の日本農林規格に準ずること。

部位	品名	樹種	区分、等級	含水率	その他
梁	構造用製材		甲Ⅱ-2級かつE70	D20	
柱	構造用製材		乙-1級かつE70	D20	

- 記入無き梁桁、母屋、タル木等の曲げ材のうち、見えがかり材は目視等級材の甲種2級、見えない部分の木材は甲種3級とする。その他は乙種2級とする。
- 主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。
- 乾燥の観察を行う。但し見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。
- 含水率は平均含水率として下地材等にも含水率D25以下であることを確認する。
- 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の類、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が生じないように加工する。
- 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級1級相当とする。

(2) 構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)
本項の内容は特記無き限り構造用集成材及び構造用単板積層材の日本農林規格に準ずること。

部位	品名	樹種	曲げヤング係数区分	材面	接着	放散量
梁	構造用集成材		水平せん断性能区分	品質	性能	放散量
	E105-F300				環境 I	F****

(3) 構造用合板、構造用パネル
本項の内容は特記無き限り構造用合板及び構造用パネルの日本農林規格に準ずること。

部位	品名	強度等級	曲げ性能基準	板面品質	接着	寸法(mm)	放散量
耐力壁	構造用合板	2級	合板1級	C-D	1種	12mm	F****
屋根	構造用合板	2級	-	C-D	特種	12mm	F****

・構造用合板はできるだけ大きい寸法のものを用いる。

2.2 ファスナー

ここに示すファスナーや接合金物などは、木質構造の接合部に適用する。ファスナーや接合金物等に腐を生じるおそれのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。
標準メッキ処理は、溶融亜鉛メッキ： MF2a 電気メッキ： EP-Fe/Znと特記②

(1) くぎ、木ネジ、特殊ネジ

種類	材質	適用径	使用箇所・部材の形状
<input checked="" type="checkbox"/> N釘	・鉄 ・スチール鋼	N19~N150	
<input checked="" type="checkbox"/> CN釘	・鉄	CN25~CN150	耐力壁、床板、屋根
<input checked="" type="checkbox"/> BN釘		BN25~BN125	
<input checked="" type="checkbox"/> ZN釘		ZN4.5~9.0	
<input checked="" type="checkbox"/> GN釘		GN25~GN125	石膏ボード用
<input checked="" type="checkbox"/> SN釘		3.05 mm	シーリングインシュレーション ファイバーボード
<input checked="" type="checkbox"/> 木ネジ	・軟鋼線材		
<input checked="" type="checkbox"/> 特殊ネジ	・スチール鋼		
<input checked="" type="checkbox"/> コースレッド	・真鍮		

(2) ボルト、ナット

種類	材質	適用径	表面処理・部品等級など
<input checked="" type="checkbox"/> 呼び径六角ボルト	・SS400	M3~M36	・電気メッキ
<input checked="" type="checkbox"/> 有効径六角ボルト	・SS400	M3~M20	
<input checked="" type="checkbox"/> 全ネジ六角ボルト	・SS400	M3~M36	
<input checked="" type="checkbox"/> ステンレスボルト	・SUS304		
<input checked="" type="checkbox"/> アンカーボルト	・SS400	M12~M24	・溶融亜鉛メッキ

・材質は鋼、ステンレス鋼、非金属。径と長さの組み合わせは「JIS準則J180」

(3) 産金

適用	材質	適用径	形状・表面処理	その他
<input checked="" type="checkbox"/> 産金	・SPCC (JIS G 3131)	M8~M24	角形	・角型金・丸型金
<input checked="" type="checkbox"/>	・SPHC (JIS G 3141)			・電気メッキ

・産金は用途ごと（引張、せん断）に下表により使い分ける。

ボルト径に対する産金の大きさ	8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ 4.5	4.5	6	9	9	13
角型金の直径	40	50	60	80	105	125
丸型金の直径	45	60	70	90	120	140
せん断を受けるボルト	厚さ 3.2	3.2	3.2	4.5	6	6
角型金の直径	25	30	35	50	60	70
丸型金の直径	30	35	40	60	70	80

(4) ドリフトピン、コーチスクリューボルト、ジベル、シアプレート、木栓

種類	材質	適用径・長さ	表面処理、その他
<input checked="" type="checkbox"/> ドリフトピン	・SS400	φ9~φ19	・電気メッキ
<input checked="" type="checkbox"/> コーチスクリューボルト (ラグスクリュー)	・SBRCH10R (JIS G 3507)	φ9~φ19	・電気メッキ
<input checked="" type="checkbox"/> スプリットリング	・SS400	φ64、φ102	
<input checked="" type="checkbox"/> シアプレート			・電気メッキ
<input checked="" type="checkbox"/> 木栓	・堅木	M12~M24	

・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等で気乾比重0.6以上の広葉樹とし、節や目切れ等の欠点のないものとする。

(5) 接合金物、防錆剤

種別	材質	表面処理	適用、形状、その他
<input checked="" type="checkbox"/> Zマーク			
<input checked="" type="checkbox"/> Cマーク			
<input checked="" type="checkbox"/> 引寄せ金物			
<input checked="" type="checkbox"/> その他の金物			
<input checked="" type="checkbox"/> 鋼材	・SS400	・溶融亜鉛メッキ	・設計図中の特記による

(6) 接着剤（接着接合）
ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とし、内容は特記による。

3. 材料品質の検査方法

現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の変領で受け入れ検査を実施し、監理者に報告する。また監理者の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜取り検査を実施する。社内検査で試験本数や採取回数の指定がない場合は原則全てとする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行うこと。

(1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材 (数値は%を示す)

部材	確認する仕様	確認者	材種等級	外観検査	寸法検査	含水率測定		ヤング係数測定	
						表示	全乾重量法	表示	静的試験
梁	社内	100	100	100	検査後	10本	100	10本	100
柱	社内	100	100	100	検査後	10		10	100
トラス材	社内	100	100	100	検査後	10		10	100
梁・桁	社内	100	100	100	検査後	10		10	100

- ・監理者の○は立会い検査が必要であることを示す。
- ・材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。
- ・含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や動的曲げ試験は公的試験場にて行う。含水率計は往本センター認定品を、曲げヤング係数は全日本木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。
- ・全乾重量法や静的曲げ試験は1荷下につき確認する試験本数を示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法 (JIS Z 2101) に準ずる。
- ・動的曲げ試験の判定基準は日本農林規格の針葉樹の構造用製材、合板、パネル、の強度区分材に準ずる。
- 含水率測定は、乾燥作業直後に行う。

(2) 構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)

材料	確認項目	確認の方法
構造用集成材	部材、断面、長さ、数量 樹種、品名、強度、材面の品質、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	<input checked="" type="checkbox"/> 製造工場の認定書等の写し <input type="checkbox"/> 日本農林規格 (JAS) 表示の確認 <input type="checkbox"/> 立会い目視検査
LVL	部材、断面、長さ、数量 樹種、曲げヤング係数、水平せん断、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	<input type="checkbox"/> 表示の確認 <input type="checkbox"/> 立会い目視検査
構造用合板	寸法、数量 強度、曲げ性能、板面の品質、接着耐久性、ホルムアルデヒド放散量	<input type="checkbox"/> 立会い目視検査
構造用パネル	寸法、数量 強度、ホルムアルデヒド放散量	

(3) ファスナー

ファスナーの種類	確認項目	確認の方法
くぎ	・材質、径、頭部、長さ、仕上げ	<input checked="" type="checkbox"/> ミルシートの写し <input type="checkbox"/> 表示の確認 <input type="checkbox"/> 木栓曲げ試験
木ネジ類	・材質、径、長さ、仕上げ	
ボルト・ナット	・材質、径、長さ、仕上げ	
産金	・材質、径、仕上げ	
ドリフトピン	・材質、径、長さ、仕上げ	
コーチスクリューボルト	・材質、径、長さ、仕上げ	
スプリットリング	・材質、径、形状、仕上げ	
シアプレート	・材質、径、形状、仕上げ	
木栓など	・樹種、曲げ強度、比重	

・設計図書に明記されたファスナーであることを確認すること。同等性能のファスナーを用いる場合には、その旨を監理者に申し出、承認を得ること。また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

(4) 接合金物

接合金物	確認項目	確認の方法
Zマーク金物	・材質、形状、仕上げ	<input checked="" type="checkbox"/> ミルシートの写し <input type="checkbox"/> 表示の確認
Cマーク金物	・材質、形状、仕上げ	
引寄せ金物	・材質、形状、仕上げ	
その他の金物	・材質、形状、仕上げ、製造所	
鋼材	・材質、形状、仕上げ、溶接	

・設計図書等に明記された接合金物であることを確認する。同等認定品や性能認定品を用いる場合には、その内容を監理者に申し出、承認を得る。

4. 耐久性（防蟻・防蟻・防蟻処理）

(1) 木材の防蟻・防蟻処理
・高耐久材の使用（注：製材の心材あるいは心材材又は集成材）
・工場処理材（注：現場の加工、切断、穿孔箇所等は、現場処理に準じる）
JAS保存処理材： K5 K4 K3 K2
AQ認定保存処理材： 1種 2種 3種
・現場処理（注：給排水用塩化ビニル管に接する部分は、管を保護する）
・塗布・吹付・浸漬（処理量300 ml/m²、一処理回数2回）
日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする

使用部位	高耐久材	工場処理剤	現場処理剤
土台	<input type="checkbox"/> ひば	<input type="checkbox"/> K3 () ()	<input type="checkbox"/> 塗布
外周柱下部1m	<input type="checkbox"/> ひのき	<input type="checkbox"/> K3 () ()	<input type="checkbox"/> () ()
水周り	()	<input type="checkbox"/> K3 () ()	<input type="checkbox"/> () ()
その他	()	<input type="checkbox"/> K3 () ()	<input type="checkbox"/> () ()

(2) 土壌処理
 防蟻剤による処理：薬剤 ()
特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。
 蟻薬剤による処理と同等以上の対策 ()
 土壌処理省略

注：処理範囲は、外周部基礎の内側、内部基礎の周辺200cm、東石等の周辺200cmを標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。

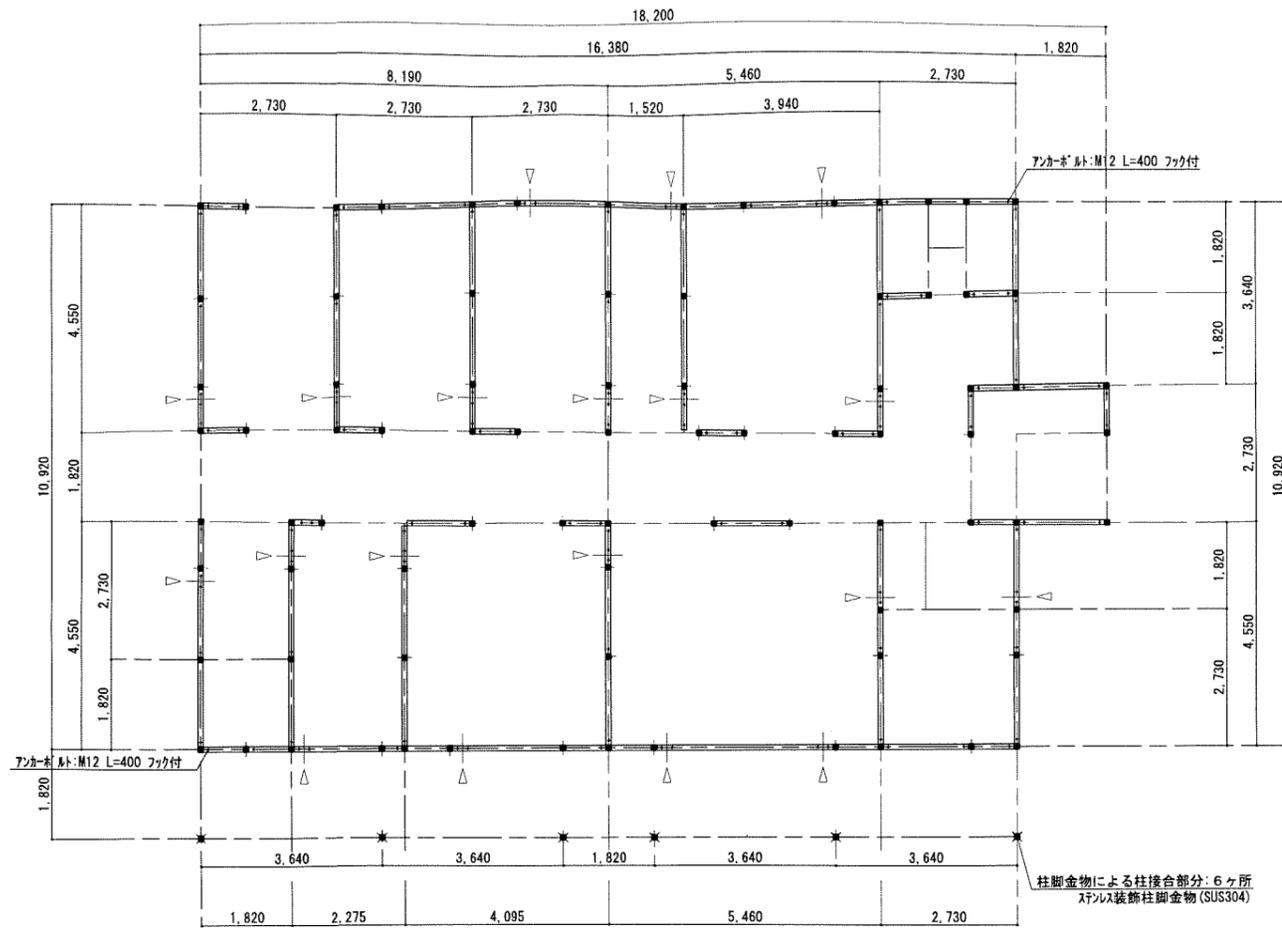
(3) 耐蟻処理（塗装）
 塗膜型、 膏塗型、 部位 ()

5. 木材の加工

- (1) 刻み時の注意
製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の親軸と背割りの方向を一致させる。
- (2) 加工寸法の精度（下記の値を標準とする）
・構造用製材、枠組壁工法構造用製材の断面寸法
 図面表示が抜き立て寸法の場合： ±1.5mm以下
 図面表示が仕上がり寸法の場合： +1.5mm、-0mm以下
・構造用製材、枠組壁工法構造用製材の材長
 軸組工法の継手仕口の場合： ±1.5mm以下
 ボルト接合工法の場合： ±5mm以下
・集成材、構造用単板積層材
短辺： ±1.5mm
長辺： ±1.5%かつ±5mm以下
材長： ±5mm以下 ()
・ボルト穴径： d+1.5mm (d≦N12)、d+2.0mm (d≧N16)(dはボルト径)
・ドリフトピンの穴径： d±0.0mm (dはボルト径)
- (3) 表面仕上げ
口製材 化粧材： 野物材： 板材：
- (4) 面取り
口柱： () mm
口梁： () mm

6. 接合

- (1) 仕口、継手の原則
・仕口、継手の方法は構造図による。特記無き場合は 1. (3) 標準仕様書に示された在来工法用の一般的な適用例に従う。一般的な適用例については、9. 軸組接合部標準仕様による。
・採用する方法は監理者の承認を得る。
・仕口、継手の各部に作用する応力を考慮し、部材の引き抜けが生じないように、原則として羽子ボルトや木栓など、引張り抵抗を有する補強部材を併用する。
- (2) 釘接合
・釘は材の繊維に対して乱打ちし、割れを生じないように縦距離、縦距離、釘間隔を大きく取る。
・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。
・1ヶ所の釘の本数は2本以上とする。
・釘に腐を生じおそれのある場合は、適切な防蟻処理を施す。
・自動釘打ち機を使用する場合は、面材に釘がめり込まないようにする。そのために、釘打ち機の圧力を弱めるか、最後は手打ちを用いるなどの方法による。
・構造用面材を耐力壁とする場合は釘打ち方法は「昭和56年建設省告示1110号」による。
・構造耐力上主要な部分において、釘を引抜き方向に抵抗させることは避ける。
・小口面に打たれた釘は、引き抜き方向に抵抗させることはできない。
- (3) 木ネジ接合
・構造耐力上主要な部分において、木ネジを引抜き方向に抵抗させることは避ける。
・小口面にねじ込まれた木ネジは、引抜き方向に抵抗させることはできない。
・木ネジの先径は：針葉樹・・・主材0.6d、副材0.8d (dはボルト径)
広葉樹・・・主材0.8d、副材1.0d (先径の深さは、主材のねじ込み深さの2/3程度とする。)
・ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んではいならない。
・ねじ込みを容易にしたり、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。
- (4) ボルト接合
・締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、産金等が施工所に適しているものであることを確認する。
・ボルト接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、ボルト本数を適切に増加する。
・ボルトの締め付けは、産金が部材にめり込む程度とし、めり込みが発生した時点で締め付けを完了する。
・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。
・一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。
- (5) コーチスクリュー接合
・構造耐力上主要な部分において、コーチスクリューを引抜き方向に抵抗させることは避ける。
・コーチスクリューの配置間隔、縦距離および横距離、使用する産金は同じ部材のボルトに準ずる。
・胴部の先径は胴部と同径とし、長さも胴部と同径とする。
・ネジ部の先径の径：比重0.4以上の樹種・・・ネジ径の60~70%
その他の樹種・・・ネジ径の40~70%
(長さはネジ部の長さと同径とする。)
・コーチスクリューは先径にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んではいならない。
・ねじ込みを容易にするため、潤滑油を用いてもよい。
- (6) ドリフトピン接合
・ボルトやコーチスクリュー等と併用し、ドリフトピンの変形にともなう部材の閉きを防止する。
・ドリフトピンは孔に密着させる。
・一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。



土台・柱伏図 SCALE 1/100

● ホールダウン専用アンカーボルト: なし

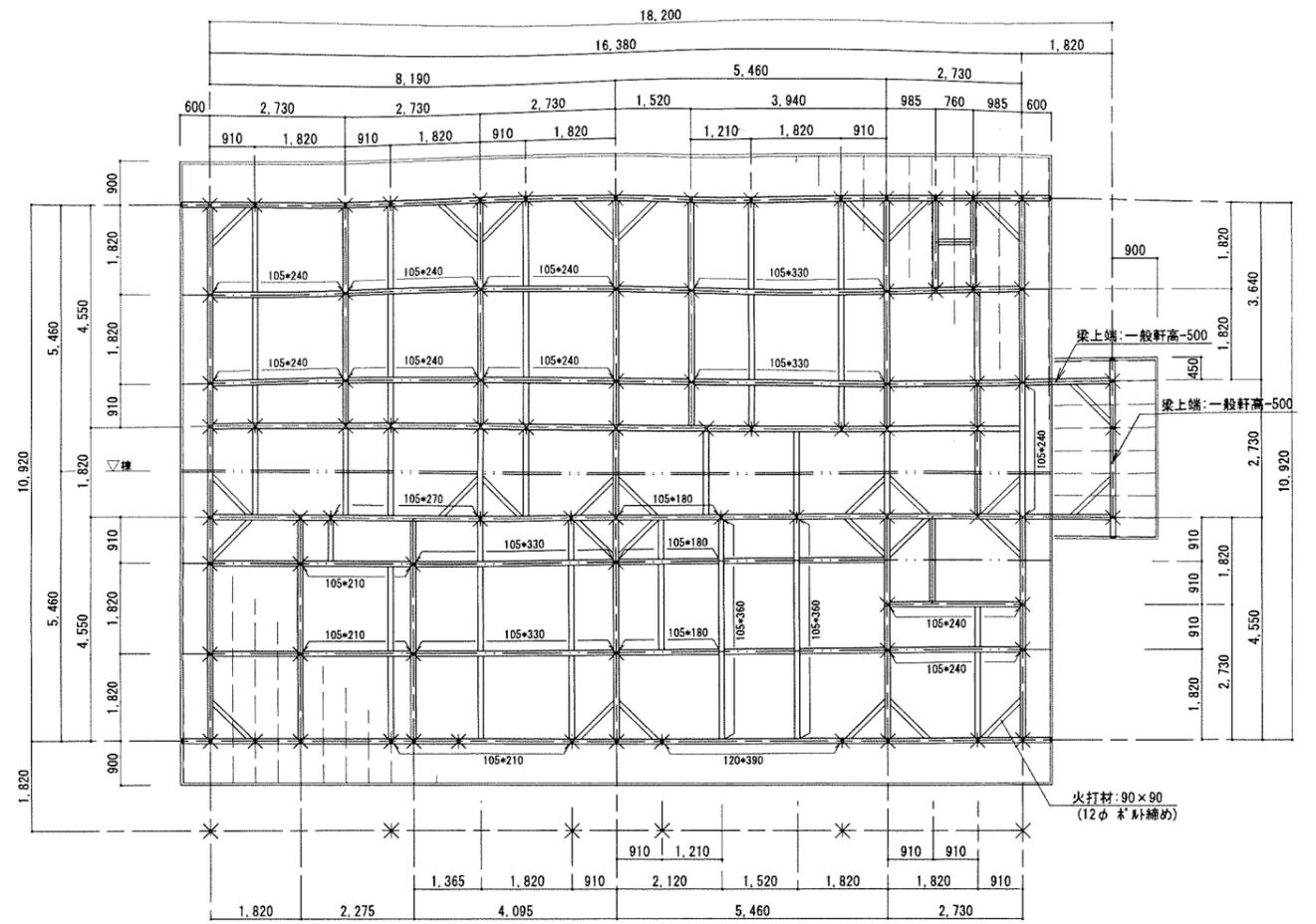
土台 凡例

● 柱	上部 柱を示す (105*105)
● 土台	105*105

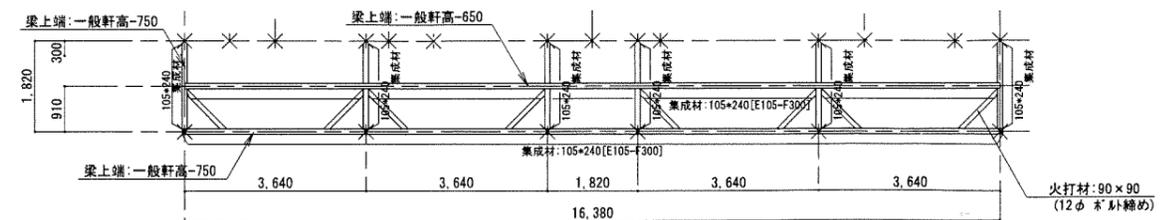
※防蟻、防蟻措置: GL+1,000以内の外壁軸組、外壁木系下地[環境対策品を使用のこと]

凡 例	
●	アンカーボルト:M12 L=400 フック付
●	ホールダウン(HD-B15)専用アンカーボルト(フック付) ※L=600~1,000:金物取付状況を検討し、選択すること。
▽	土台継手箇所(想定)を示す
≡	現場において施工図により設置箇所を検討すること

注意1:アンカーボルトは図示以外、土台切れ箇所、土台継手及び土台仕口箇所にも取りつけること。



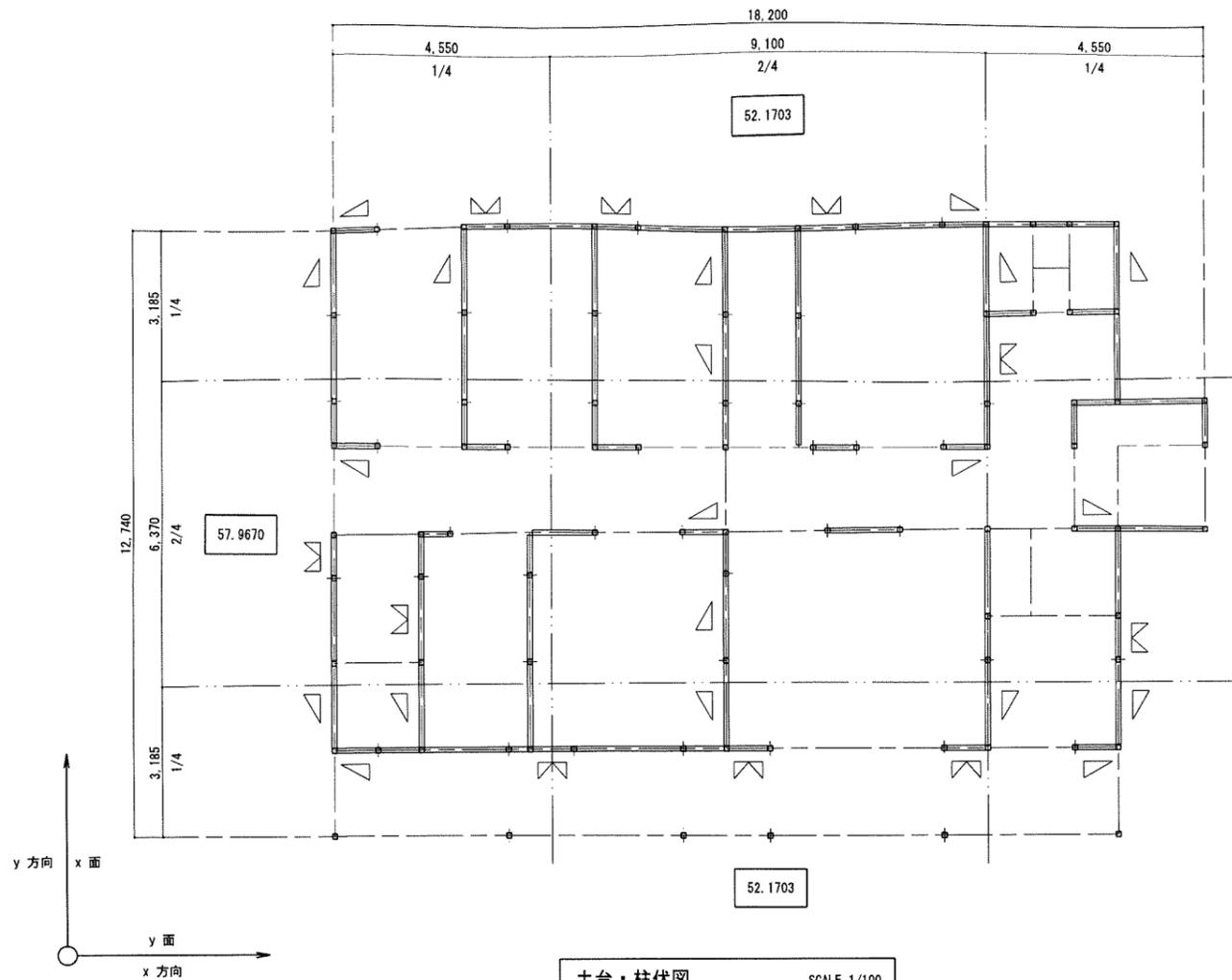
小屋伏図 SCALE 1/100



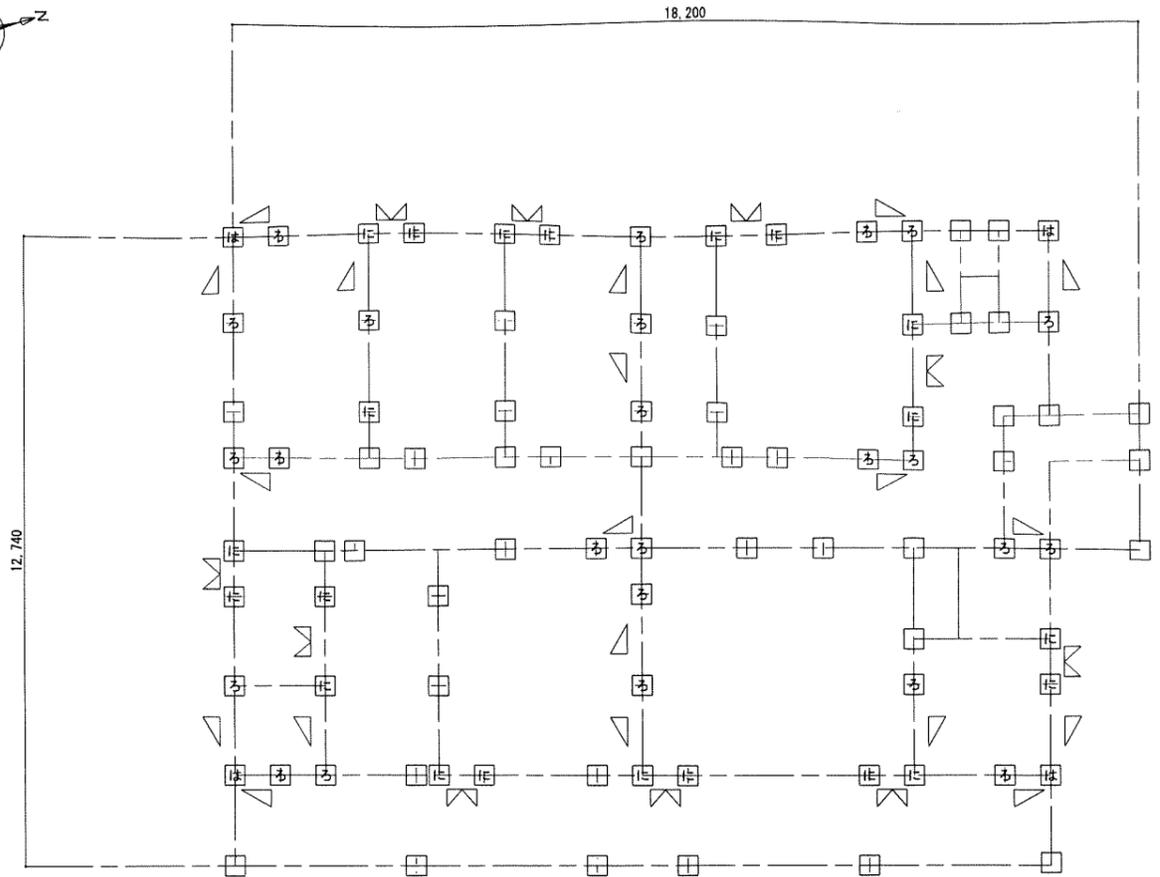
下屋部分 小屋伏図 SCALE 1/100

小屋 凡例

● 柱	下部 柱を示す
● 梁	特記なき部材は 105*105 とする [梁材はすべて米松KD材とする]
● 棟 木	105*120
● 母 屋	105*105 @1,820
● タ ル キ	45*105 @ 455



土台・柱伏図 SCALE 1/100



※H12建告1460号による
接合金物位置図 SCALE 1/100

※筋かい端部における仕口[厚さ4.5cm以上で幅9cm以上の木材]
厚さ2.3mm以上の鋼板添え板を、筋かいに対して経12mmのボルト締め及び長さ50mm、経4.5mmのスクリークぎ7本の平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ50mm、経4.5mmのスクリークぎ5本の平打ちとしたもの

- 凡 例
- 筋かい 45 * 90
 - 筋かい 45 * 90 (タスキ掛)
 - 柱と横架材との仕口(接合部)の仕様を示す[表示なき部分は、(い)とすることができる](告示1460号 表三)
 - 柱頭
 - 片筋かいの、方向を示す
 - 柱脚

柱と横架材との仕口(接合部)の仕様			
記号	仕 様	N値	接合耐力 (kN)
(い)	短ほぞ差し、及び かすがい打	0	0.00
(ろ)	長ほぞ差し込み柱打、又は L字形かど金物[CP-L]、くぎCN65:5本	0.65	3.44
(は)	T字形かど金物[CP-T]、くぎCN65:5本	1.0	5.92
	山形プレート金物[VP]、くぎCN90:8本		
(に)	羽子板ボルト φ12mm(スクリークぎなし)、又は 短冊金物(スクリークぎなし)	1.4	7.41
(ほ)	羽子板ボルト φ12mm(スクリークぎ:L=50, φ4.5)、又は 短冊金物(スクリークぎ)	1.6	8.47
(へ)	10kN用引き寄せ金物[HD-B10]	1.8	9.53
(と)	15kN用引き寄せ金物[HD-B15]	2.8	14.82
(ち)	20kN用引き寄せ金物[HD-B20]	3.7	19.58
(り)	25kN用引き寄せ金物[HD-B25]	4.7	24.87
(め)	15kN用引き寄せ金物[HD-B15]*2枚	5.6	29.64

電気設備工事 特記仕様書

1 工事概要
1 工事名称 H23年度 農村活性化支援事業
2 工事場所 長野県 上伊那郡 箕輪町 大字中箕輪 3730-246, 3730-247, 3730-248, 3730-275, 3730-276
3 用地地域等 都市計画区域(内・外) 用途地域(無指定)
4 主要用途 その他(農産物加工施設) [08900]

Table with 4 columns: 工事種目, 建物別及び区分, 工事種別, 備考. Lists various electrical work items like power supply, lighting, and communication equipment.

II. 電気設備工事特記仕様
1 共通事項
(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁官庁の「公共建築工事標準仕様書 電気設備工事編(平成22年版)」...

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Details specific requirements for materials, construction methods, and safety measures.

11 工事用電力、水、他
12 工事用仮設物
13 監督員事務所
14 監督員、さん機
15 養生材の処理

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes sections for site preparation, environmental measures, and construction methods.

18 他工事との工事区分
21 電線類
22 合成樹脂製可とう電線管
23 二種金属製可とう電線管
24 電線本数、管径など
25 インサート
26 呼び線
27 フラッシュプレート
28 フロアプレート、ベース
29 ハンドホール蓋
30 支持金物、固定金物
31 あと施工アンカー
32 はつり
33 再使用機器
34 撤去後の清掃等

Table with 4 columns: 接地の種別, 記号, 接地抵抗値, 接地線の種別、数量. Lists grounding specifications for different types of groundings.

35 建築工事
37 山留め
38 舗装工事
39 公共事業労働費調査に対する協力
40 不法無届の排除
41 工事経過記録

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Details specific requirements for lighting fixtures and lamps.

1 工事範囲
2 電気方式
3 施工方法
4 管配線
5 電磁妨害用抑制器(遠方誘導型)
6 線路への接続
7 電線管の埋設
8 並用コンデンサ

1 電気方式
2 施工場所及び面積
3 工事範囲
4 受電部
5 避雷導線
6 接地線
7 測定用接地線
8 電気方式
9 引込ケーブル
10 配電盤
11 主進断装置
12 高圧機器類
13 変圧器容量
14 並用コンデンサ
15 リアクトル
16 自動力率制御装置
17 測定用補助接地線

1 直流電源装置
2 交流無電圧電源装置
3 工事範囲
4 形式
5 発電機
6 原動機
7 燃料
8 太陽光発電装置
9 交換機
10 電圧調整機
11 電圧降下抑制装置
12 電圧降下抑制装置
13 電圧降下抑制装置
14 電圧降下抑制装置
15 電圧降下抑制装置

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Details specific requirements for power distribution and control equipment.

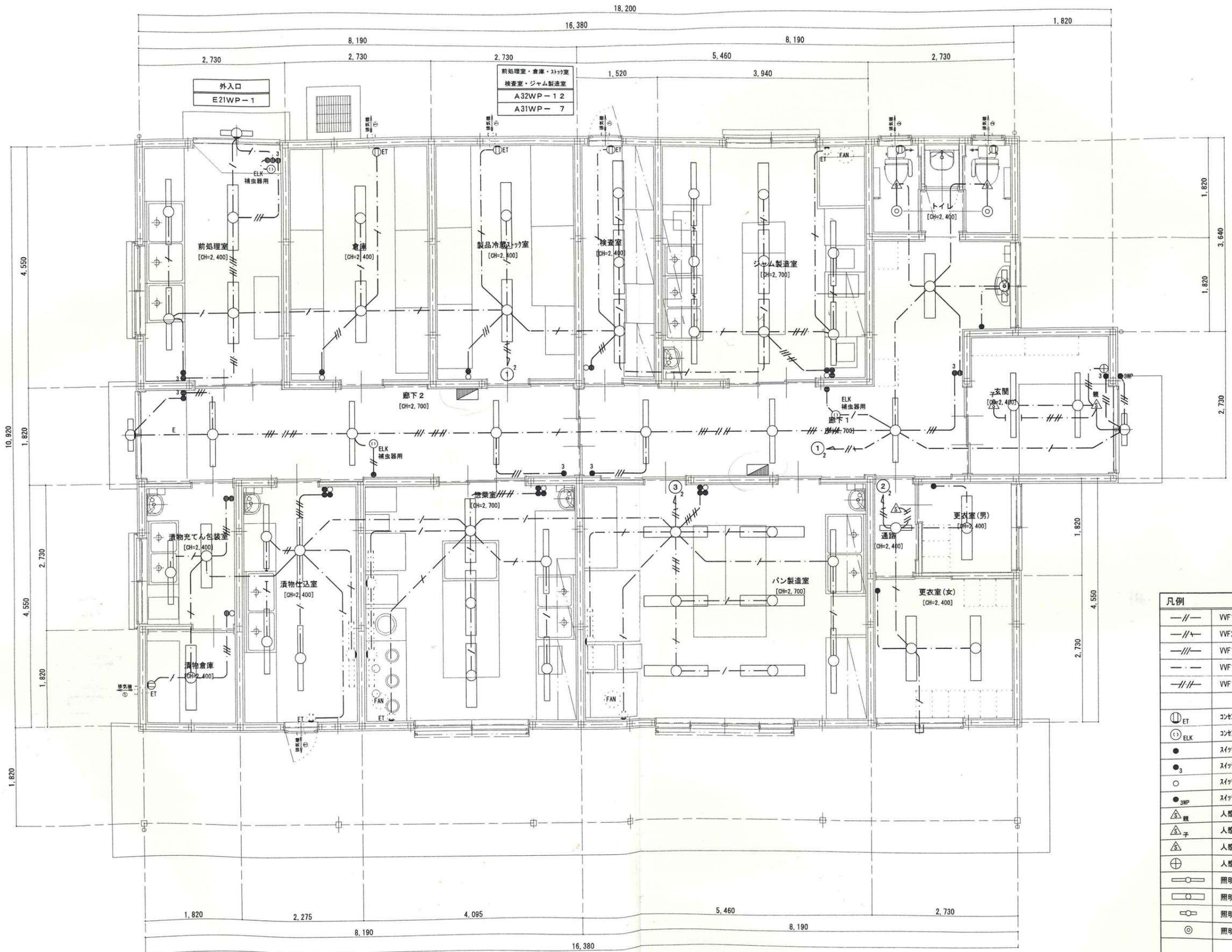
1 工事範囲
2 火災警報装置
3 非常警報装置
4 自動閉鎖装置
5 ガス漏れ警報装置
6 消火器類

1 工事範囲
2 監視制御対象設備
3 表示作業者
4 監視制御装置
5 高圧ケーブルの埋設処理
6 その他
7 外灯設備
8 沈下対策
9 標識シールド
10 手続配管

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Details specific requirements for monitoring and control systems.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Details specific requirements for construction and completion procedures.

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@ncaatv.ne.jp
Title H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事
Drawing Title 電気設備工事 特記仕様書
Checked
Sheet No. E-01
E-05
整理番号 11005



外入口
E21WP-1

廊下
A31-6

漬物包装室・漬物倉庫・仕込室
包装室・パン製造室
A32WP-11
A31WP-9
D31WP-4

トイレ・洗面
A32-1
F-1
G21-2

玄関
A31-2
E21WP-1

更衣室・通路
A32-3
A21-1

凡例	
—//—	WF1.6-3C (E入)
—//—	WF2.0-3C (E入)
—//—	WF1.6-3C
—//—	WF1.6-2C
—//—	WF1.6-2C×2
⊕	コンセント 2P15AET×1
⊙	コンセント 2P15A×1 抜止 (補虫器用)
●	スイッチ 1P15A
● ₃	スイッチ 3W15A
○	スイッチ 1P15A L付
● _{3WP}	スイッチ 3W15A 防水
△ _親	人感センサー 親機
△ _子	人感センサー 子器
△	人感センサー
⊕	人感センサー操作ユニット
○	照明器具 32w×1
○	照明器具 32w×2
○	照明器具 20w×1
⊙	照明器具 9'ケライト

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号 設計担当者
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265-79-8836 Fax 0265-79-8912

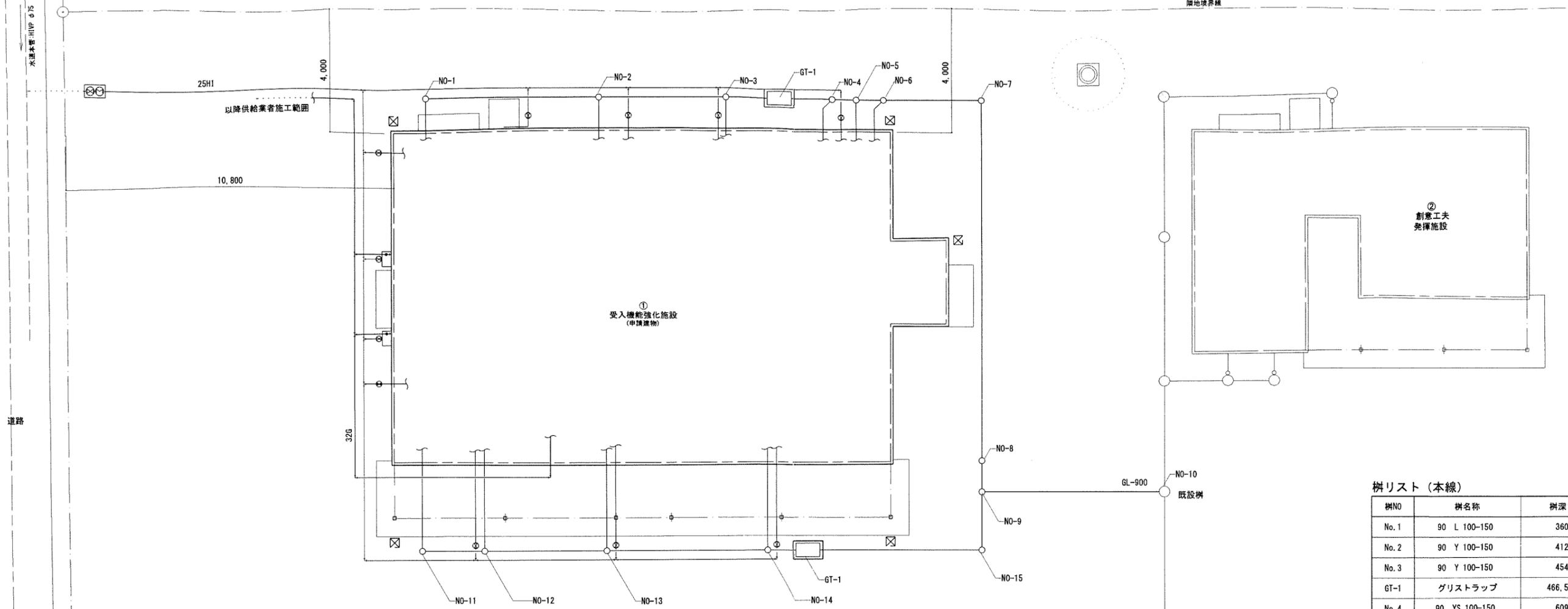
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 23 . 3 .
Scale 1/50

Title
H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title
[機械設備] 電灯設備図

Sheet No.
E-04 / E-05
整理番号 11005

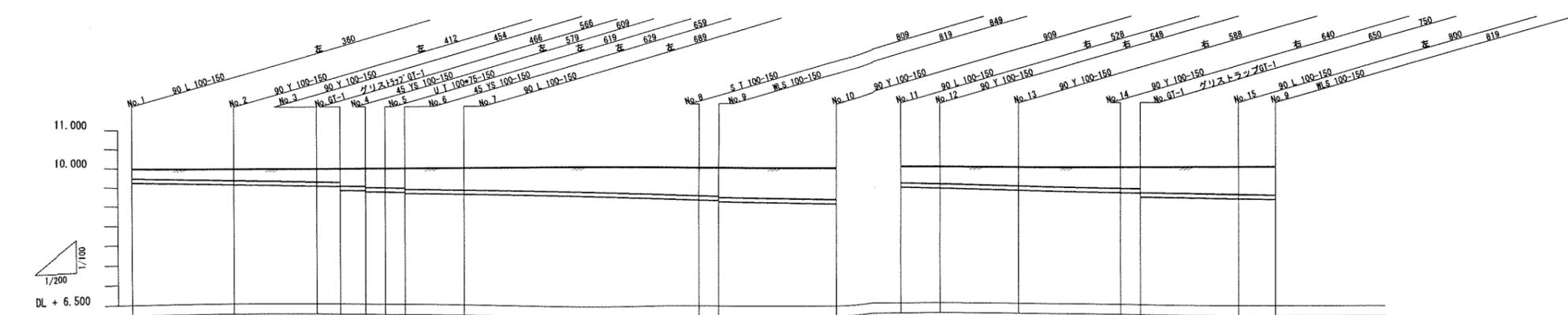


樹リスト (本線)

樹NO	樹名称	樹深さ
No. 1	90 L 100-150	360
No. 2	90 Y 100-150	412
No. 3	90 Y 100-150	454
GT-1	グリストラップ	466, 566
No. 4	90 YS 100-150	609
No. 5	UT 100X75-150	619
No. 6	90 YS 100-150	659
No. 7	90 L 100-150	689
No. 8	S T 100-150	809
No. 9	WLS 100-150	819 849
No. 10	既存接続樹 100-150	909

樹リスト (枝管路)

樹NO	樹名称	樹深さ
No. 11	90 L 100-150	528
No. 12	90 Y 100-150	548
No. 13	90 Y 100-150	588
No. 14	90 Y 100-150	640
GT-1	グリストラップ	750
No. 15	90 L 100-150 左	800
No. 9	WLS 100-150 右	819



測点	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11	No. 12	No. 13	No. 14	No. 15
勾配	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
管種管径	WU100	WU100	WU100	WU100	WU100	WU100	WU100	WU100							
地盤高	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
土被り	0.250	0.200	0.244	0.195	0.149	0.099	0.049	0.000	0.050	0.099	0.149	0.199	0.249	0.299	0.349
管底高	9.750	9.800	9.756	9.805	9.854	9.903	9.952	10.000	9.950	9.901	9.852	9.803	9.754	9.705	9.656
追加距離	0.00	5.20	9.40	10.60	11.80	13.00	14.20	15.40	16.60	17.80	19.00	20.20	21.40	22.60	23.80
区間距離	0.00	5.20	4.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20

空調機器表

記号	機器名称	形式	設置場所	仕様	電気容量 (60HZ)			台数	備考
					φ	V	適用		
AC-1	ルームエアコン	冷暖房兼用壁掛型インバーター S22MTPS-W	倉庫	壁掛形 冷房能力2.8Kw 暖房能力3.6kw	1	100	15A	3	架台
				冷房消費電力630W 暖房消費電力520W					
				室内ファン電動機出力26w 室外ファン出力23w 圧縮機電動機出力 0.75kw					
AC-2	ルームエアコン	冷暖房兼用壁掛型インバーター S22MTPS-W	漬物倉庫	壁掛形 冷房能力2.2Kw 暖房能力2.2kw	1	100	15A	1	架台
				冷房消費電力455W 暖房消費電力385W					
				室内ファン電動機出力29w 室外ファン出力20w 圧縮機電動機出力 0.6kw					
AC-5	厨房用エアコン	冷暖房兼用厨房用 SZT80BBV BRC1E3 K-DU20ZE K-DUP4E K-DUP8	惣菜室	厨房用 冷房能力7.1Kw 暖房能力8.0kw	1	200	30A	3	架台
				圧縮機出力1.62Kw					
				省ナビリモコン					
				ドレンアップ付					

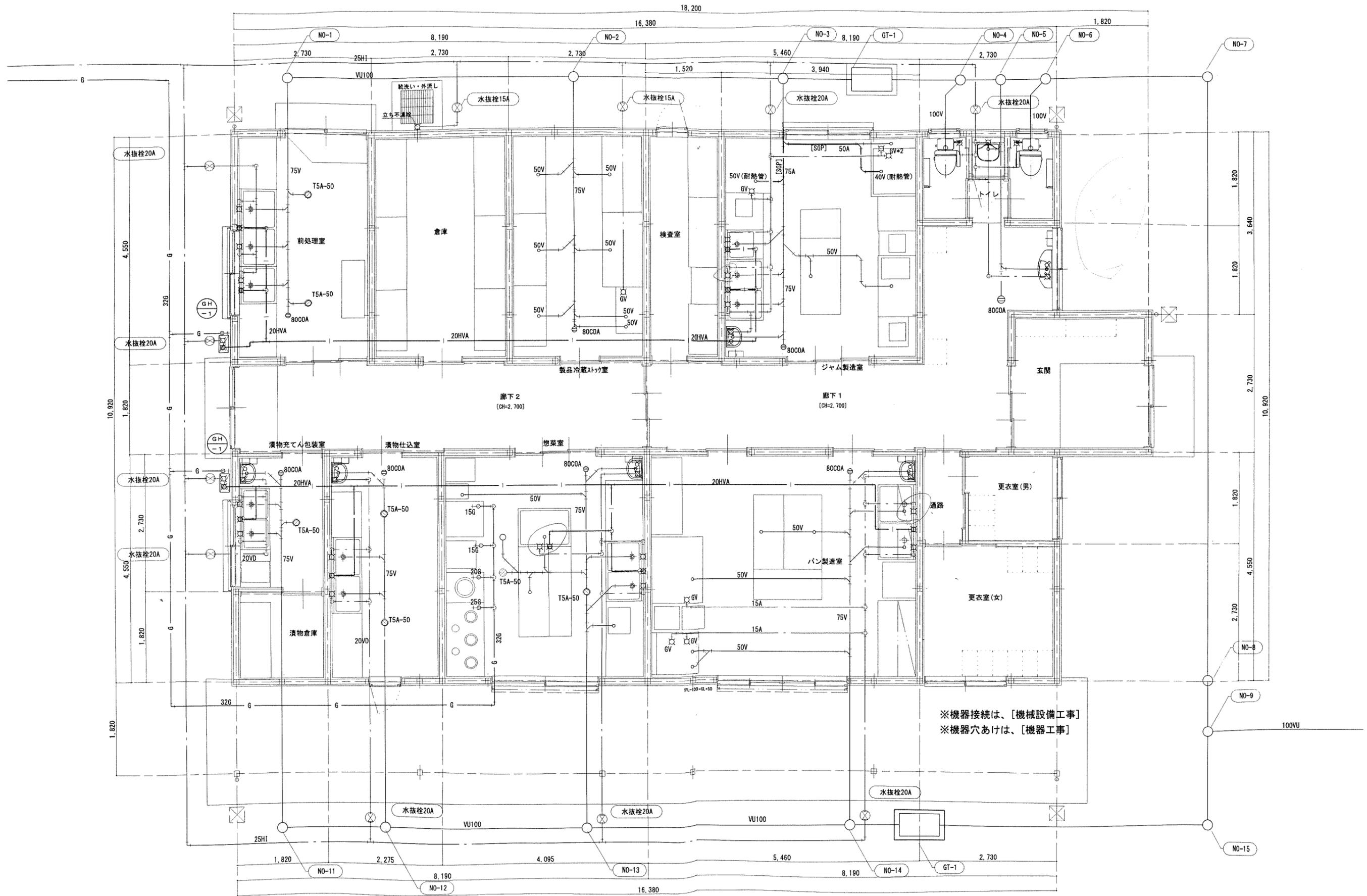
換気機器表

記号	機器名称	形式 製品形式	設置場所	仕様	電気容量 (60HZ)			台数	備考
					φ	V	kW 適用		
FE-1	有圧換気扇	低騒音排気専用 EFC-30FSB, PS-30CS, PS-30TW FS-04SW	ジャム製造室	仕様：羽根径 30cm×1400m3/h. 電動シャッター付	1	100	50 W 消費電力	1	
				付属品：ウェザーカバー（SUS製・防鳥網付）、取付枠。					
FE-3	有圧換気扇	EG-40CSXB3, PS-40SMXA, W-40SA PS-40TW, PS-40KW	惣菜室	仕様：羽根径 40cm×3300m3/h. 電動シャッター付	1	100	10.3 W 消費電力	1	SWは電気工事
				付属品：ウェザーカバー（SUS製・防鳥網付）、取付枠。					
FE-4	有圧換気扇	EFC-25FSB, PS-25CS, PS-25TW FS-04SW	パン製造室	仕様：羽根径 25cm×1000m3/h. 電動シャッター付	1	100	15.5 W 消費電力	1	
				付属品：ウェザーカバー（SUS製・防鳥網付）、取付枠。					
FE-1	SUSフード		ジャム製造室	1200X880X700h					
FE-3	SUSフード	F1-550G	惣菜室	3550X800X700h					分割
				グリッフィルター（片面）					
FE-4	SUSフード		パン製造室	2800X1100X500h					分割
排気①	ﾊﾞｲﾌﾟﾌﾞﾗﾝ	V-08PHLD6 P-13VAQ3		ﾊﾞｲﾌﾞﾌﾞﾗﾝ:V-08PHLD6—有効換気量:40m3/h. P-13VAQ3 深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3				5	
排気②	ﾊﾞｲﾌﾞﾌﾞﾗﾝ	V-08PALD6 P-13VAQ3		ﾊﾞｲﾌﾞﾌﾞﾗﾝ:V-08PALD6—有効換気量:40m3/h. P-13VAQ3 深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3				2	
給気ユニット	自然給気ユニット	P-13KQU3 P-13VSSQ3-AF	各室						10

衛生器具表

機器名称	形式 (参考)	設置場所	仕様	台数	備考
洋風大便器	CS670B-SH670BNML	トイレ		2	
	TCF6421	トイレ	ウォシュレット、暖房便座	2	
	YHS201FLN	トイレ	棚付 2連紙巻器、ハンドグリップ	2	
掃除流し	SK500	トイレ	T200SNR13, TL220D, T6SCM2R	1	
手洗器	L650D 自動水栓	廊下1	TEN41AX-TS126AR-T22BS	1	水石けん入共
	ﾊﾞｰﾊﾞｰﾀｲﾑﾘﾝｸﾞ	廊下1	YKT100	1	
化粧鏡		廊下1	TS119ASR13(363*455)	1	
手洗器	L30DM 自動水栓	各室	TEN40AX, TS126AR, T22BS	5	水石けん入共
	ﾊﾞｰﾊﾞｰﾀｲﾑﾘﾝｸﾞ	各室	YKT100	5	
自在水栓(湯用)	T130ARU13 C	各室		15	
自在水栓(湯用)	T130ARU13 H	各室		9	
吸気弁付耐寒万能水栓	D-X-2013120-KTL-10	屋外	浸マスカパーセット(OM-D)	1	
GT-1ｸﾞﾘｯﾄﾞﾗｯﾌﾟ	HGR-130P	屋外	133L地中埋設型 SS製ふたかさ上げ共	2	かさ上げ500ｺﾝｸﾘｰﾄ打設共
	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ給湯器 20号	屋外	壁掛け式 100V RUX-A2011WE	2	

凡 例				
記号	名称	仕様	規格	
— — — —	給水管 (屋外埋設)	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JIS K 6742	埋設深度 600H
— — — —	給水管 (屋 内)	水道用硬質塩化ビニリング鋼管	JWWA K 116	SGP-VB SGP-VD
— I — —	給湯管 (送り)	水道用耐熱性硬質塩化ビニリング鋼管	JWWA K 140	SGP-HVA
— II — —	給湯管 (返り)	水道用耐熱性硬質塩化ビニリング鋼管	JWWA K 140	SGP-HVA
— — — —	排水管 (屋外)	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	屋外第一樹以降 (VU)
— — — —	排水管 (屋内)	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	屋内～屋外第一樹まで (VU)
— — — —	通気管	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	
— G — —	ガス管	配管用炭素鋼鋼管 (白管)		
⊗	仕切弁	JIS 10K		
⊗	不凍水抜栓	800L (BOX共)		
⊗	水栓類	寒冷地仕様		
⊗	散水栓	寒冷地仕様 自動接手付 (BOX共)		
+	ガス栓, ガスコック			
⊕	床上掃除口	COA		
⊕	通気金物	VE		
○	塩ビ製小口径汚水樹	主管径 φ100 樹径 φ150		
— — — —	ドレン管	硬質塩化ビニル管		
— — — —	冷媒管	断熱被覆鋼管		
⊠	矩形ダクト	亜鉛鉄板 (厨房排気ダクトは0.8t)		
⊠	丸ダクト	スパイラルダクト (厨房、多湿箇所はVPダクト)		



※機器接続は、[機械設備工事]
 ※機器穴あけは、[機器工事]

※業務機器設置部分(壁際に限る)の床:一般FL+50とする(詳細は建築図参照)。

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
 E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
 管理建築士 堀口 隆
 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
 Phone 0265-79-8836 Fax 0265-79-8912

設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 23 . 3 .
 Scale 1/50

Title
 H23年度 農村活性化支援事業
 受入機能強化施設 建設工事

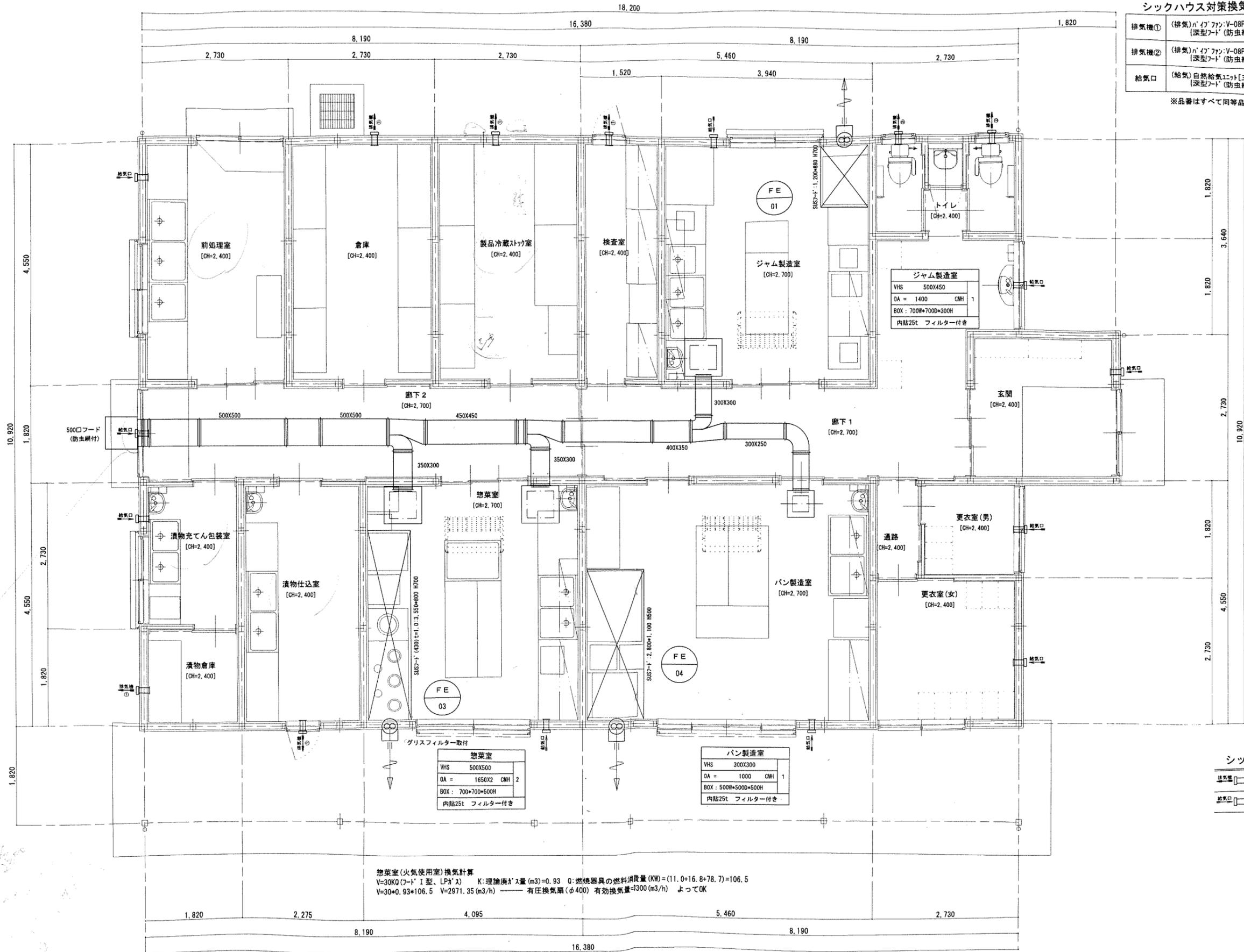
Drawing Title
 [機械設備] 衛生設備平面図

Sheet No. M-04 / M-06
 整理番号 11005

シックハウス対策換気設備【機械設備工事】 凡例

排気機①	(排気)バフファン:V-08PHLD6[三菱]→有効換気量:40m ³ /h [深型フード(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3[三菱]]	5
排気機②	(排気)バフファン:V-08PALD6[三菱]→有効換気量:40m ³ /h [深型フード(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3[三菱]]	2
給気口	(給気)自然給気ユニット[三菱]:P-13KOU3 [深型フード(防虫網付)φ100用:P-13VSS03-AF[三菱]]	10

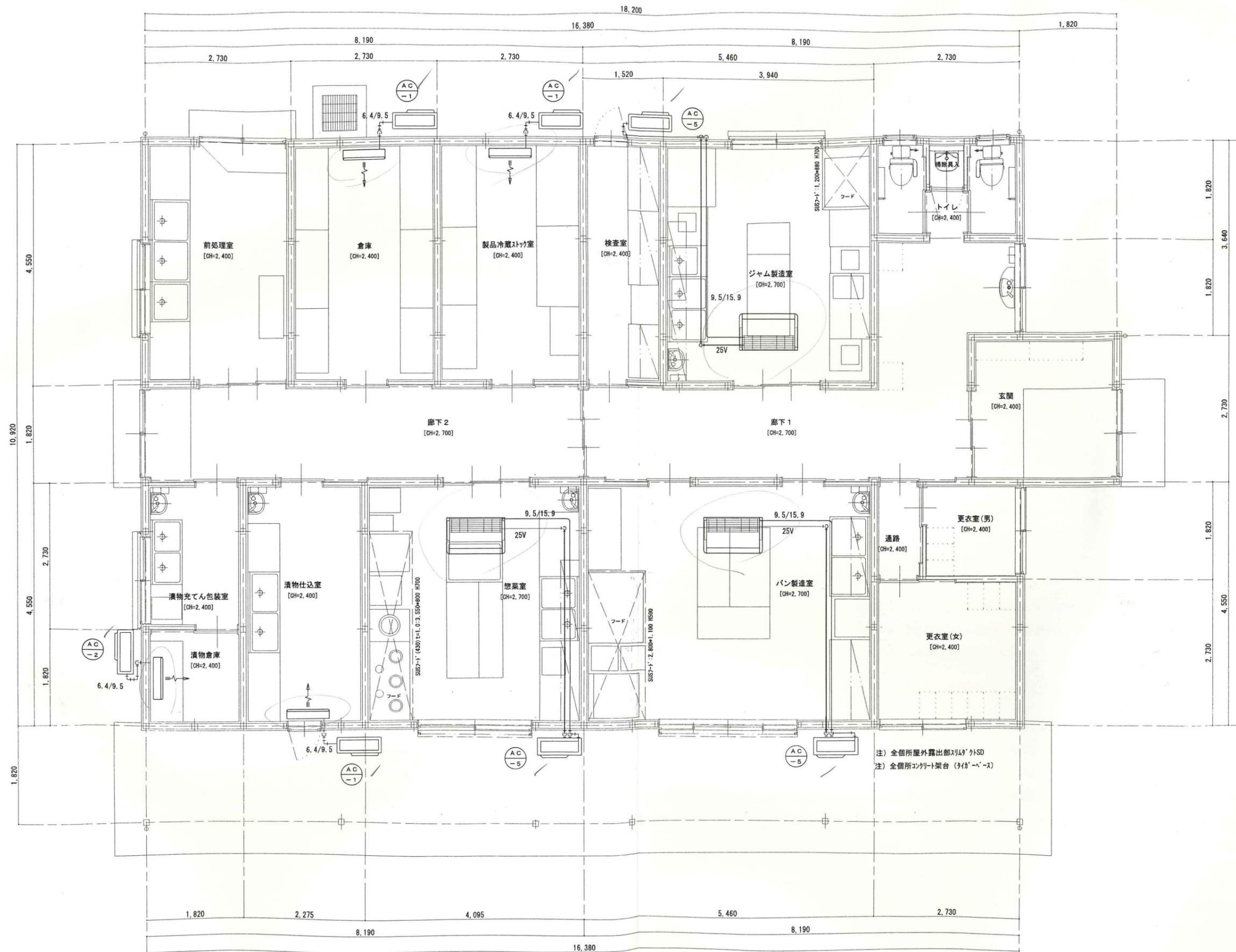
※品番はすべて同等品とする



シックハウス対策関係 凡例

- 排気機 □ シックハウス対策 24時間換気扇
- 給気口 □ シックハウス対策 自然給気口

惣菜室(火気使用室)換気計算
 $V=30KG(7\text{-}I\text{型、LPガ}\text{ス})$ $K:\text{理論燃}\text{料}\text{量}(m^3)=0.93$ $Q:\text{燃焼器具の燃料消費量}(KW)=(11.0+16.8+78.7)=106.5$
 $V=30\div0.93\div106.5$ $V=2971.35(m^3/h)$ —— 有任換気扇(φ400) 有効換気量=1300(m³/h) によってOK



注) 全箇所屋外露出部は'外SD'
注) 全箇所コンクリート架台 (タイガーベース)

建築工事 特記仕様書

Table with 7 columns: No., Name, Location, etc. Contains project details like 'H22年度 農村活性化支援事業' and '創意工夫発揮施設 建設工事'.

1. 共通仕様
2. 特記仕様
3. 特記事項
4. 別注工事

Table with 3 columns: No., Item, Specification. Lists items like '1. 適用基準等', '2. 工事実施情報の登録', '3. 施工体制'.

Table with 3 columns: No., Item, Specification. Lists items like '4. 養生材の取扱い', '5. 電気保安技術者', '6. 施工条件'.

7. 公害対策
8. 安全対策
9. 環境対策

10. 工事現場のバリエーション
11. 事故報告
12. 建築材料等

13. 特別な材料の工法
14. 建築基準法による圧力等の指定
15. 設計 G.L.
16. 技能士

Table with 2 columns: Material Name, Specification. Lists materials like 'コンクリート', '鉄筋'.

17. 工事経過記録
18. 完成写真
19. 設備工事との取合い
20. 公共事業労働費調査に対する協力

Table with 3 columns: Material Name, Specification, etc. Lists materials like 'コンクリート', '鉄筋'.

21. 不法無届の排除
22. 仮囲い
23. 危険防止
24. 交通誘導員
25. 監督員事務所

Table with 3 columns: Material Name, Specification, etc. Lists materials like 'コンクリート', '鉄筋'.

26. 工事表示板
27. 専業コスト表示板
28. 工事用水
29. 工事用電力
30. 工事用通路

31. 足場等
32. その他取扱い

33. 雨水及び汚水の排水
34. 増戻し及び土留の取扱い

3. 建設発生土の処理
4. 山留め
5. 濁水・濁水処理対策

Table with 3 columns: Material Name, Specification, etc. Lists materials like 'コンクリート', '鉄筋'.

6. 既成コンクリート杭の取扱い
7. 杭の取扱い
8. 杭の取扱い

9. 杭の取扱い
10. 杭の取扱い

11. 杭の取扱い
12. 杭の取扱い

13. 杭の取扱い
14. 杭の取扱い

15. 杭の取扱い
16. 杭の取扱い

17. 杭の取扱い
18. 杭の取扱い

19. 杭の取扱い
20. 杭の取扱い

21. 杭の取扱い
22. 杭の取扱い

23. 杭の取扱い
24. 杭の取扱い

25. 杭の取扱い
26. 杭の取扱い

27. 杭の取扱い
28. 杭の取扱い

29. 杭の取扱い
30. 杭の取扱い

31. 杭の取扱い
32. 杭の取扱い

33. 杭の取扱い
34. 杭の取扱い

35. 杭の取扱い
36. 杭の取扱い

4. 高力ボルト
5. 溶接部の試験
6. 溶接部の試験

Table with 3 columns: Material Name, Specification, etc. Lists materials like 'ボルト', '溶接'.

7. 溶接部の試験
8. 溶接部の試験

9. 溶接部の試験
10. 溶接部の試験

11. 溶接部の試験
12. 溶接部の試験

13. 溶接部の試験
14. 溶接部の試験

15. 溶接部の試験
16. 溶接部の試験

17. 溶接部の試験
18. 溶接部の試験

19. 溶接部の試験
20. 溶接部の試験

21. 溶接部の試験
22. 溶接部の試験

23. 溶接部の試験
24. 溶接部の試験

25. 溶接部の試験
26. 溶接部の試験

27. 溶接部の試験
28. 溶接部の試験

29. 溶接部の試験
30. 溶接部の試験

31. 溶接部の試験
32. 溶接部の試験

33. 溶接部の試験
34. 溶接部の試験

35. 溶接部の試験
36. 溶接部の試験

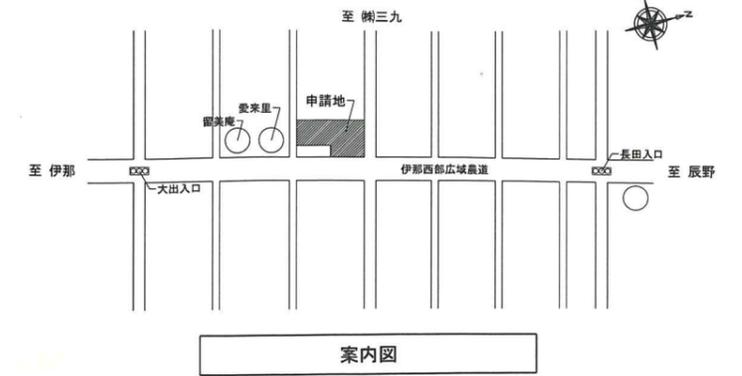
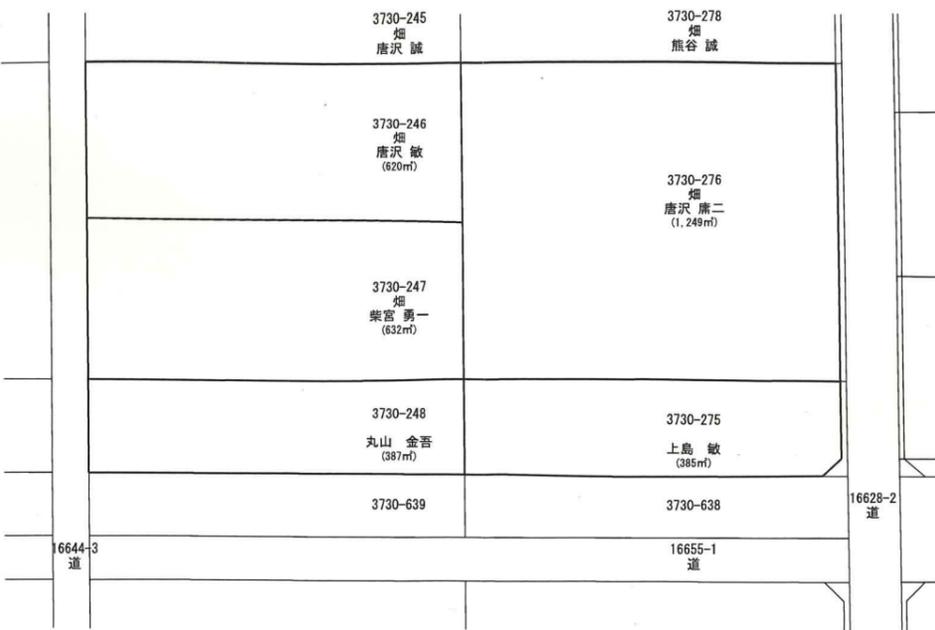
Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所

一級建築士事務所登録
(上伊)D第39211号
設計担当者
堀口 隆

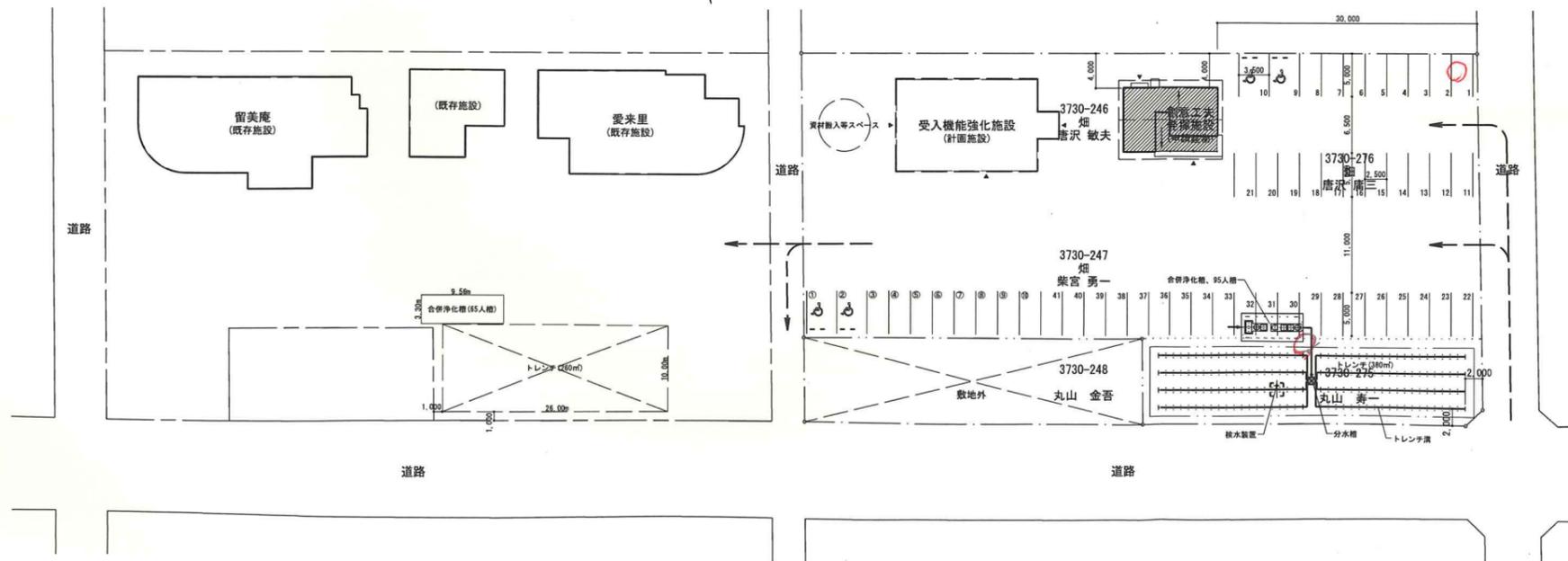
Date
H 22 . 11 .
Scale
Title
H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事

Drawing Title
建築本体工事 特記仕様書 1
Sheet No.
D-01
D-13
整理番号
10018

13	① 金属板葺	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>屋根葺形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ カラー亜鉛板(※片面塗装・両面塗装)</td> <td>※0.4</td> <td>※瓦葺(心なし)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ アルミ亜鉛板(※片面塗装)</td> <td>※0.4</td> <td>※立平葺</td> <td>AL55%</td> </tr> <tr> <td>・ フッ素樹脂亜鉛板</td> <td>※0.4</td> <td>・ 傾度葺き</td> <td></td> </tr> </table> <p>※監督員の承認する業者とする。</p>	材種	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考	・ カラー亜鉛板(※片面塗装・両面塗装)	※0.4	※瓦葺(心なし)		・ アルミ亜鉛板(※片面塗装)	※0.4	※立平葺	AL55%	・ フッ素樹脂亜鉛板	※0.4	・ 傾度葺き		<p>④ 鋼製軽鋼骨</p> <p>鋼骨軽鋼骨ドASET ※使用する ・ 使用しない (16.3.2)(16.3.4)(16.3.6)(表16.3.2)</p> <p>外部に面する鋼骨の耐火性能 ※ S-4 ・ S-5</p> <p>壁・柱の耐火性能 ※ S-4 ・ S-5</p>	<p>⑤ フローリング葺</p> <p>フローリングボード ※使用する ・ 使用しない (19.5.2~7)(表19.5.3~4)</p> <p>フローリングブロック ※使用する ・ 使用しない</p> <p>フローリングシート ※使用する ・ 使用しない</p>	<p>⑥ 点検口</p> <p>点検口 ※使用する ・ 使用しない (21.2.2)</p> <p>点検口 ※使用する ・ 使用しない</p> <p>点検口 ※使用する ・ 使用しない</p>
		材種	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考																
・ カラー亜鉛板(※片面塗装・両面塗装)	※0.4	※瓦葺(心なし)																			
・ アルミ亜鉛板(※片面塗装)	※0.4	※立平葺	AL55%																		
・ フッ素樹脂亜鉛板	※0.4	・ 傾度葺き																			
<p>② 新築</p> <p>JIS A 6514の規格品 (13.3.2)</p> <p>材種 厚さ 山側及び下側の区分 断熱材 耐火性能</p> <p>・ JIS G 3312の規格品 厚さ ※ 0.8 1525 断熱材 ・ 有(30分耐火)</p> <p>・ JIS G 3302の規格品 厚さ ※ 0.6 1525 断熱材 ・ 有(30分耐火)</p> <p>・ JIS K 6774の規格品 厚さ ※ 0.6 1730 断熱材 ・ 有(30分耐火)</p> <p>・ JIS G 3321の規格品 厚さ ※ 0.6 1730 断熱材 ・ 有(30分耐火)</p> <p>・ 断熱材(重組部) ・ はげ補修部</p> <p>・ 軒先葺き</p>	<p>⑦ 鋼製軽鋼骨</p> <p>鋼骨軽鋼骨ドASET ※使用する ・ 使用しない (16.4.2~4)(表16.4.1)</p> <p>外部に面する鋼骨の耐火性能 ※ S-4 ・ S-5</p> <p>壁・柱の耐火性能 ※ S-4 ・ S-5</p> <p>壁・柱の耐火性能 ※ S-4 ・ S-5</p> <p>壁・柱の耐火性能 ※ S-4 ・ S-5</p>	<p>⑧ 畳敷き</p> <p>畳敷き ※使用する ・ 使用しない (19.6.2)(表19.6.1)</p> <p>畳敷き ※使用する ・ 使用しない</p> <p>畳敷き ※使用する ・ 使用しない</p>	<p>⑦ 点検口</p> <p>点検口 ※使用する ・ 使用しない (21.2.2)</p> <p>点検口 ※使用する ・ 使用しない</p> <p>点検口 ※使用する ・ 使用しない</p>																		
14	② アルミウム製建具	<p>③ 断戸</p> <p>断戸 ※使用する ・ 使用しない (16.2.3)(表16.2.1)</p> <p>断戸 ※使用する ・ 使用しない</p> <p>断戸 ※使用する ・ 使用しない</p>	<p>⑥ ステンレス製建具</p> <p>ステンレス製建具 ※使用する ・ 使用しない (16.5.2~5)</p> <p>ステンレス製建具 ※使用する ・ 使用しない</p> <p>ステンレス製建具 ※使用する ・ 使用しない</p>	<p>⑨ 断戸</p> <p>断戸 ※使用する ・ 使用しない (19.9.2)(表19.9.3)</p> <p>断戸 ※使用する ・ 使用しない</p> <p>断戸 ※使用する ・ 使用しない</p>	<p>⑧ 断戸</p> <p>断戸 ※使用する ・ 使用しない (22.1.3)</p> <p>断戸 ※使用する ・ 使用しない</p> <p>断戸 ※使用する ・ 使用しない</p>																
		<p>④ 木製建具</p> <p>木製建具 ※使用する ・ 使用しない (16.6.2)</p> <p>木製建具 ※使用する ・ 使用しない</p> <p>木製建具 ※使用する ・ 使用しない</p>				<p>⑩ ガラス</p> <p>ガラス ※使用する ・ 使用しない (16.13.2)(16.13.3)</p> <p>ガラス ※使用する ・ 使用しない</p> <p>ガラス ※使用する ・ 使用しない</p>	<p>⑪ ガラス</p> <p>ガラス ※使用する ・ 使用しない (16.13.2)(16.13.3)</p> <p>ガラス ※使用する ・ 使用しない</p> <p>ガラス ※使用する ・ 使用しない</p>	<p>⑨ 断戸</p> <p>断戸 ※使用する ・ 使用しない (22.1.3)</p> <p>断戸 ※使用する ・ 使用しない</p> <p>断戸 ※使用する ・ 使用しない</p>													



箕輪町 大字中箕輪
公図写し SCALE 1/500



敷地面積: 620+632+385+1249=2886
全体配置計画図 SCALE 1/500

※駐車場計画・浄化槽計画は想定であり、本工事範囲外である。

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265-79-8836 Fax 0265-79-8912

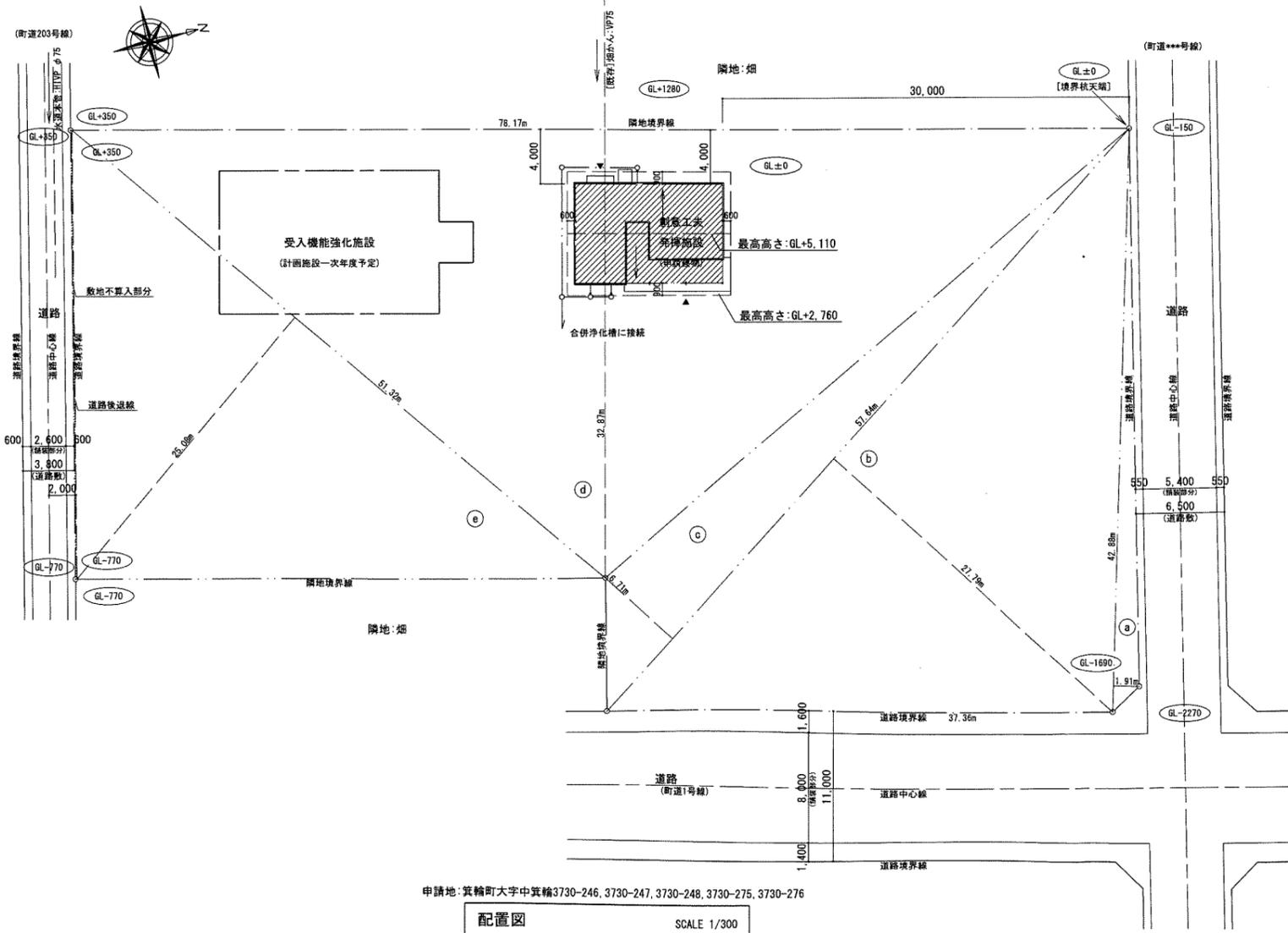
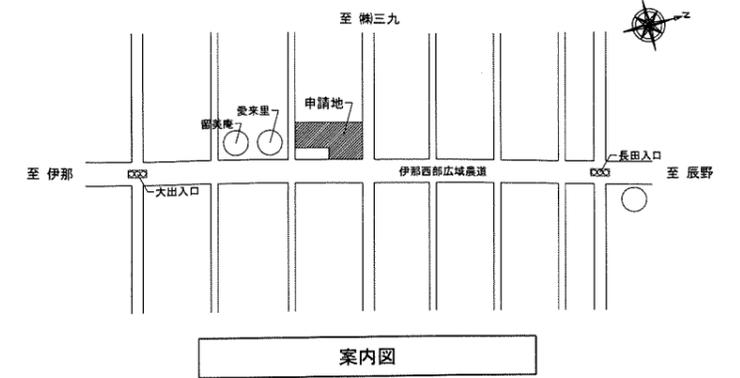
設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 22 . 11 .
Scale 1/500

Title
H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事

Drawing Title
全体配置図 公図写し

Sheet No.
D-03 / D-13
整理番号 10018



①	42.88	*	1.91	* 1/2 =	40.9504
②	57.64	*	27.79	* 1/2 =	800.9078
③	57.64	*	6.71	* 1/2 =	193.3822
④	78.17	*	32.87	* 1/2 =	1,284.7239
⑤	51.32	*	25.08	* 1/2 =	643.5528
				合計	2,963.5171

用途地域:無指定(基準:200/60)一本敷地:200/70 防火指定:無し

敷地面積	2,963.51 m ²			
敷地内建物面積表				
	建築面積		延べ面積	
	申請部分	既存部分	申請部分	既存部分
① 申請建物	79.49 m ²	—	79.49 m ²	—
合計	79.49 m ²	—	79.49 m ²	—
	敷地内建築面積	79.49 m ²	敷地内延べ面積	79.49 m ²
	建ぺい率	2.69 %	容積率	2.69 %

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

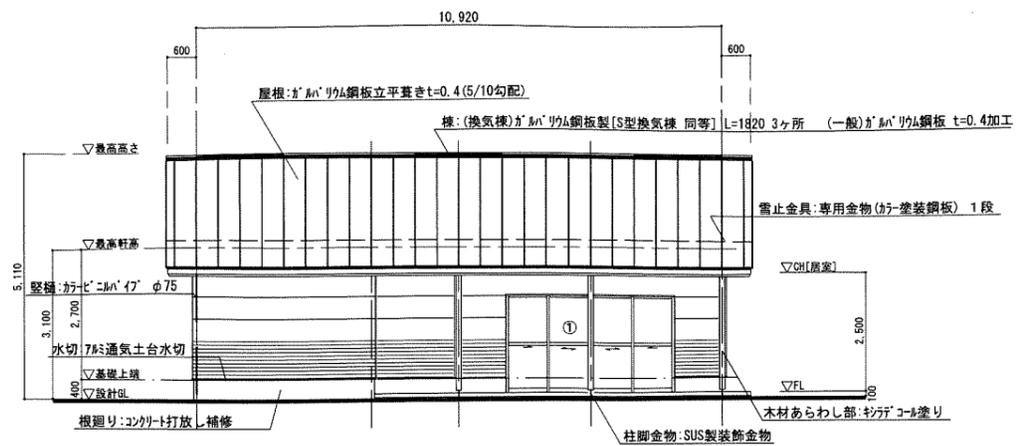
設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 22 . 11 .
Scale 1/300

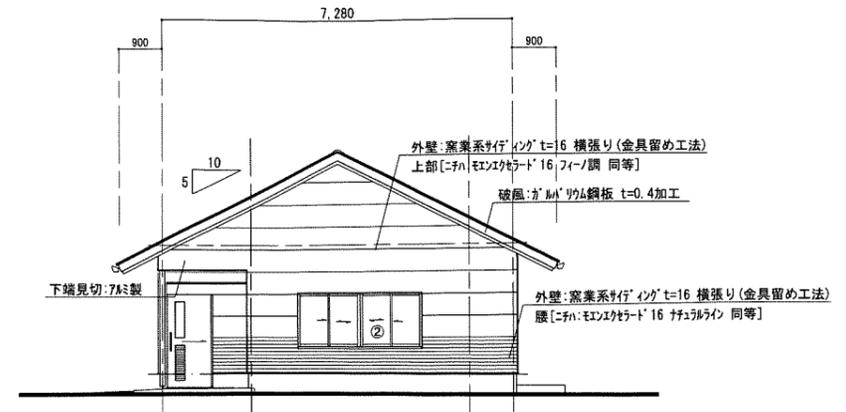
Title H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事

Drawing Title 配置図 案内図 面積表

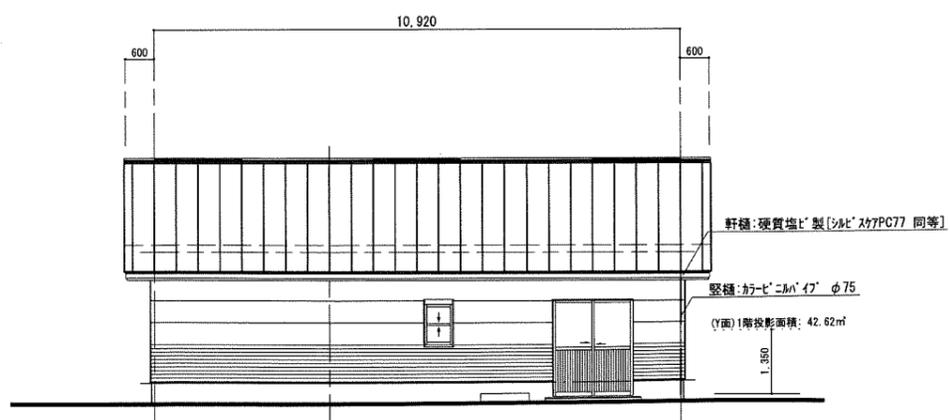
Sheet No. D-04 / D-13
整理番号 10018



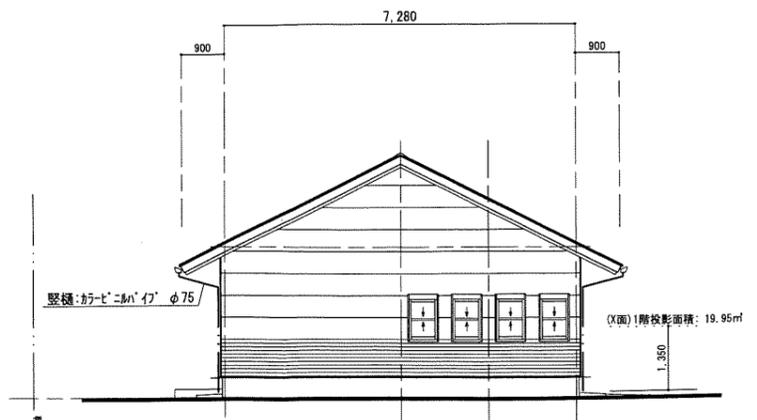
東側立面図 SCALE 1/100
①採光補正係数:敷地の状況から明らかに ≥ 3 —3



北側立面図 SCALE 1/100
②採光補正係数:敷地の状況から明らかに ≥ 3 —3



西側立面図 SCALE 1/100



南側立面図 SCALE 1/100

無指定地域:10d/h-1 d:水平距離 h:垂直距離 d/h:採光補正係数
※採光補正係数算定については、一番不利な部分の算定とする
(道路等の場合の緩和は考慮していない)

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@nacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

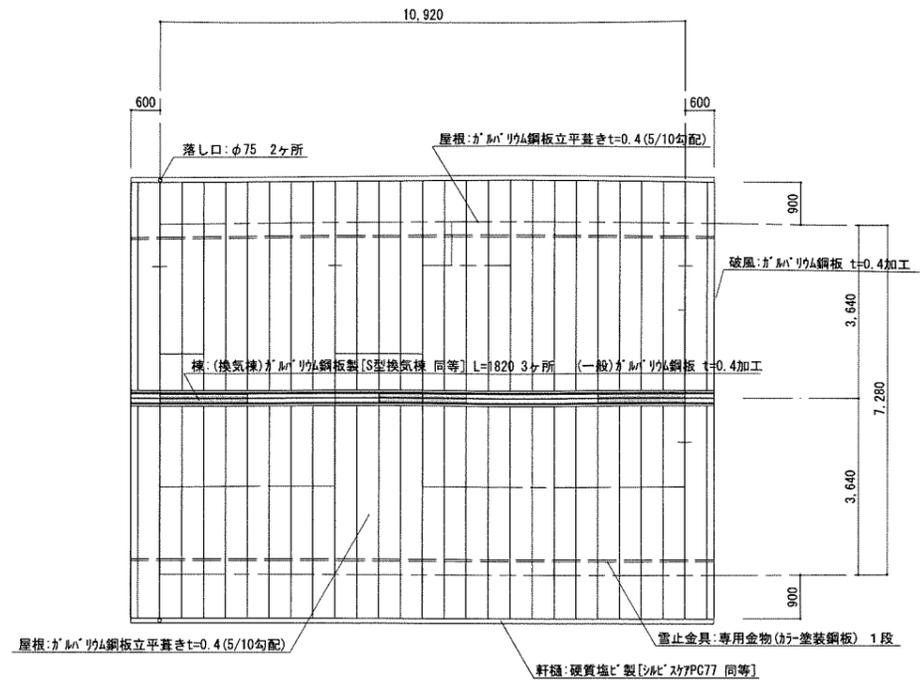
設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 22 . 11 .
Scale 1/100

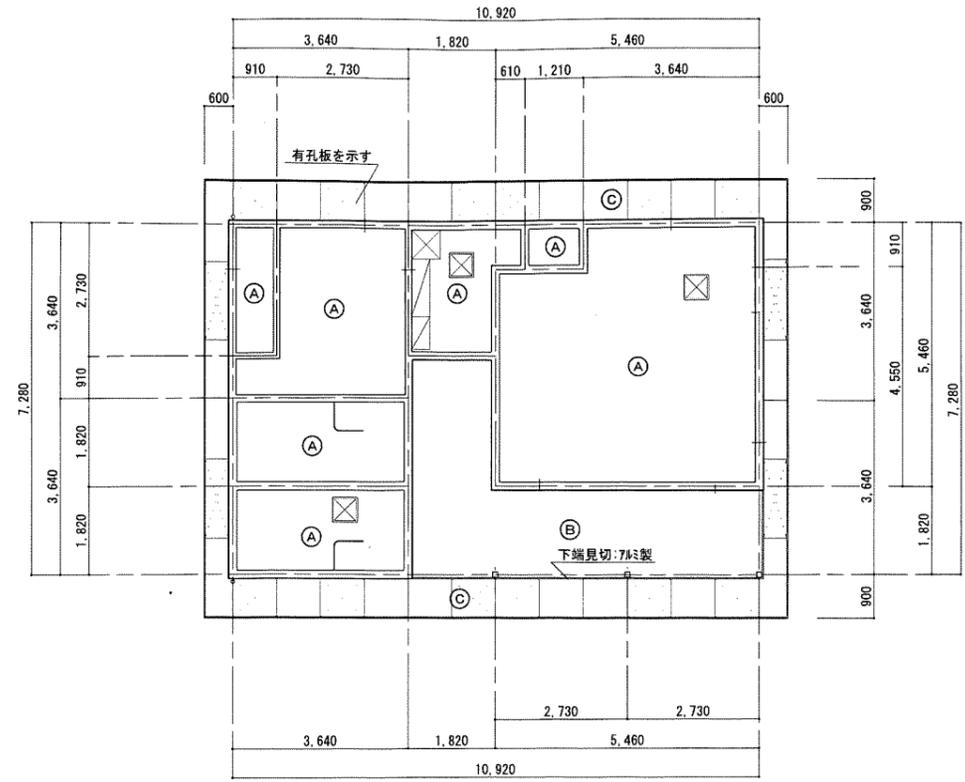
Title H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事

Drawing Title 立面図

Sheet No. D-07 / D-13
整理番号 10018

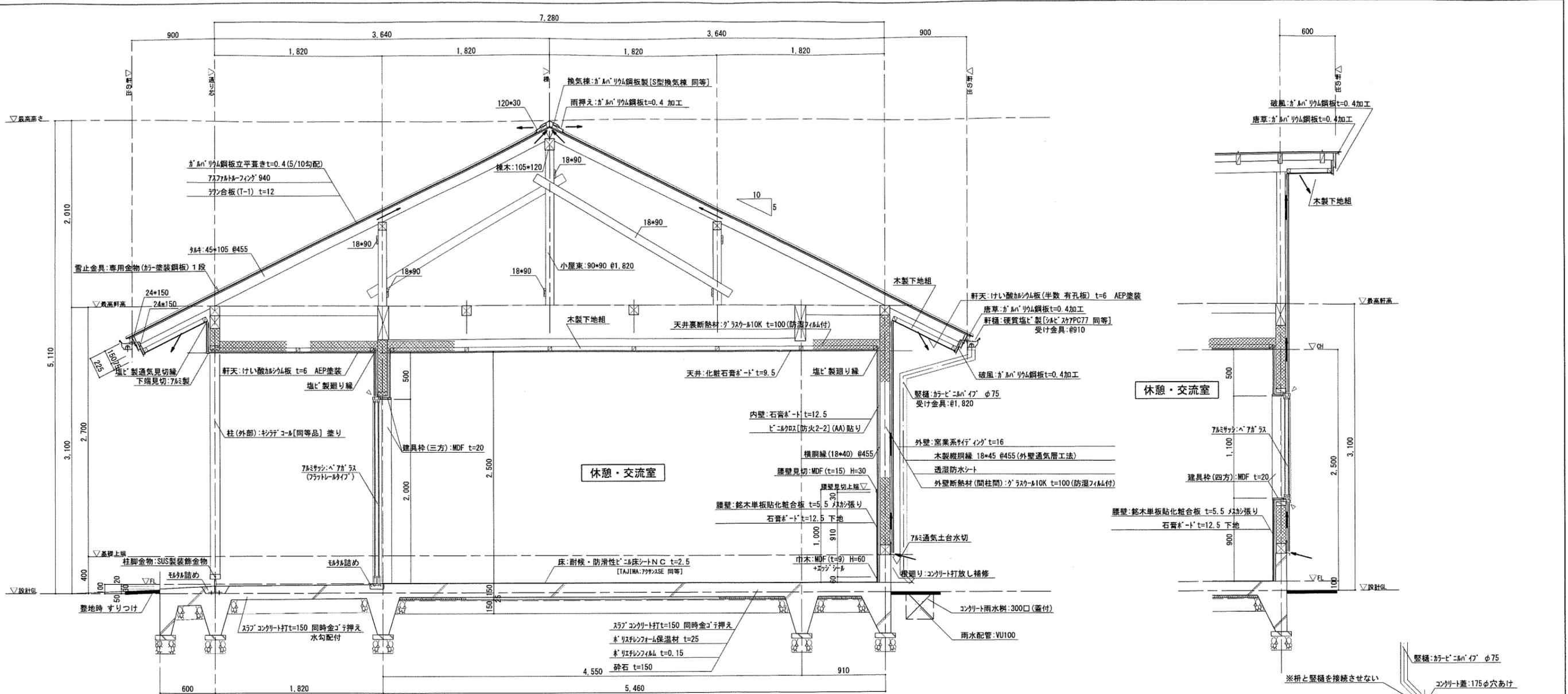


屋根伏図 SCALE 1/100



天井伏図 SCALE 1/100

記号	仕上
(A)	化粧石膏ボード t=9.5(910*455)
(B)	[外部]けい酸ガラス板 t=6(スリット) AEP塗装
(C)	[外部]けい酸ガラス板(半数有孔板)スリット t=6 AEP塗装
☒	天井点検口(7÷3枠) 450口 ※設置位置:現場指示
<p>--- シンク 防サビコーティング SUS L=1200 R1カ所</p>	

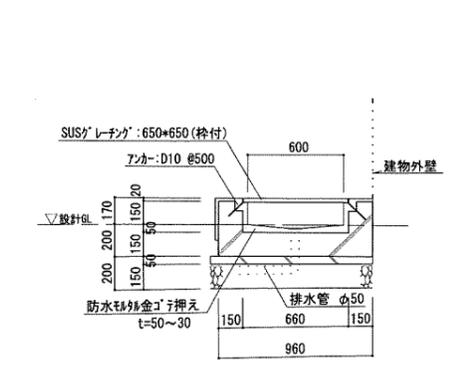


矩計詳細図 SCALE 1/30

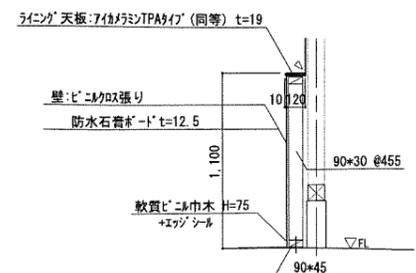
棚(交流室内収納)詳細図 SCALE 1/30

棚(農機具庫内)詳細図 SCALE 1/30

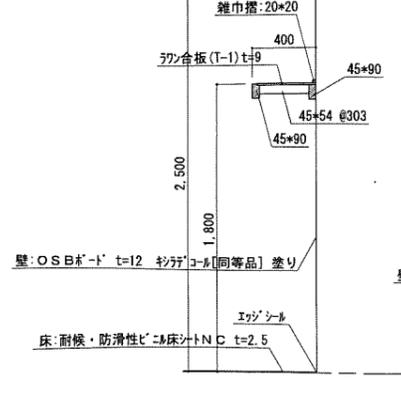
雨水枡詳細図 SCALE 1/30



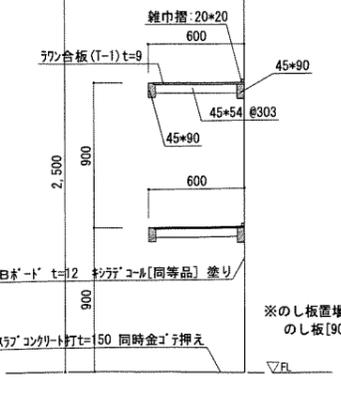
靴洗い場 詳細図 SCALE 1/30



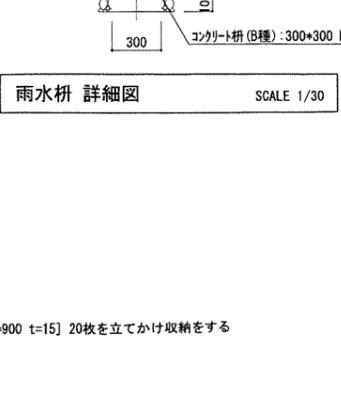
ライニング部 詳細図 SCALE 1/30



棚(交流室内収納) 詳細図 SCALE 1/30



棚(農機具庫内) 詳細図 SCALE 1/30



雨水枡 詳細図 SCALE 1/30

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理 建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆

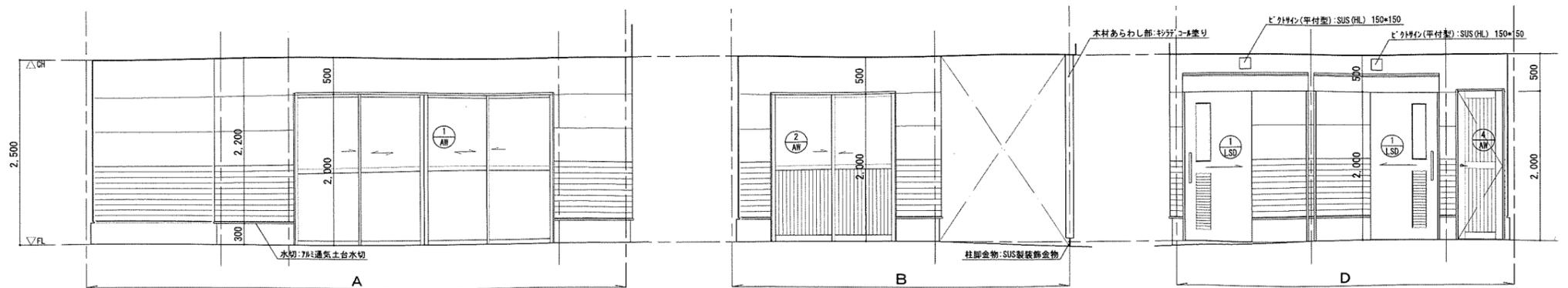
Date H 22 - 11 -
Scale 1/30

Title H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事

Drawing Title 矩計詳細図 部分詳細図

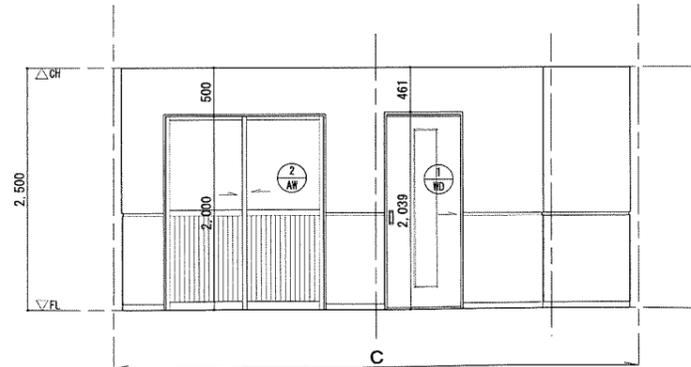
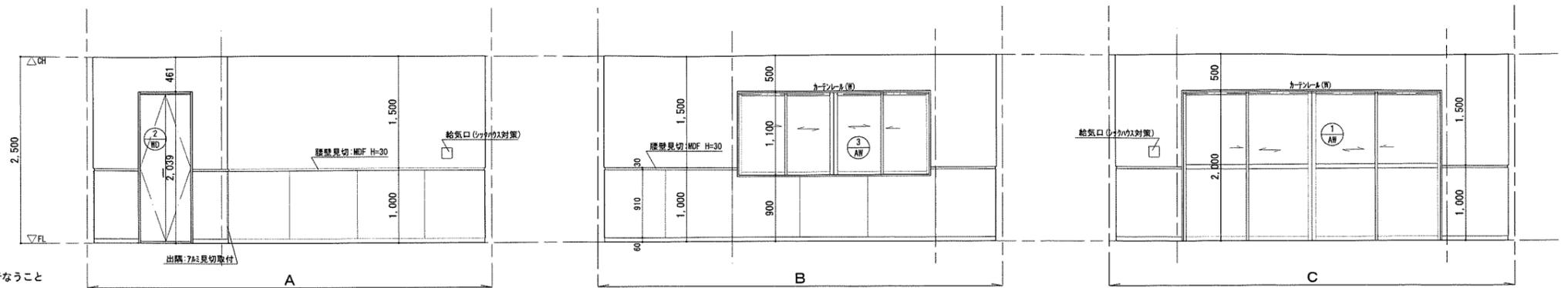
Sheet No. D-09 / D-13
整理番号 10018

天井	けい酸カルシウム板 厚さ t=6 AEP塗装
廻り縁	塩ビ製
壁	外壁と同
巾木	モリシ塗り 刷毛引き仕上
床	仕上なし(コンクリート打 同時金で押え)
ホール[外部] SCALE 1/50	



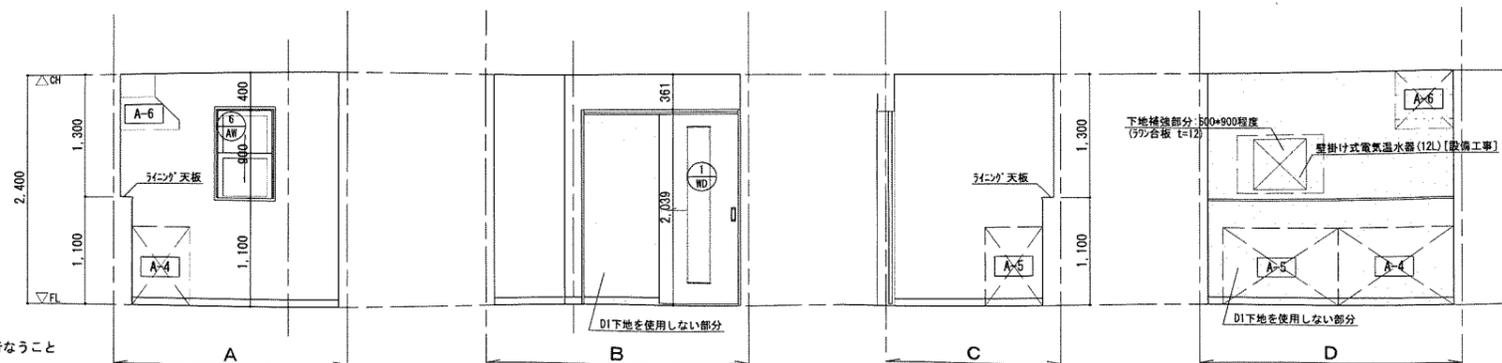
天井	化粧石膏ボード t=9.5
廻り縁	塩ビ製
壁	壁:ビニルクロス(防火2-2) [AA]貼り 下地:石膏ボード t=12.5 腰:銘木単板貼化粧合板 t=5.5 (スリッパ張) 下地:石膏ボード t=12.5
巾木	MDF [t=9] H=60 (既製品) + エッジシール
床	耐候・防滑性ビニル床シートNC t=2.5
休憩・交流室 SCALE 1/50	

※1 壁取付品(手摺、設備機器等)がある場合の下地には7mm合板t=12等にて補強を行なうこと



天井	化粧石膏ボード t=9.5
廻り縁	塩ビ製
壁	壁:ビニルクロス(防火2-2) [AA]貼り 下地:防水石膏ボード t=12.5 腰:
巾木	軟質ビニル巾木 H=75 + エッジシール
床	耐候・防滑性ビニル床シートNC t=2.5
湯沸室 SCALE 1/50	

※1 壁取付品(手摺、設備機器等)がある場合の下地には7mm合板t=12等にて補強を行なうこと
※2 ライン高さは、現場打合せによる



Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理 建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265-79-8836 Fax 0265-79-8912

設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 22.11.
Scale 1/50

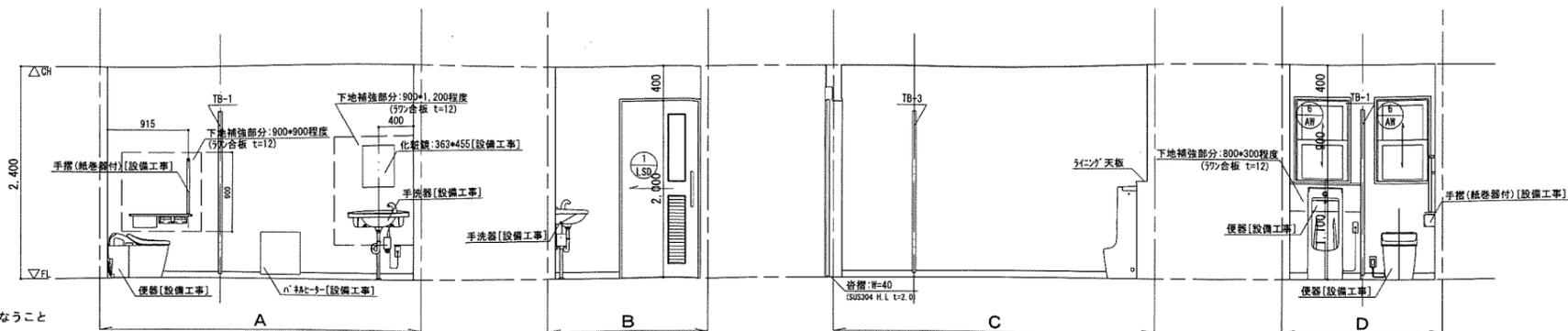
Title
H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事

Drawing Title
展開図 1

Sheet No.
D-10 / D-13
整理番号 10018

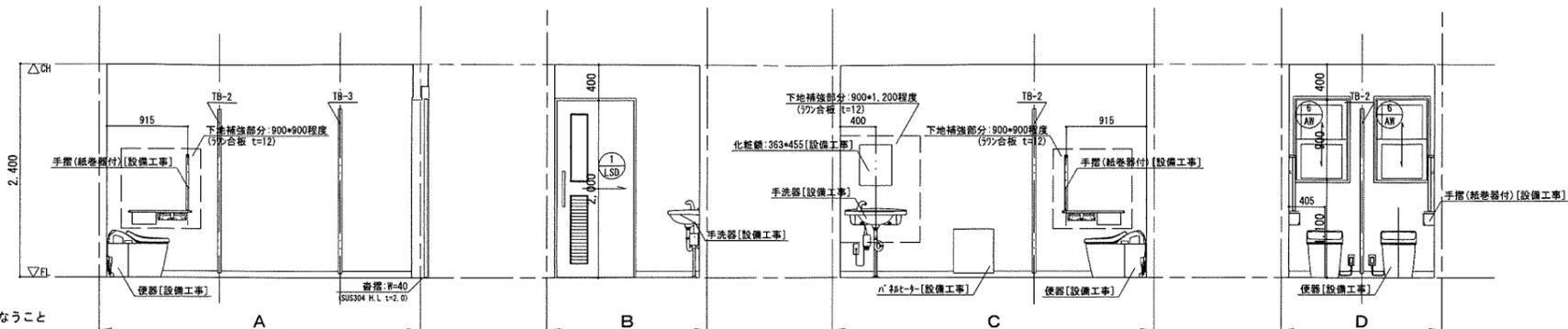
天井	化粧石膏ボード t=9.5
廻り縁	塩ビ製
壁	壁:ビニル珪酸(防火2-2) [AA] 貼り 下地:防水石膏ボード t=12.5 腰:
巾木	軟質ビニル巾木 H=75 + イソジール
床	耐候・防滑性ビニル床シート NC t=2.5
トイレ(男) [更衣室兼用] SCALE 1/50	

※1 壁取付品(手摺、設備機器等)がある場合の下地にはワン合板 t=12等にて補強を行なうこと
 ※2 手摺高さ、設備取付寸法は現場打合せによる



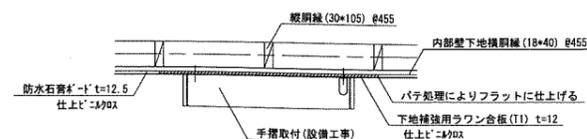
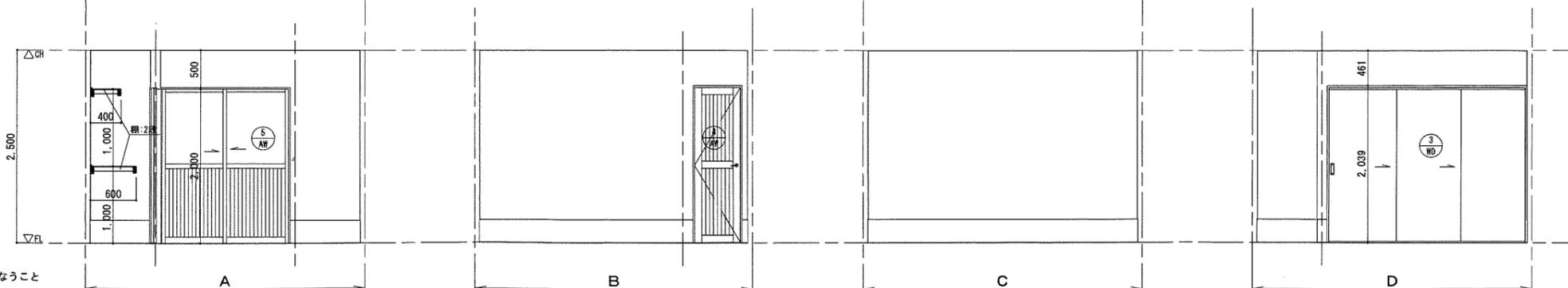
天井	化粧石膏ボード t=9.5
廻り縁	塩ビ製
壁	壁:ビニル珪酸(防火2-2) [AA] 貼り 下地:防水石膏ボード t=12.5 腰:
巾木	軟質ビニル巾木 H=75 + イソジール
床	耐候・防滑性ビニル床シート NC t=2.5
トイレ(女) [更衣室兼用] SCALE 1/50	

※1 壁取付品(手摺、設備機器等)がある場合の下地にはワン合板 t=12等にて補強を行なうこと
 ※2 手摺高さ、設備取付寸法は現場打合せによる



天井	化粧石膏ボード t=9.5
廻り縁	塩ビ製
壁	OSBボード t=12 珪酸系珪酸[同等品] 塗り
巾木	仕上なし(布基礎あらわし)
床	仕上なし(コンクリート打 同時金コシ押え)
農機具庫 SCALE 1/50	

※1 壁取付品(手摺、設備機器等)がある場合の下地にはワン合板 t=12等にて補強を行なうこと



※上部よりの見下ろし図
 壁補強部分 詳細図 SCALE 1/20

記号・取付場所	① WD	湯沸室	② WD	休憩・交流室(収納)	③ WD	農機具庫(収納)	④ AW	休憩・交流室	※内法寸法	
姿図・寸法										
形式・数量	※UK-03 同等 室内引戸(上吊り仕様) 片引き戸[フラッシュ] 1ヶ所		※CN-01 同等 クローゼット1枚折戸(ノンレール仕様)[フラッシュ] 1ヶ所		※U3-01 同等 室内引戸(上吊り仕様) 3連戸[フラッシュ] 1ヶ所		※フロントサッシor住宅用サッシ 引違い戸4枚建 1ヶ所			
仕上	特殊化粧シート		特殊化粧シート		特殊化粧シート		アルミ合金押出型材(カラー)			
ガラス	[型:(かすみ)]4mm						[透明]3mm+A+[透明]3mm			
金物	握込み引手(両面) ストッパー 付属金物一式		取手 付属金物一式		握込み引手 付属金物一式		大型引手 シリンダー錠 アンクル SUS下枠(7mm+4mm)・可動網戸用レール付 付属金物一式			
建具見込	[枠見込]たて:182 よこ:176		[枠見込]たて:89 よこ:86		[枠見込]たて:146 よこ:140		70mm			
備考	[三協立山]ウッテリアIS(ノンケーシング枠) 同等		[三協立山]ウッテリアIS(ノンケーシング枠) 同等		[三協立山]ウッテリアIS(ノンケーシング枠) [特寸] 同等		網戸(サシネット) 建具枠(三方):W=119 MDF t=20			
記号・取付場所	② AW	休憩・交流室	③ AW	休憩・交流室	④ AW	農機具庫	⑤ AW	農機具庫	⑥ AW	トイレ(男)・トイレ(女)・湯沸室
姿図・寸法	※内法寸法 		※内法寸法 		※内法寸法 		※内法寸法 		※内法寸法 	
形式・数量	引違い戸2枚建 1ヶ所		引違い窓4枚建[25611] 1ヶ所		片開きドア[06020] 1ヶ所		引違い戸2枚建 1ヶ所		上げ下げ窓(ダブルハンク)[06009] 5ヶ所	
仕上	アルミ合金押出型材(カラー)		アルミ合金押出型材(カラー)		アルミ合金押出型材(カラー)		アルミ合金押出型材(カラー)		アルミ合金押出型材(カラー)	
ガラス	[透明]3mm+A+[透明]3mm		[透明]3mm+A+[透明]3mm				[型]4mm		[型]4mm+A+[透明]3mm	
金物	シリンダー錠 アンクル SUS下枠(AW1と同仕様) 7&SIN 枠 付属金物一式		クレセント アンクル 付属金物一式		レバーハンドル アンクル シリンダー錠 ドアアゴ 7&SIN 枠 付属金物一式		シリンダー錠 アンクル SUS下枠 7&SIN 枠 付属金物一式		トブラッチ バランサー アンクル 付属金物一式	
建具見込	70mm		80mm		80mm		70mm		80mm	
備考	網戸(サシネット) 建具枠(三方):W=119 MDF t=20		網戸(サシネット) 建具枠(四方):W=119 MDF t=20		建具枠(三方):W=104 MDF t=20		建具枠(三方):W=104 MDF t=20		網戸(サシネット) 建具枠(四方):W=119 MDF t=20	
記号・取付場所	① SB	トイレ(男)・(女)	② TB	トイレ(男)	③ TB	トイレ(女)	④ TB	トイレ(男)・(女)		
姿図・寸法	※内法寸法 		※内法寸法 		※内法寸法 		※内法寸法 			
形式・数量	片引き軽量スチールフラッシュハンガー戸 2ヶ所		トイレブース 1ヶ所		トイレブース 1ヶ所		トイレブース 2ヶ所			
仕上	化粧鋼板		ホリ合板		ホリ合板		ホリ合板			
ガラス	強化[型]4mm									
金物	自閉装置 引棒 7&SIN 列 表示錠 付属金物一式		5&N トリピン 表示錠 戸あたり ぼうし掛け SUS頭つなぎ 標準金物一式		5&N トリピン 表示錠 戸あたり ぼうし掛け SUS頭つなぎ 標準金物一式		SUS頭つなぎ 標準金物一式			
建具見込	40		40		40		40			
備考	[スムーズ]同等 枠:SOP塗り									

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@necatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
設計担当者
管理建築士 堀口 隆
一級建築士 第229022号 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265-79-8836 Fax 0265-79-8912

Date H 22 . 11
Scale 1/50

Title
H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事

Drawing Title
建具表

Sheet No.
D-12 / D-13
整理番号 10018

構造設計標準仕様

適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事
工事場所 長野県 上伊那郡 箕輪町 大字中箕輪 3730-246, 3730-247, 3730-248, 3730-275, 3730-276
- (2) 工事種別 新築 増築 増改築 改築
- (3) 構造種別
 木造(N) 補強コンクリート造(OB) 鉄骨造(S)
 鉄筋コンクリート造(RC) 壁式鉄筋コンクリート造(WRC) 鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)
 プレキャスト鉄筋コンクリート造(PRC)
 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC)
- (4) 階数
地下 階 地上 1 階 塔屋 階
- (5) 主要用途 その他(農業体験交流センター) — [08990]
- (6) 屋上付属物
 広告塔 高架水槽: ton 煙突
 その他: ton
- (7) 増築計画 有 () 無
- (8) 付帯工事
 門扉 フェンス 擁壁
- (9) 特別な荷重
 エレベーター: 人乗(ロープ式・油圧式) 吊钩: ton リフト: ton
 倉庫床積載荷重: kg/m² 受水槽: ton
- (10) その他

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度	スランプcm	備考
捨コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	Fc= <input type="checkbox"/> 15 <input checked="" type="checkbox"/> 18	15	
土間コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	Fc= <input type="checkbox"/> 18 <input checked="" type="checkbox"/> 21	18	
基礎、基礎梁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	Fc= <input type="checkbox"/> 18 <input checked="" type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> 24	18	
柱、梁、床、壁	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	Fc= <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> 24	18	比重
2~RF床	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	Fc= <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> 24	18	比重 1.9
押入コンクリート	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	Fc= <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21	18	比重
ラップコンクリート	<input type="checkbox"/> 普通	Fc= <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21	18	

(2) コンクリートブロック (CB)

- A種 B種 C種 t=100 120 150 190

(3) 鉄筋

種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	<input checked="" type="checkbox"/> SD295A	D16 以下	基礎・スラブ
	<input type="checkbox"/> SD295B		全て
	<input type="checkbox"/> SD345	D19, D22	ガス圧接継手
丸鋼	<input type="checkbox"/> SD235		特殊継手
溶接金網	<input type="checkbox"/>	6φ 150×150	()

(4) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	備考
<input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> SM400A <input type="checkbox"/> SM400B		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> STKR400 <input type="checkbox"/> STKR490 <input type="checkbox"/> BCR295		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SM490A <input type="checkbox"/> SM490B		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SSC400		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

(5) ボルト

- 高力ボルト F10T F8T S10T 認定品 (M12 M16 M20 M22)
 中ボルト φ= φ= 高力ボルトすべり係数試験 要 否
 アンカーボルト φ=12 Zマーク品

(6) 屋根、床、壁

- 頭付スタッド
- ALC版 t=
- 折板 形式: H= t=
- 折板 形式: H= t=
- デッキプレート 形式: t=
- キーストンプレート 形式: t=
- 特殊デッキプレート 形式: t=

3. 地盤

- (1) 地盤調査資料
 有 (建設敷地内 近隣) ボーリング調査 平板載荷試験 水平地盤反力係数の測定
 無 (調査予定 有 無)
 地盤調査計画
- (2) 地盤調査計画
 静的貫入試験 標準貫入試験 水平地盤反力係数の測定
 土質試験 物理調査 平板載荷試験
- (3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある
- (4) ボーリング標準貫入値、土質構成

深度	土質	N値	標準貫入試験						備考
			10	20	30	40	50	60	
0.5									○調査地番
1.0									
1.5									○位置図
2.0									
2.5									
3.0									
3.5									別添 スウェーデン式サウンディング調査報告書参照
4.0									
4.5									
5.0									
5.5									
6.0									○支持地盤、地層及び深さについてのコメント
6.5									
7.0									
7.5									
8.0									○孔内水位
8.5									
9.0									
9.5									
10.0									
10.5									
11.0									
11.5									○備考
12.0									

4. 地業工事

- (1) 直接基礎 ベタ基礎 布基礎 独立基礎 試験掘 有 無
 深さ: 0L-0.65 m 支持層: 長期許容地耐力: kN/m²
 載荷試験 有 無
- (2) 杭基礎 支持層: 有 無

杭種	材料	施工法	備考
<input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> PC	PC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)	<input type="checkbox"/> 打ち込み	
<input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> H鋼	PHC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)	<input type="checkbox"/> 埋込み(セメント注工法)	
<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 摩擦杭	鋼材 (<input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> STK400)	<input type="checkbox"/> BH 深礎	大臣認定 第 号 年 月 日
<input type="checkbox"/> 場所打ちコンクリート杭	コンクリート Fc=210 セメント量 300 kg/m ³ 鉄筋 主筋 SD345 HOOP SD295	<input type="checkbox"/> オールコンクリート <input type="checkbox"/> 拡底杭 <input type="checkbox"/> リバースキャスト <input type="checkbox"/> アースリブ <input type="checkbox"/> ミニース <input type="checkbox"/> BH <input type="checkbox"/> 深礎 <input type="checkbox"/> 手掘 <input type="checkbox"/> 機械掘	拡底杭 日本建築学会認定 第 号 年 月 日

- 杭仕様 施工計画書承認 杭施工結果報告書
 試験杭 有 無 (打ち込み 載荷)

杭径 (mm)	設計支持力 (t)	杭の先端深さ (m)	本数	特記事項

5. 鉄筋コンクリート工事

- (1) コンクリート
 コンクリートは JIS 認定工場の製品とし施工に関しては JASS5 による。
 セメントは JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
 フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。測定結果の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔においた3台の運搬車からその必要な本数を採取する。なお供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、4週間に3本を用いる。
 ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。
- (2) 鉄筋
 鉄筋は JIS G3112 の規格品を標準とする。
 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継ぎ手位置、継手の重ね長さ、定着長さは、「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。
 D22未満は、すべて重ね継手とする。継手をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
 ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超えるときは、200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。外観検査 有 無、引張試験 有 無、超音波探傷試験 有 無
 柱の帯筋 (HOOP) の加工方法は、 H型 (タガ型) W型 (溶接型) S型 (スパイラル型) とする。
 コンクリート及び鉄筋の試験は、「建築物の工事における試験及び検査に関する***取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。
 試験機関名
 代行業者名
 代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。
- (3) 型枠
 材料 合板厚 12mmを標準とする。 打合せにより金属製型枠パネルの使用も可
 型枠最小存置期間---圧縮強度とは材令日数経過後に確認すべき強度とする。

材令	せき板				支柱			
	基礎、はり側、柱、壁	スラブ下、はり下	スラブ下、はり下	スラブ下、はり下	スラブ下、はり下	スラブ下、はり下	スラブ下、はり下	スラブ下、はり下
15℃以上	2	3	4	6	8	17	28	28
5~15℃	3	5	6	10	12	25	28	28
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28	28
圧縮強度	50N/mm ²				設計基準強度の50%			
					設計基準強度の85% 100%			

- 注) 1. 片持ち梁、庇、スパン9.0m以上の梁下は、工事監理者の指示による。
 注) 2. 大梁の支柱の盛りかえは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。
 注) 3. 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
 注) 4. 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
 注) 5. 支柱の盛りかえは、小梁が終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
 注) 6. 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
- (2) 工事監理者の承認を必要とするもの
 製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書
 建設告示第1103号による認定工場 (大臣認定 グレード登録 ランク)
 材料規格証明書または試験成績書
 鋼材 高力ボルト 特殊ボルト スタッシジベル
 社内検査表
- (3) 工事監理者が行う検査項目
 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること
 原寸検査 組立・開先検査 製品検査
 建方検査
- (4) 接合部の溶接は下記によること
 ***アーク溶接工事管理規程 (建築構造設計指針第12章)
 鉄骨造等の建築物の工事に関する***取扱要綱 (建築構造設計指針第12章)
 日本建築学会「溶接工作規程、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
- (5) 接合部の検査
 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
<input type="checkbox"/> 突合せ溶接部	超音波探傷試験	100%	30%	100%	
	外観(目視)検査	100%	100%	100%	
<input type="checkbox"/>	マクロ試験・その他	%	%	%	
第三者検査機関名		C. I. W.			
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

- 注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。
 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。
 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。
 締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。
- (6) 防錆塗装
 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5621、2回塗りを標準とする。
 現場における高力ボルト接合部及び接合部の錆調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。
- (7) 耐火被覆の材料
 柱: ケイカル板 t=25 梁: ロックウール吹付 t=30

7. 設備関係

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を5cm以上とする。

8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

配筋基準図

1. 一般事項
1.1 適用範囲

- 鉄筋コンクリート構造、鉄筋鉄骨コンクリート構造、壁式鉄筋コンクリート構造、補強コンクリートブロック構造、コンクリートブロック塀、コンクリートブロック塀に適用する。
- 構造図に記入のない事項は本基準図を適用する。また、本基準図で、配筋方法等の優先順位は、○印が最優先とし、次に△印を優先とする。

1.2 鉄筋の記号及び表示

記号	○	×	△	◇	□	◇	●	◎	
鉄筋径	異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
	丸鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ

- 特記で丸鋼と指定されている場合は、その径を鉄筋径該当の径に読み替える。
- この基準図では上表の記号を使用しない。

表示方式	例			
異形鉄筋	n-Dd	n:本数	Dd:呼び名	3-D16
鉄筋	Dd@L	Dd:呼び名	@:間隔 L:距離	D16@200
丸鋼	n-dφ	n:本数	d:直径 φ:丸鋼	3-16φ
	dφ@L	d:直径 φ:丸鋼	@:間隔 L:距離	9φ@200

2. 鉄筋の加工

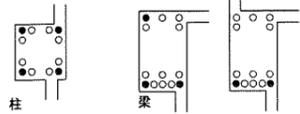
2.1 鉄筋の折曲げ基準

曲げ角度	折曲げ図	SR235	SD295 SD345	SD390	使用箇所	
		SRR235	D16 以下	D19 以上		
180		D	3d	4d	5d	柱、梁の主筋、杭基礎のベース筋、径16mm以上の鉄筋
		I	11d	11d	12d	
135		D	3d	4d	-	径13mm以上の鉄筋、あばら筋、帯筋、床版筋、スパイラル筋
		I	11d	11d	12d	
90		D	3d	4d	-	T形、L形梁のあばら筋
		I	11d	12d	12d	
135		D	3d	4d	-	布基礎のベース筋、巾止め筋
		I	8d	8d	8d	
90		D	3d	4d	-	布基礎のベース筋、巾止め筋
		I	9d	9d	10d	

注1. Dは曲げ内法直径、I、I'はフック部分の長さ

曲げ角度	折曲げ図	中間部			使用箇所		
		~D16	D19 ~D25	D29 ~D38			
90以下		D	3d	3d	-	あばら筋、帯筋、スパイラル筋	
		D	4d	6d	8d		床版筋、壁筋
		D	3d	6d	8d		

- 丸鋼の末端部には、フックを付ける。
- 異形鉄筋の末端部には、下記の場合にフックを付ける。
 - 柱の四隅に有る鉄筋で重ね継手及び最上階の柱間に有る場合(下図●印部分)
 - 梁主筋の重ね継手か、梁の出隅及び下端の両側に有る場合、但し、基礎梁を除く(下図●印部分)
 - 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)
 - 杭基礎のベース筋、帯筋、あばら筋、巾止め筋



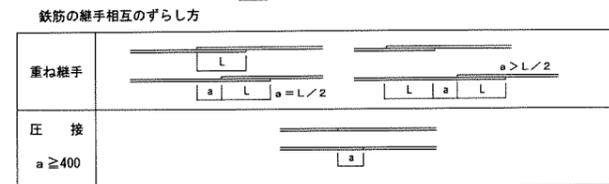
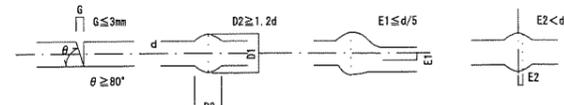
2.2 鉄筋の継手長さ、定着長さ

鉄筋の種類	設計基準強度		フック無し				フック有り				
	普通	軽量	L1	L2	L3		L1	L2	L3		
SD295A	150 ~ 180		45d	40d	小梁	スラブ	10d	35d	30d	小梁	スラブ
SD295B	210 ~ 240	210 ~ 270	40d	35d	25d	かつ 150mm 以上	30d	25d	15d	かつ 150mm 以上	
SD345											
SDR295	270 ~ 360		35d	30d			25d	20d			
SDR345											
SD390	210 ~ 240	210 ~ 270	45d	40d			35d	30d			
	270 ~ 360		40d	35d			30d	25d			
SR235	150 ~ 180		-	-			45d	45d	25d	150mm 以上	
SRR235	210 ~ 240	210 ~ 225	-	-			35d	35d			

- 注意
- L1: 継手、並びに下記 2. 及び 3. 以外の定着長さ。
 - L2: 異形鉄筋で、割裂破壊の恐れのない箇所の定着長さ。
 - L3: 小梁及び床版の下端部の定着長さ。但し、基礎耐圧版、これを受ける小梁を除く。
 - フックのある場合の、L1 L2 L3はフック部分を含まない。
 - 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。
 - D29以上の鉄筋は、重ね継手としてはならない。
 - D19以上の鉄筋は、原則としてガス圧接とする。

2.3 ガス圧接・継手

- 鉄筋径の差が5mmを越える場合は圧接としてはならない
- ガス圧接の形状は以下の通りとする。



2.4 鉄筋のあき

- 鉄筋相互のあきは下記の値のうち最大のもの以上とする。
- 筋骨材の最大寸法の1.25倍以上
 - 25mm
 - 丸鋼の径及び異形鉄筋の径(呼び名の数値)の、1.5倍以上



注 D: 鉄筋の最外径 d: 鉄筋径

2.5 パーサポート・スペーサの種類および数量・配置の標準

部位	スラブ	梁	柱
種類	コンクリート製 鋼製	コンクリート製鋼製 プラスチック製	コンクリート製鋼製 プラスチック製
数量 配置	上端筋、下端筋 各々1.3個/m ²	間隔1.5m程度	上段は第一段の帯筋の位置 中段は柱の中間 柱幅1.0mまで2個 1.0mまで3個
部位	基礎	基礎梁	壁・地下外壁
種類	コンクリート製 鋼製	コンクリート製鋼製 プラスチック製	コンクリート製鋼製 プラスチック製
数量 配置	面積 4m ² 程度 8個 16m ² 程度 20個	間隔1.5m程度	上段は第一段目の壁筋 中段は上段より1.5m下 横間隔は1.5m程度

- 注意
- 側梁以外の梁は上または下に設置し、側梁は側面にも設置する。
 - 基礎梁は上または下と側面に設置する。

2.6 鉄筋のかぶり厚さ

部	位	かぶり厚さ (mm)	
		内	外
土に接しない部分	屋根スラブ	30	
	床スラブ	40 (1)	
	非耐力壁	40	
	柱	50 (2)	
土に接する部分	耐力壁	50 (3)	
	擁壁	50	
	柱・はり・床スラブ・耐力壁	70	

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
設計担当者
管理 建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265-79-8836 Fax 0265-79-8912

Date H 22 . 11 .
Scale

Title
H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事

Drawing Title
鉄筋コンクリート構造配筋標準図

Sheet No.
S-02 / S-07
整理番号 10018

木構造 特記仕様書 1

1. 一般事項

(1) 適用範囲

本仕様書は建築物および工作物の構造上主要な部分に木材を用いる工事に適用する。
は適用項目を示すものとする。

(2) 設計図書

設計図書とは本仕様書、設計図、指示書（現場説明書および質疑回答書を含む）をいう。

(3) 標準仕様書

設計図書に記載なきものは「住宅金融公庫監修・木造住宅工事共通仕様書」及び「国土交通大臣官庁官庁官庁監修・木造建築工事共通仕様書」に準ずる。
 上記の仕様書に記載なき場合は、公共規格がこれに準ずる規格を適用する。

(4) 設計図書の優先順位

設計図書の優先順位は下記による。

1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）
2. 設計図
3. 本仕様書
4. 標準仕様書

(5) 疑義

疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。

(6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出

工事に先立ち、製作要領書及び施工計画書を作成し、監理者の承認を受ける。

(7) 施工図及びプレカット図の提出

工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承認を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

(8) 製作工場の選定、承認

設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承認を受ける。

(9) 各種試験・検査報告書の提出

施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

2. 材料の品質

2.1 木質材料

(1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材

本項の内容は特記無き限り、針葉樹の構造用製材及び広葉樹の製材及び枠組壁工法構造用製材等の日本農林規格に準ずること。

部位	品名	樹種	区分、等級	含水率	その他
梁	構造用製材		甲Ⅱ-2 かつE70	D20	
柱	構造用製材		乙-2 かつE70	D20	

- 記入無き梁桁、母屋、タル木等の曲げ材のうち、見えがかり材は目視等級材の甲種2級、見えがかり材は甲種3級とする。その他は乙種2級とする。
- 主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。
- 乾燥の履歴を調べる。但し見えがかり部、相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。
- 含水率は平均含水率として下地材等に用いる場合でも含水率D25以下であることを確認する。
- 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が当たらないように加工する。
- 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級1級相当とする。

(2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)

本項の内容は特記無き限り構造用集成材及び構造用単板積層材の日本農林規格に準ずること。

部位	品名	樹種	曲げヤング係数区分	材面	接着	試験項目
梁	構造用集成材		水平せん断性能区分	品質	性能	放散量
	E105-F300				環境 I	F****

(3) 構造用合板、構造用パネル

本項の内容は特記無き限り構造用合板及び構造用パネルの日本農林規格に準ずること。

部位	品名	強度等級	曲げ性能基準	板面品質	接着	寸法 (mm)	試験項目
耐力壁	構造用合板	2級	—	C-D	1種	12mm	F****
屋根	構造用合板	2級	—	C-D	特類	12mm	F****

・構造用合板はできるだけ大きい寸法のものを用いる。

2.2 ファスナー

ここに示すファスナーや接合金物などは、木質構造の接合部に適用する。ファスナーや接合金物等に錆を生じるおそれのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。

標準メッキ処理は、溶融亜鉛メッキ：NFZn 電気メッキ：EP-fe/Znと特記

(1) くぎ、木ネジ、特殊ネジ

種類	材質	適用径	使用箇所/胴部の形状
<input checked="" type="checkbox"/> N釘	・鉄 ・スチール鋼	N19~N150	
<input checked="" type="checkbox"/> CN釘	・鉄	CN25~CN150	耐力壁、床板、屋根
<input checked="" type="checkbox"/> BN釘	・鉄	BN25~BN125	
<input checked="" type="checkbox"/> ZN釘	・鉄	ZN45~90	
<input checked="" type="checkbox"/> GN釘	・鉄	GN25~GN125	石膏ボード用
<input checked="" type="checkbox"/> SN釘	・鉄	3.05mm	シーリングインシュレーション ファイバーボード
<input checked="" type="checkbox"/> 木ネジ	・軟鋼線材		
<input checked="" type="checkbox"/> 特殊ネジ	・スチール鋼		
<input checked="" type="checkbox"/> コースレッド	・真鍮		

(2) ボルト、ナット

種類	材質	適用径	表面処理、部品等級など
<input checked="" type="checkbox"/> 呼び径六角ボルト	・SS400	M3~M36	・電気メッキ
<input checked="" type="checkbox"/> 有効径六角ボルト	・SS400	M3~M20	
<input checked="" type="checkbox"/> 全ネジ六角ボルト	・SS400	M3~M36	
<input checked="" type="checkbox"/> ステンレスボルト	・SUS304		
<input checked="" type="checkbox"/> アンカーボルト	・SS400	M12~M24	・溶融亜鉛メッキ

・材質は鋼、ステンレス鋼、非金属。径と長さの組み合わせは「JIS規格J180」

(3) 産金

適用	材質	適用径	形状・表面処理	その他
<input checked="" type="checkbox"/> 産金	・SPCC (JIS G 3131)	M8~M24	・角産金・丸産金	
<input checked="" type="checkbox"/> 産金	・SPHC (JIS G 3141)		・電気メッキ	

・産金は用途ごと（引張、せん断）に下表により使い分ける。

ボルト径に対する産金の大きさ	引張を受けるボルト					
	厚さ	4.5	4.5	6	9	13
角産金の辺	40	50	60	80	105	125
	丸産金の直径	45	60	70	90	120
せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6
	角産金の辺	25	30	35	50	60
丸産金の直径	30	35	40	60	70	80

(4) ドリフトピン、コーチスクリューボルト、ジベル、シアプレート、木栓

種類	材質	適用径・長さ	表面処理、その他
<input checked="" type="checkbox"/> ドリフトピン	・SS400	φ9~φ19	・電気メッキ
<input checked="" type="checkbox"/> コーチスクリューボルト (ラグスクリュー)	・SWRCH10R (JIS G 3507)	φ9~φ19	・電気メッキ
<input checked="" type="checkbox"/> スプリットリング	・SS400	φ64、φ102	
<input checked="" type="checkbox"/> シアプレート	・		・電気メッキ
<input checked="" type="checkbox"/> 木栓	・堅木	M12~M24	

・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等で気乾比重0.6以上の広葉樹とし、節や目切れ等の欠点のないものとする。

(5) 接合金物、鋼材

種別	材質	表面処理	適用、形状、その他
<input checked="" type="checkbox"/> Zマーク	・		
<input checked="" type="checkbox"/> Cマーク	・		
<input checked="" type="checkbox"/> 引寄せ金物	・		
<input checked="" type="checkbox"/> その他の金物	・		
<input checked="" type="checkbox"/> 鋼材	・SS400	・溶融亜鉛メッキ	・設計図中の特記による

(6) 接着剤 (接着剤)

ここでいう接着剤とは、建設現場で用いるものを対象とし、内容は特記による。

3. 材料品質の検査方法

現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の特記事項に従って検査を実施し、監理者に報告する。また監理者の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時採取検査を実施する。社内検査で試験本数や採取率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行うこと。

(1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材

部材	確認する仕様	確認者	材質等級	外観検査	寸法検査	含水率測定		ヤング係数測定	
						表示	検査	表示	試験
梁		監理者	O	O	O	100	100	10本	10本
柱		監理者	O	O	O	100	100	10	10本
トラス材		監理者	O	O	O	100	100	10	10本
梁・桁		監理者	O	O	O	100	100	10	10本

- ・監理者欄のOは立会い検査が必要であることを示す。
- ・材質・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。
- ・含水率やヤング係数は測定された表示の確認を原則とし、全乾重量法や動的曲げ試験は公的試験場にて行う。含水率は住宅センター認定品を、曲げヤング係数は全固木材適合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。
- ・全乾重量法や静的曲げ試験は1荷口につき確認する試験本数を示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法 (JIS Z 2101) に準ずる。
- ・動的曲げ試験の判定基準は日本農林規格の針葉樹の構造用製材、合板、パネルの強度区分に準ずる。
- 含水率測定は、乾燥作業直後に行う。

(2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)

材料	確認項目	確認の方法
構造用集成材	・部材、断面、長さ、数量 ・樹種、品名、強度、材面の品質、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	<input checked="" type="checkbox"/> 製造工場の認定書等の写し <input type="checkbox"/> 日本農林規格 (JAS) 表示の確認 <input type="checkbox"/> 立会い目視検査
構造用LVL	・部材、断面、長さ、数量 ・樹種、曲げヤング係数、水平せん断、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	<input type="checkbox"/> JAS表示の確認 <input type="checkbox"/> 立会い目視検査
構造用合板	・寸法、数量 ・強度、曲げ性能、板面の品質、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	<input type="checkbox"/> 立会い目視検査
構造用パネル	・寸法、数量 ・強度、ホルムアルデヒド放散量	<input type="checkbox"/> 立会い目視検査

(3) ファスナー

ファスナーの種類	確認項目	確認の方法
くぎ	・材質、形、径、長さ、仕上げ	<input checked="" type="checkbox"/> ミルシートの写し <input type="checkbox"/> 表示の確認 <input type="checkbox"/> 木栓曲げ試験
木ネジ	・材質、径、長さ、仕上げ	<input type="checkbox"/> 表示の確認 <input type="checkbox"/> 木栓曲げ試験
ボルト・ナット	・材質、径、長さ、仕上げ	<input type="checkbox"/> 表示の確認 <input type="checkbox"/> 木栓曲げ試験
産金	・材質、径、仕上げ	
ドリフトピン	・材質、径、長さ、仕上げ	
コーチスクリューボルト	・材質、径、長さ、仕上げ	
スプリットリング	・材質、径、形状、仕上げ	
シアプレート	・材質、径、形状、仕上げ	
木栓など	・樹種、曲げ強度、比重	

・設計図面に明記されたファスナーであることを確認すること。同等性能のファスナーを用いる場合には、その旨を監理者に申し出、承認を得ること。また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

(4) 接合金物

接合金物	確認項目	確認の方法
Zマーク金物	・材質、形状、仕上げ	<input checked="" type="checkbox"/> ミルシートの写し <input type="checkbox"/> 表示の確認
Cマーク金物	・材質、形状、仕上げ	<input type="checkbox"/> 表示の確認
引寄せ金物	・材質、形状、仕上げ	
その他の金物	・材質、形状、仕上げ、製造所	
鋼材	・材質、形状、仕上げ、溶融	

・設計図面に明記された接合金物であることを確認すること。同等認定品や性能認定品を用いる場合には、その内容を監理者に申し出、承認を得る。

4. 耐久性 (防湿・防蟻・耐腐処理)

(1) 木材の防湿・防蟻処理

- ・高耐久材の使用 (注：製材の心材あるいは心持ち材又は集成材)
- ・工場処理材 (注：現場の加工、切断、穿孔箇所等は、現場処理に準ずる)
 JAS保存処理材：K5 K4 K3 K2
 AQ認証保存処理材：1種 2種 3種
- ・現場処理 (注：給排水用塩化ビニル管に接する部分は、管を保護する)
 ・塗布 ・吹付 ・浸漬 (処理量 300 ml/m²、処理回数2回)
 日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする

使用部位	高耐久材	工場処理剤	現場処理剤
土台	<input type="checkbox"/> ひば	<input type="checkbox"/> K3	<input type="checkbox"/> 塗布
外周柱下部1m	<input type="checkbox"/> ひのき	<input type="checkbox"/> K3	<input type="checkbox"/> ()
水廻り	()	<input type="checkbox"/> K3	<input type="checkbox"/> ()
その他	()	<input type="checkbox"/> K3	<input type="checkbox"/> ()

(2) 土壌処理

- 防蟻剤による処理：薬剤 ()
 特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。
- 蟻薬剤による処理と同程度の対策 ()
- 土壌処理省略
- 注：処理範囲は、外周部基礎の内側、内部部基礎の周辺20cm、東石等の周囲20cmを標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準ずる。

(3) 耐腐処理 (塗装)

- 塗膜型
- 含浸型
- ・部位 ()

5. 木材の加工

(1) 刻み時の注意

製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。

(2) 加工寸法の精度 (下記の値を標準とする)

- ・構造用製材、枠組壁工法構造用製材の断面寸法
 - 断面表示が横き立て寸法の場合：±1.5mm以下
 - 断面表示が仕上がり寸法の場合：+1.5mm、-0mm以下
- ・構造用製材、枠組壁工法構造用製材の材長
 - 軸組工法の継手仕口の場合：±1.5mm以下
 - ボルト接合法の場合：±5mm以下
- ・集成材、構造用単板積層材
 - 短辺：□ ±1.5mm
 - 長辺：□ ±1.5%かつ±5mm以下
 - 材長：□ ±5mm以下 □ ()
- ・ボルト穴径：d+1.5mm (d≦M12)、d+2.0mm (d≧M16)(dはボルト径)
- ・ドリフトピンの穴径：d±0mm (dはボルト径)

(3) 表面仕上げ

□製材 化粧材： 野物材： 板材：

(4) 面取り

□柱：() mm
 □梁：() mm

6. 接合

(1) 仕口、継手の原則

- ・仕口、継手の方法は構造図による。特記無き場合は 1. (3) 標準仕様書に示された在来工法用の一般的な適用例に従う。一般的な適用例については、9. 軸組構法接合部標準仕様による。
- ・採用する方法は監理者の承認を得る。
- ・仕口、継手の各部に作用する応力を考慮し、部材の引き抜けが生じないように、原則として羽子板ボルトや木栓など、引張り抵抗を有する補強部材を併用する。

(2) 釘接合

- ・釘は材の繊維に対して斜めに打ち、割れを生じないように端距離、縁距離、釘間隔を大きく取る。
- ・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。
- ・1ヶ所の釘の本数は2本以上とする。
- ・釘に錆を生じるおそれのある場合は、適切な防錆処理を施す。
- ・自動釘打ち機を使用する場合は、面に釘がめり込まないようにする。そのために、釘打ち機の圧力を弱めるか、最後は手打ちを用いるなどの方法による。
- ・構造用面材を耐力壁とする場合の釘打ち方法は「昭和56年建設省告示1110号」による。
- ・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
- ・小口面に打たれた釘は、引き抜き方向に抵抗させることはできない。

(3) 木ネジ接合

- ・構造耐力上主要な部分において、木ネジを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
- ・小口面にねじ込まれた木ネジは、引抜き方向に抵抗させることはできない。
- ・木ネジの先孔の径：針葉樹・・・主材 0.6d、副材 0.8d (dはボルト径)
 広葉樹・・・主材 0.8d、副材 1.0d
 (先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。)
- ・ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んでではない。
- ・ねじ込みを容易にしたため、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。

(4) ボルト接合

- ・締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、産金等が施工箇所に適しているものであることを確認する。
- ・ボルト接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、ボルト本数を適切に増加する。
- ・ボルトの締め付けは、産金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付けを完了する。
- ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。
- ・一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

(5) コーチスクリュー接合

- ・構造耐力上主要な部分において、コーチスクリューを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
- ・コーチスクリューの配置間隔、縁距離および端距離、使用する産金と同じ胴部径のボルトに準ずる。
- ・胴部の先孔の径は胴部と同径とし、長さも胴部と同寸とする。
- ・ネジ部の先孔の径：比重0.4以上の樹種・・・ネジ径の60~70%
 その他の樹種・・・ネジ径の40~70%
 (長さはネジ部の長さと同寸とする。)

(6) ドリフトピン接合

- ・ボルトやコーチスクリュー等と併用し、ドリフトピンの変形にともなう部材の動きを防止する。
- ・ドリフトピンは孔

木構造 特記仕様書 2

(7) ジベル接合

- 木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点に注意し、形込み・打ち込みまたは圧入に際して割れを生じないよう、ジベルの種類に応じた断面と余長をたせる。
- 接合材は十分圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

(8) 既成金物の接合

- 羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれの仕様に基づき、接合面材の間が密着するように締め付ける。

(9) 接着接合

- 接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。
- 接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実験によって接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。

(10) その他の方法による接合

- 使用材料および使用方法は構造図によるものとし、監理者の承認を得る。

7. 運搬・建て方

(1) 輸送計画

製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。

輸送計画書の提出 []

(2) 集積・保管

集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲りの損傷を与えないように注意する。降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。

集積場の確認 []

(3) 建方計画

建方計画書の提出

アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。

(4) 施工時の安全性

建方作業中および作業後、構架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承認を受ける。また、強風などによる外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の措置を施す。

施工時の安全性に対する検討書の提出 □ 施工時作業条件の通知

(5) アンカーボルトの施工

- 芯出しは、型板を用いて基準面に正しく合わせて適切な機械等で正確に行う。
- アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。
- アンカーボルトはダブルナットとする。 □ 適用除外 []
- 土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。
- 筋通り芯からの誤差 : □ ±3mm以下 □ []

(6) 建方精度

建方の精度基準は下記による。

断物の割れ	□ $e \leq H/2500+10mm$ かつ $e \leq 50mm$
断物の水平度	□ $e \leq L/700+5mm$ かつ $e \leq 15mm$
断物のわん曲	□ $e \leq L/2500mm$ かつ $e \leq 25mm$
断柱据え付け面の高さ及び位置	□ $e \leq 3mm$ 以下 □ []
柱据え付け面の基準高さからの誤差	□ ±3mm以下 □ []
通り芯からの誤差	□ $-5mm \leq \Delta H \leq 5mm$
高さ	□ []

建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。

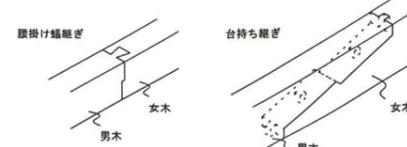
(7) 施工状況の検査

- アンカーボルト施工時の立会い検査
 - 目視による精度確認 □ 計測機器による精度確認 □ アンカーボルト径、間隔
 - 施工者自主検査記録の提出 []
- 地組み時の立会い検査
 - 目視による精度確認 □ 計測機器による精度確認 □ 材料の加工寸法検査
 - 施工者自主検査記録の提出 []
- 建方時の立会い検査
 - 目視による精度確認 □ 計測機器による精度確認 □ 材料の加工寸法検査
 - 施工者自主検査記録の提出 []
- 建方後の施工状況の検査
 - 防腐・防蟻処理 □ 材料の加工寸法検査 □ ファスナーの施工状況
 - 接合金物の施工状況 □ その他 []
 - 施工者自主検査記録の提出 []
- 最終確認
 - 工事中に発生するボルトの緩み、ファスナーおよび接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。
 - 施工者自主検査記録の提出 []

8. 軸組構造接合部の標準仕様

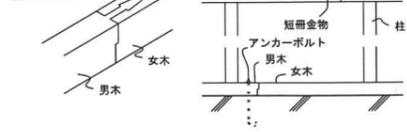
(1) 横架材同士の継手

- 曲げ応力や引張力を負担しない継手：腰掛け蟻継ぎ、腰掛け蟻継ぎ
 - せん断力が大きい場合は台持ち継ぎとする。
 - 長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
 - 逆せん断と引張の補強として短冊金物等を併用すること。
 - 柱からの持ち出し位置は、連続梁の長期荷重の反曲点付近とする。



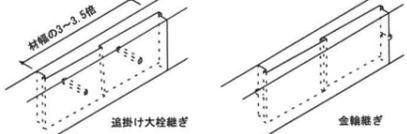
(2) 柱の継手

- 追掛け大柱・金輪・戻込み継ぎ、鋼板挿入ドリフトピン接合
- 伝達できるMやTは母材全断面の2割以下と考えること。



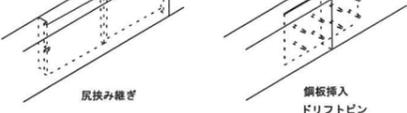
(3) 横架材どうしの仕口

- せん断力が母材全断面の3割以下の仕口：(大入れ) 蟻掛け
 - 長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
 - 逆せん断と引張の補強として羽子板ボルト等を併用すること。
 - 男木の梁せいが女木の2/3以下の場合は、仕口直下に柱がある場合には、大入れとしてもよいが、そうでない場合は男木のせい0.3程度の額をかける。



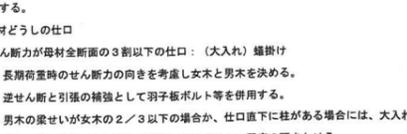
(4) 柱の継手

- 伝達できるMやTは母材全断面の2割以下と考えること。
- やむを得ず柱の継ぎ手を設ける場合は、曲げと軸力による複合応力の検定を行い安全性を確認する。



(5) 筋かい部

- 平12建1460号の例示仕様又は同等品とする。



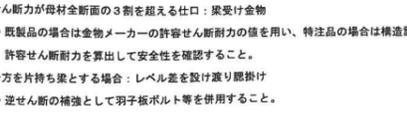
(6) 火打ち、方杖

- 角材を用いる場合は端部は、横ぎ大入れほぞ差し+ボルト締めとする。
- Zマーク鋼製火打ち又は同等品としてもよい。



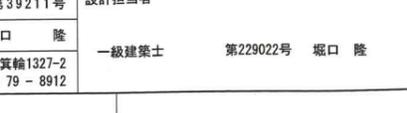
(7) 小屋束の上下端部

- 短ほぞ差し又は長ほぞ差し込み止めとする。
- 短ほぞ差しの場合、風圧力による引張力の補強として、かすがい2本又はひら金物又は山形プレート止めとする。



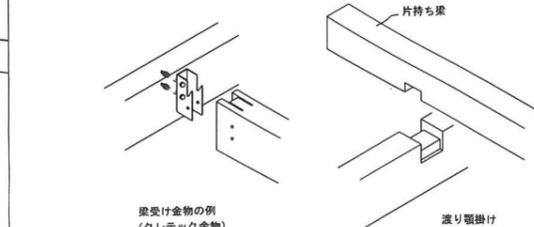
(8) せん断力が母材全断面の3割を超える仕口：梁受け金物

- 既製品の場合は金物メーカーの許容せん断耐力の値を用い、特注品の場合は構造計算で許容せん断耐力を算出して安全性を確認すること。



(9) 一方を片持ち梁とする場合：レベル差を設け渡り腰掛け

- 逆せん断の補強として羽子板ボルト等を併用すること。



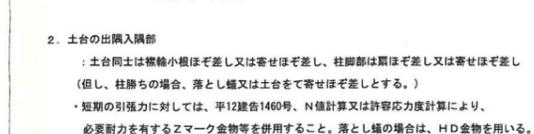
(4) 柱と横架材の仕口

- 柱の上下端部：短ほぞ差し、長ほぞ差し込み止め
 - 短期の引張力に対しては、平12建1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。



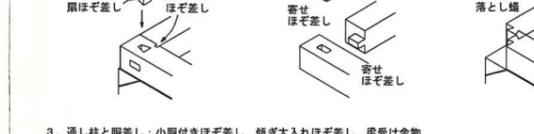
(5) 土台の出隅入隅部

- 土台同士は横輪小根ほぞ差し又は寄せほぞ差し、柱脚部は肩ほぞ差し又は寄せほぞ差し(但し、柱脚の場合、落とし継又は土台を寄せほぞ差しとする。)
- 短期の引張力に対しては、平12建1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。落とし継の場合は、HD金物を用いる。



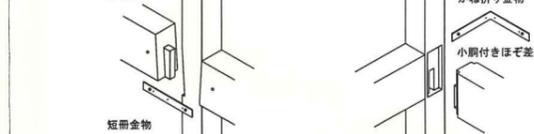
(6) 通し柱と脚差し

- 小胴付きほぞ差し、横ぎ大入れほぞ差し、梁受け金物
- 梁受け金物以外の仕口には、引張の補強として短冊金物やかね折り金物等を併用すること。



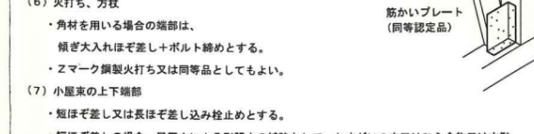
(7) 筋かい部

- 平12建1460号の例示仕様又は同等品とする。



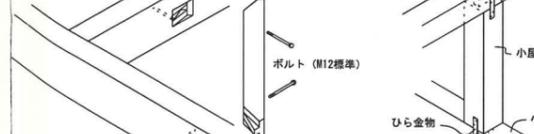
(8) 火打ち、方杖

- 角材を用いる場合は端部は、横ぎ大入れほぞ差し+ボルト締めとする。
- Zマーク鋼製火打ち又は同等品としてもよい。



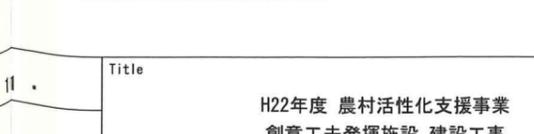
(9) 小屋束の上下端部

- 短ほぞ差し又は長ほぞ差し込み止めとする。
- 短ほぞ差しの場合、風圧力による引張力の補強として、かすがい2本又はひら金物又は山形プレート止めとする。



(10) せん断力が母材全断面の3割を超える仕口：梁受け金物

- 既製品の場合は金物メーカーの許容せん断耐力の値を用い、特注品の場合は構造計算で許容せん断耐力を算出して安全性を確認すること。



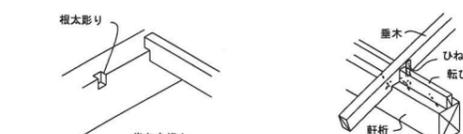
(11) 一方を片持ち梁とする場合：レベル差を設け渡り腰掛け

- 逆せん断の補強として羽子板ボルト等を併用すること。



(8) 根太、挿木と横架材

- 落とし込み根太：横架材に大入れ or 根太掛け+斜め釘
- 半欠き根太：横架材に大入れ隠掛け+斜め釘
- 短ほぞ根太：根太が直角断面の場合、横架材に隠掛け止め
- 根太が縦長角断面の場合、斜め釘2本+短ほぞ止め
- 挿木：横架材に挿木を隠し、短ほぞ根太と同様に止める。
- 風の負圧の補強：許容応力度計算により必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。



(9) 間柱と横架材

- 上下横架材に深さ3mm程度大入れ+斜め釘上部ほぞ差し、下部突き付け+斜め釘

(10) 釘の最小間隔及び最小端あき距離

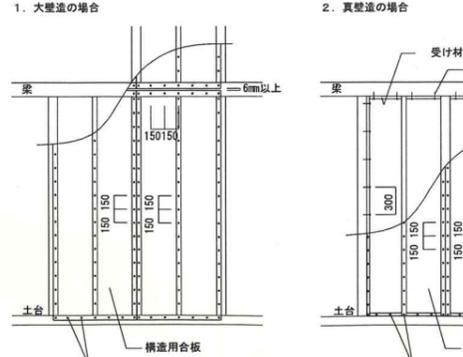
縦横方向	加力方向	
	縦横方向	縦横直交方向
E1	15d	10d
P1	12d	10d
E2	5d	8d
P2	5d	8d

(11) ボルトの最小間隔及び最小端あき距離

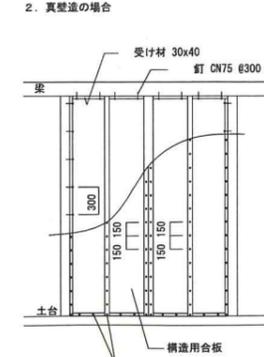
縦横方向	加力方向	
	縦横方向	縦横直交方向
E1	7d (荷重負担側) 4d (荷重非負担側)	7d
P1	7d	t/d=2 2 ≤ t/d < 6 3d~5d t/d > 6 5d
E2	t/d ≤ 6 1.5d t/d > 6 1.5dかつP2/2	特記による。特記のない場合は以下の数値とする。 4d (荷重負担側) 1.5d (荷重非負担側)
P2	3d	4d

(12) 面材耐力壁

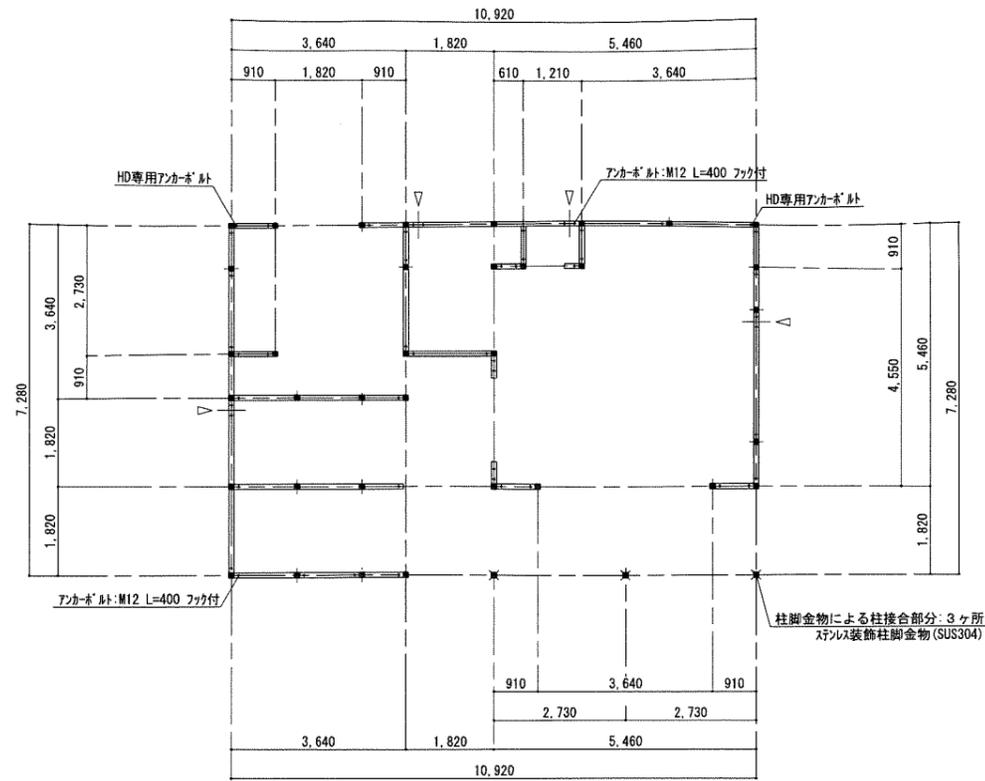
1. 大壁造の場合



2. 真壁造の場合



・受け材は柱や横架材にN75-E300以下で平打ちする。



土台・柱伏図 SCALE 1/100

■ ホールダウン専用アンカーボルト: 2ヶ所

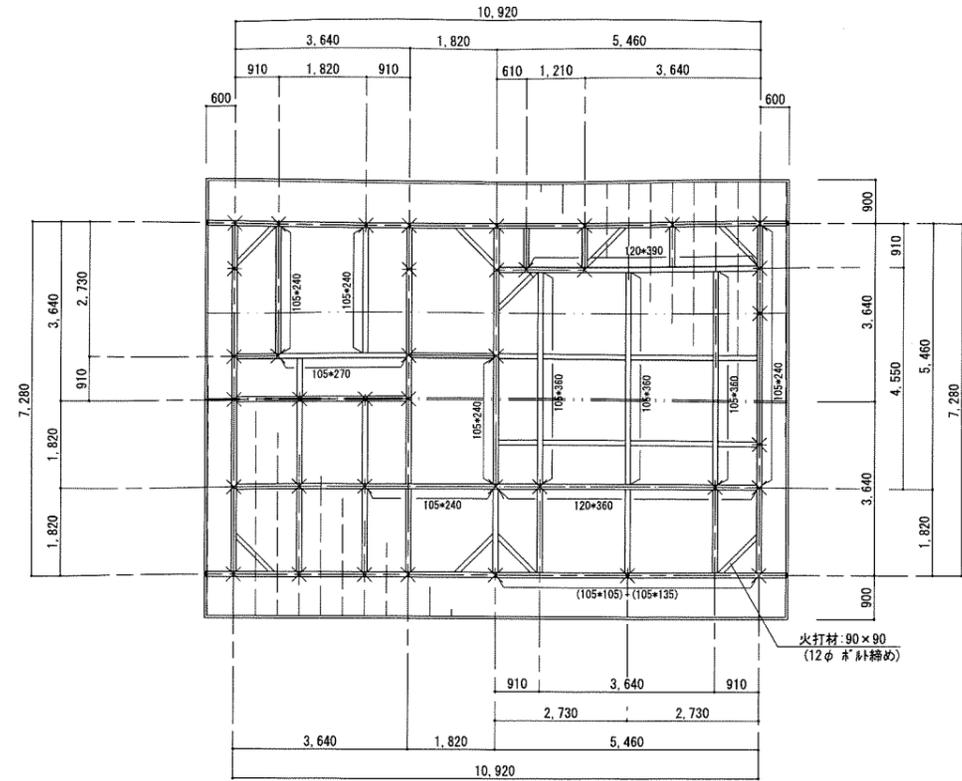
土台 凡例

・ 柱		上部 柱を示す (105*105)
・ 土台		105*105

※防蟻、防蟻措置: GL+1,000以内の外壁軸組、外壁木系下地[環境対策品を使用のこと]

凡 例	
・	アンカーボルト:M12 L=400 フック付
■	ホールダウン (HD-B15) 専用アンカーボルト (フック付) ※L=600~1,000: 金物取付状況を検討し、選択すること。
▽	土台継手箇所 (想定) を示す
	現場において施工図により設置箇所を検討すること

注意1: アンカーボルトは図示以外、土台切れ箇所、土台継手及び土台仕口箇所にも取りつけること。



小屋伏図 SCALE 1/100

小屋 凡例

・ 柱		下部 柱を示す
・ 梁		特記なき部材は 105*105 とする [梁材はすべて米松KD材とする]
・ 棟 木		105*120
・ 母 屋		90*90 @1,820
・ タ ル キ		45*105 @ 455

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所

E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理 建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

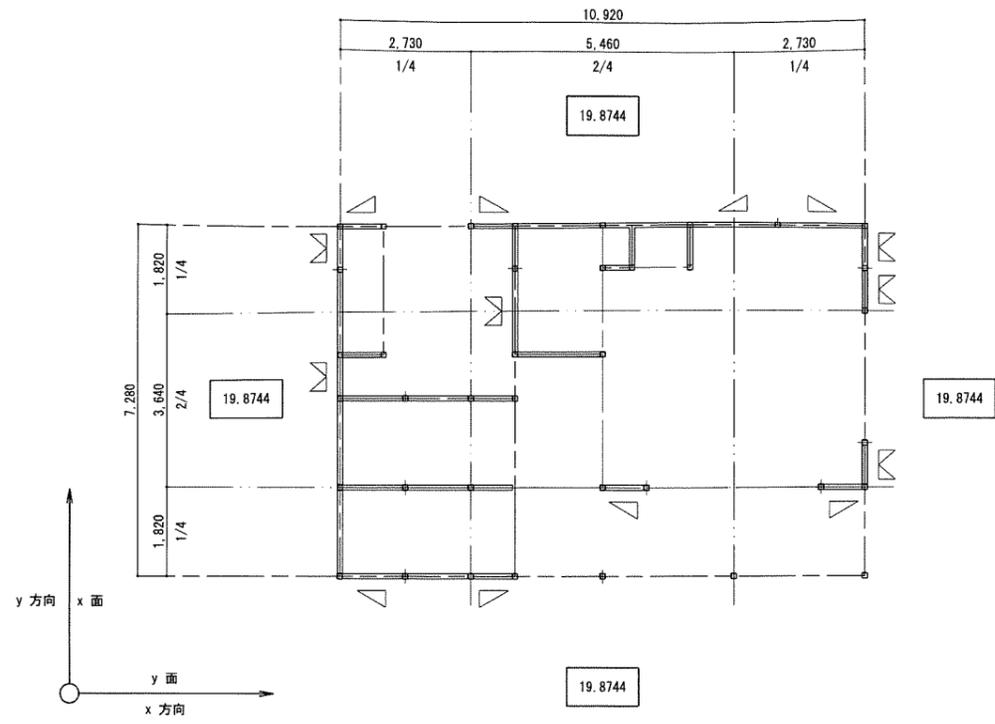
設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 22 . 11 .
Scale 1/100

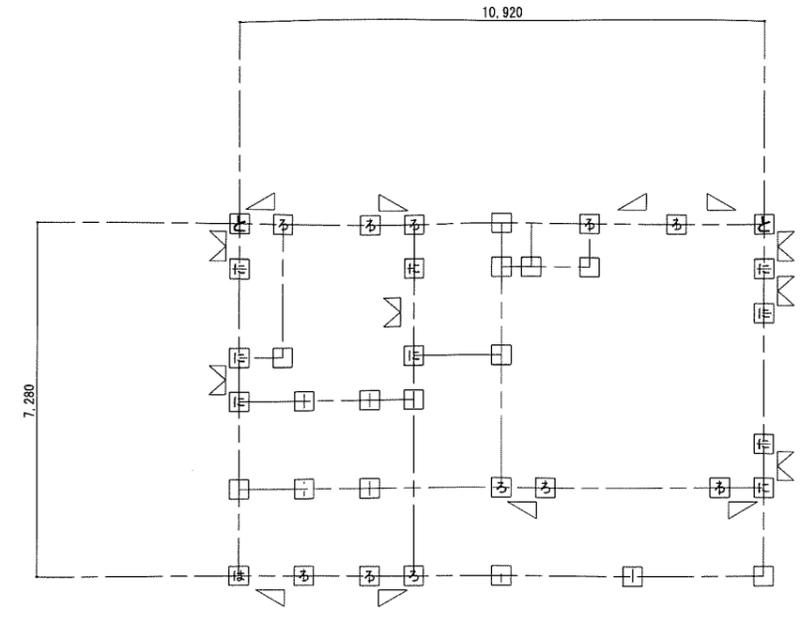
Title
H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事

Drawing Title
土台・柱伏図 小屋伏図

Sheet No.
S-06 / S-07
整理番号 10018



土台・柱伏図 SCALE 1/100

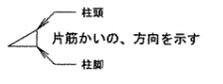


※H12建告1460号による
接合金物位置図 SCALE 1/100

凡 例

	筋かい	45 × 90
	筋かい	45 × 90 (タスキ掛)

柱と横架材との仕口(接合部)の仕様を示す[表示なき部分は、(い)とすることができる]
(告示1460号 表三)



※筋かい端部における仕口[厚さ4.5cm以上で幅9cm以上の木材]
厚さ2.3mm以上の鋼板添え板を、筋かいに対して経12mmのボルト締め及び長さ50mm、経4.5mmのスクリークぎ7本の平打ち、
柱及び横架材に対してそれぞれ長さ50mm、経4.5mmのスクリークぎ5本の平打ちとしたもの

記号	仕 様	N値	接合耐力 (kN)
(い)	短ほぞ差し、及び かすがい打	0	0.00
(ろ)	長ほぞ差し込み栓打、又は L字形かど金物[CP-L]、くぎCN65:5本	0.65	3.44
(は)	T字形かど金物[CP-T]、くぎCN65:5本	1.0	5.92
	山形プレート金物[VP]、くぎCN90:8本		
(に)	羽子板ボルト φ12mm(スクリークぎなし)、又は 短冊金物(スクリークぎなし)	1.4	7.41
(ほ)	羽子板ボルト φ12mm(スクリークぎ:L=50, φ4.5)、又は 短冊金物(スクリークぎ)	1.6	8.47
(へ)	10kN用引き寄せ金物[HD-B10]	1.8	9.53
(と)	15kN用引き寄せ金物[HD-B15]	2.8	14.82
(ち)	20kN用引き寄せ金物[HD-B20]	3.7	19.58
(り)	25kN用引き寄せ金物[HD-B25]	4.7	24.87
(ぬ)	15kN用引き寄せ金物[HD-B15]*2枚	5.6	29.64

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265-79-8836 Fax 0265-79-8912

設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 22 . 11 .
Scale 1/100

Title H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事

Drawing Title 壁量算定図 接合金物位置図

Sheet No. S-07 / S-07
整理番号 10018

電気設備工事 特記仕様書

- 1 工事概要
1 工事名称 H22年度 農村活性化支援事業
2 工事場所 長野県 上野原町 大平中実路 3730-246, 3730-247, 3730-248, 3730-215, 3730-216
3 用途地域等 都市計画区域 (内) 外 (用途地域 ())
4 主要用途 その他 (農業体験交流センター) [08900]
5 着工前の提出 青(白)焼縮小(A3版) 2つ折製本2部、青(白)焼(A2版) 2つ折製本1部を工事打合せ時に提出のこと

Table with 4 columns: 工事種目, 建物別及び屋外, 工事種別, 備考. Lists various electrical equipment and their specifications.

- 7. 電気設備工事特記仕様
(1) 共通事項
(2) 機械設備工事及び建築工事を含む場合
(3) 特記事項

- 1 適用基準等
2 材料等
3 材料の品質・性能証明
4 保険
5 雇用
6 施工計画書・施工図等
7 手続き
8 工事実績情報の登録
9 事故報告
10 電気保安技術者
11 工事用電力、水、他
12 工事用設備
13 監督業務所
14 足場、さんばね
15 発生材の処理

- 16 発生材の処理
17 発生材の処理
18 発生材の処理
19 発生材の処理

Table with 4 columns: 設置場所, 一般の用途, 重要用途, 一般の用途. Lists equipment types and their applications.

- 16 他工事との工事区分
17 保護、結露防止
18 電線類
19 合成樹脂製可とう管
20 二重合線可とう管
21 電線本数、管径など
22 インサート
23 呼び線
24 フラッシュプレート
25 フロアプレートベース
26 ハンドホール蓋
27 支持金物、固定金物
28 配線用ケーブル
29 配線用ケーブル
30 配線用ケーブル
31 配線用ケーブル
32 配線用ケーブル
33 配線用ケーブル
34 配線用ケーブル

Table with 4 columns: 接地の種類, 記号, 接地抵抗値, 接地抵抗値の範囲. Lists grounding types and their specifications.

- 35 塗装工事
36 山留め
37 公共事業労働者に対する協力
38 不法無届の排除
39 工事経過記録

- 1 工事範囲
2 電気方式
3 施工方法
4 電線類
5 電線管
6 電線管
7 電線管
8 電線管
9 電線管
10 電線管

- 11 電線管
12 電線管
13 電線管
14 電線管
15 電線管
16 電線管
17 電線管
18 電線管
19 電線管
20 電線管

- 1 電気方式
2 施工場所及び環境
3 工事範囲
4 受電部
5 電線管
6 接地抵抗
7 測定用補助接地

- 1 電気方式
2 電気方式
3 引込ケーブル
4 電線類
5 主要断接器
6 高圧機器等
7 変圧器容量
8 三相用コンデンサ
9 リアクトル
10 自動制御装置
11 測定用補助接地

- 1 電気方式
2 電気方式
3 電気方式
4 電気方式
5 電気方式
6 電気方式
7 電気方式
8 電気方式
9 電気方式
10 電気方式

- 1 電気方式
2 電気方式
3 電気方式
4 電気方式
5 電気方式
6 電気方式
7 電気方式
8 電気方式
9 電気方式
10 電気方式

- 1 電気方式
2 電気方式
3 電気方式
4 電気方式
5 電気方式
6 電気方式
7 電気方式
8 電気方式
9 電気方式
10 電気方式

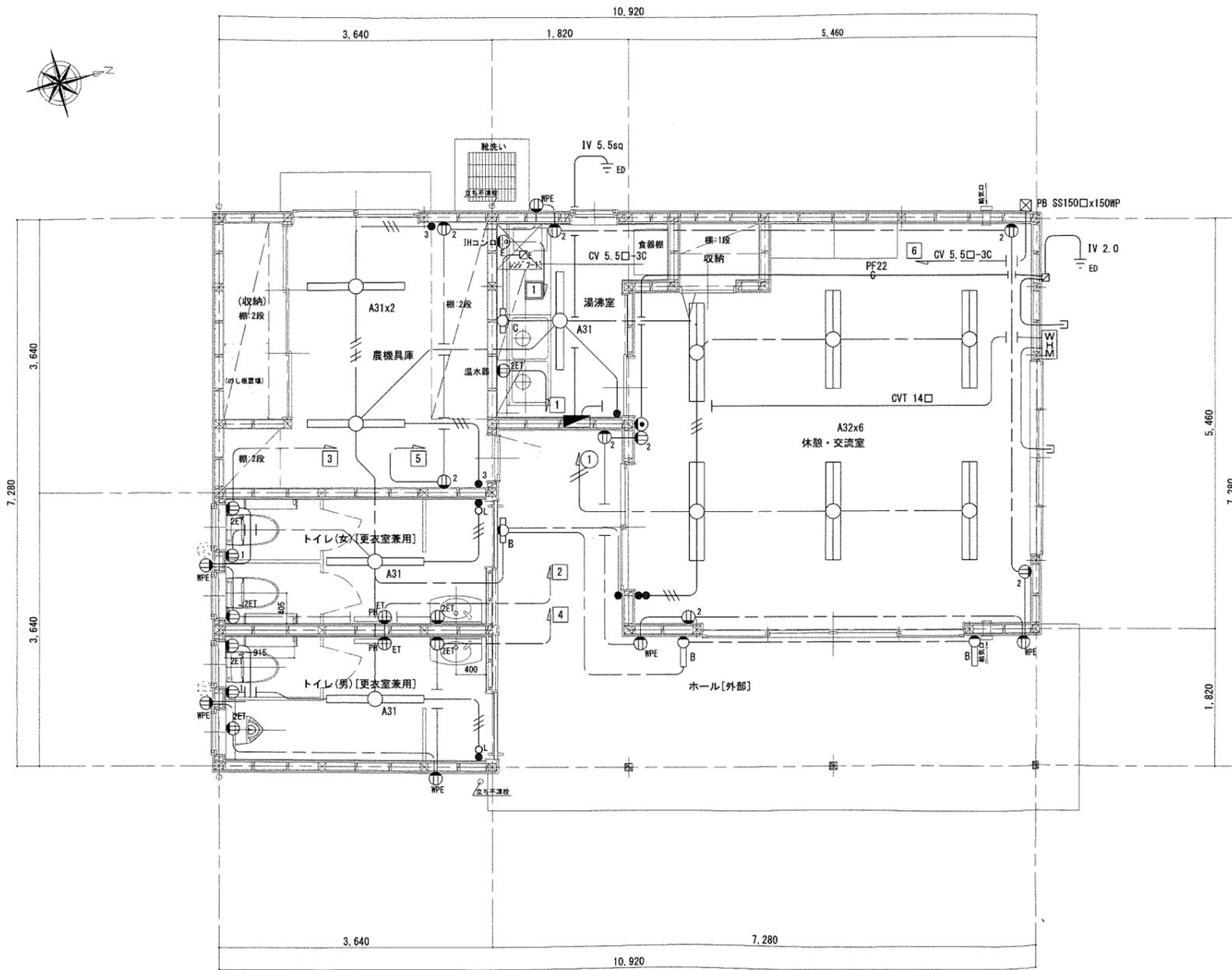
- 1 工事範囲
2 監視制御設備
3 表示操作盤
4 監視制御装置

- 1 工事範囲
2 電気方式
3 布設方法
4 地上機器
5 高圧ケーブルの
6 その他
7 外灯設備
8 上下対策
9 保護シート
10 予備配管

- 1 工事範囲
2 用途
3 施工方法
4 保護シート

- 1 完成図書
2 完成図書
3 完成図書
4 完成図書
5 完成図書
6 完成図書
7 完成図書
8 完成図書
9 完成図書
10 完成図書

Horuichi Architect & Associates
堀口設計事務所
Title H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事
Drawing Title 電気設備工事 特記仕様書



平面図 SCALE 1/50

分電盤名称				
主開閉器 幹線サイズ 容量(A)	回路番号	分岐回路 容量(A)	負荷容量 (W)	回路名
1φ3W CVT14口 ECB 3P60A 欠相保護付 8. 200	①	MCB2P20A	950	電灯
	1	MCB2P20A	2. 500	IHコンロ
	1	MCB2P20A	1. 100	温水器
	2	MCB2P20A	1. 000	パネルヒーター
	3	MCB2P20A	800	女子トイレコンセント
	4	MCB2P20A	700	男子トイレコンセント
	5	MCB2P20A	1. 150	交流室他コンセント
	6	MCB2P20A	0	予備

分電盤結線図

器具 凡例		
記号	仕様・寸法等	数量
IHコンロ	IHコンロ[1口]標準プレート:2.5kW 1φ200V 手元開閉器容量:20A [マルゼン]MIH-L02HC 同等	1
レンジフード	レンジフード[常時換気タイプ] (H600, D610, H600) 照明付 (40W白熱灯) 防虫網付ケガレ加工-(金属製) 共	1
パネルヒーター	100V 500W	2
電気温水器	100V 1,100W	1
	逆フジ型 3.2W x 1 FSS9-321	5
	逆フジ型 3.2W x 2 FSS9-322	6
	防雨型 2.0W x 1	3
	流し元 2.0W x 1	1

特記なき配線は、下記による。

	コンセント回路は全てVVF2.0-3Cとする。
	VVF 1.6-2C
	VVF 1.6-3C
	VVF 1.6-2Cx2
	VVF 2.0-2C

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265-79-8836 Fax 0265-79-8912

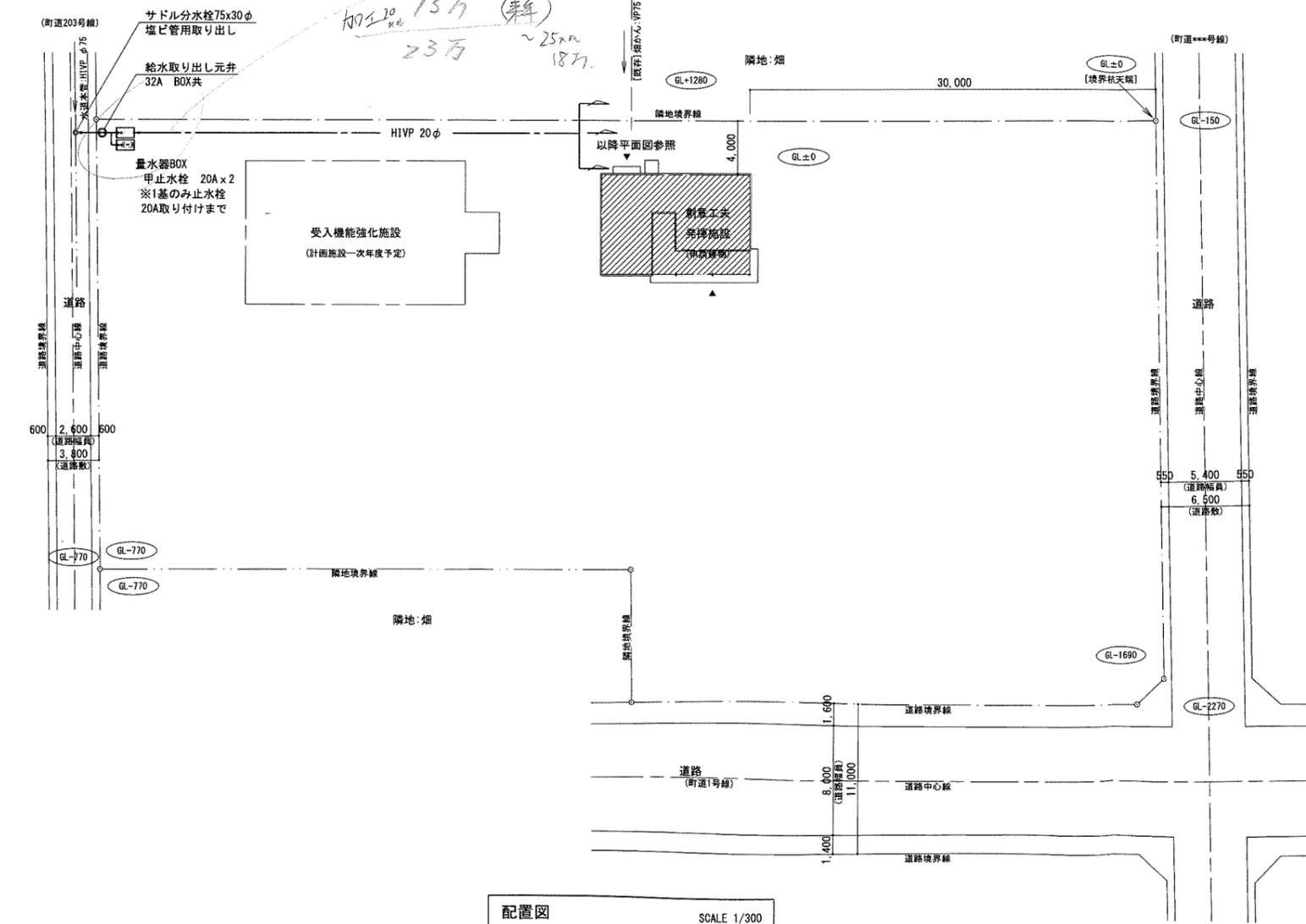
設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆
Date H 22 . 11 .
Scale 1/50

Title H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事

Drawing Title [電気設備]平面図

Sheet No. E-02 / E-02
整理番号 10018

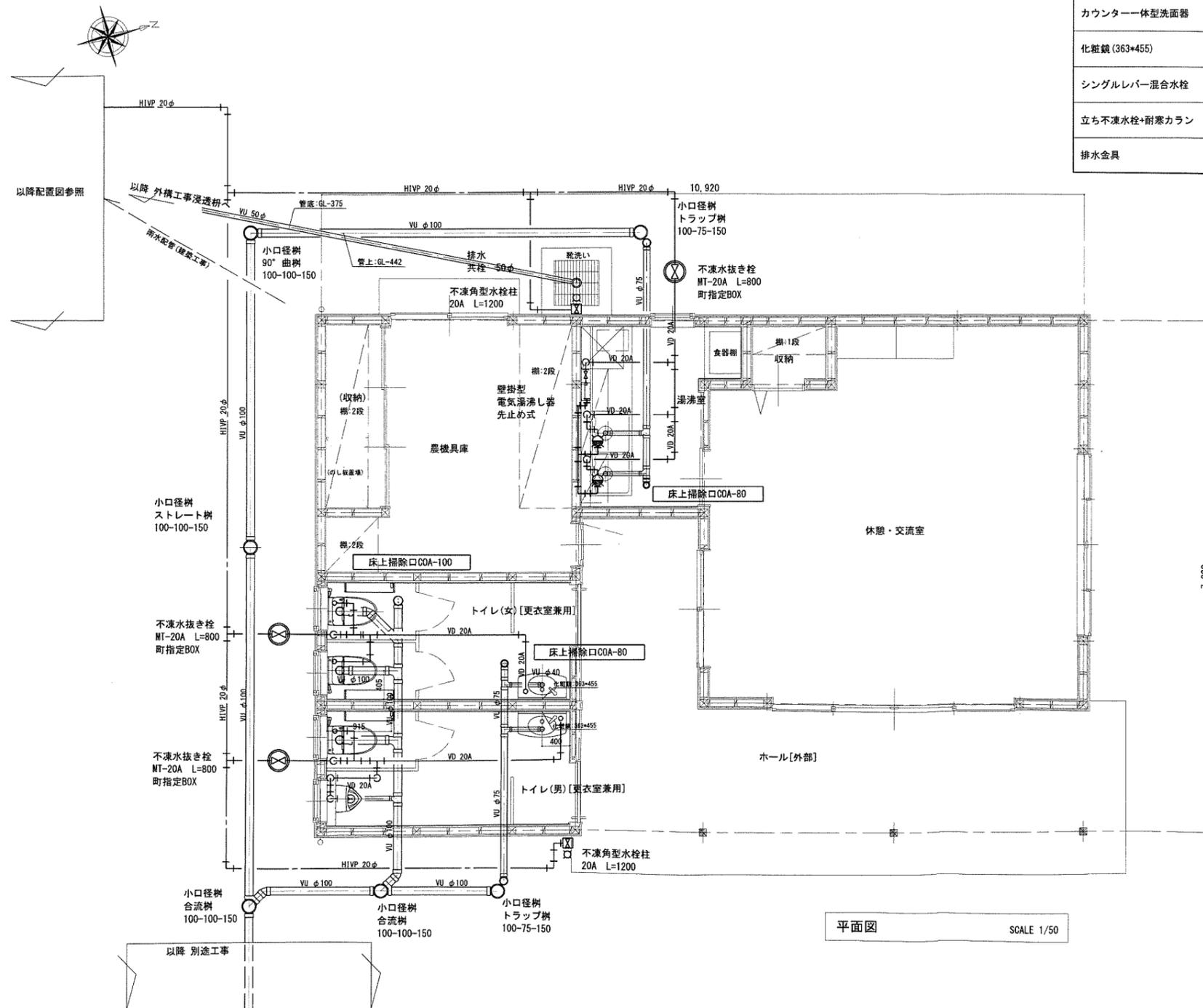
凡 例			
記 号	名 称	仕 様 ・ 規 格	
---	給水管 (屋外埋設)	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JIS K 6742 埋設深度 800H
---	給水管 (屋 内)	水道用硬質塩化ビライニング鋼管	JWWA K 116 SGP-VB
— I —	給湯管 (送り)	水道用耐熱性硬質塩化ビライニング鋼管	JWWA K 140 SGP-HVA
— II —	給湯管 (返り)	水道用耐熱性硬質塩化ビライニング鋼管	JWWA K 140 SGP-HVA
---	排水管 (屋外)	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741 屋外第一樹以降 (VU)
---	排水管 (屋内)	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741 屋内~屋外第一樹まで (VP)
---	通気管	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741
— G —	ガス管	配管用炭素鋼鋼管 (白管)	
⊙	仕切弁	JIS 10K	
⊗	不凍水抜栓	600L (塩ビ150ABOX共)	
⊕	水栓類	寒冷地仕様	
⊖	散水栓	寒冷地仕様 自動接手付 (BOX共)	
+○	ガス栓、ガスロック		
⊖	床上掃除口	COA	
⊖	通気金物	VE	
○	塩ビ製小口径汚水樹	主管径 φ100 樹径 φ150	
— D —	ドレン管	硬質塩化ビニル管	
— R —	冷媒管	断熱被覆鋼管	
⊠	矩形ダクト	亜鉛鉄板 (厨房排気ダクトは0.8t)	
⊠	丸ダクト	スパイラルダクト (厨房、多湿箇所はVPダクト)	



Horiguchi Architect & Associates 堀口設計事務所 E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp	一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号 管理 建築士 堀口 隆 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2 Phone 0265-79-8836 Fax 0265-79-8912	設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆	Date H 22 . 11 . Scale 1/300	Title H22年度 農村活性化支援事業 創意工夫発揮施設 建設工事	Drawing Title [機械設備]配置図	Sheet No. M-02 / M-04 整理番号 10018
---	--	------------------------------	---------------------------------------	---	----------------------------	--

器具表

名称	品番 (参考品番)	付属等 (参考品番)	トイレ(男)	トイレ(女)	湯沸室	外部	合計	備考
洋風便器(タンクレス)	材質トイブ リッド RHO [CES9754H]		1	2			3	
プッシュボタン小便器	UFJ300CVF		1				1	ヒーター付
手すり(紙巻器一体型)	YHB62BSHRW		1	2			3	
カウンター一体型洗面器	L270D	TEN41AX(自動水栓) T75W1 TL220D	1	1			2	
化粧鏡(363*455)	TS119ASR3	TS119DSR(止め金具)	1	1			2	
シングルレバー混合水栓	T230UDSX	RED専用			2		2	
立ち不凍水栓+耐寒カラン	D-X-2013120+KTL-10	浸マスカバーセット(OM-C)				2	2	
排水金具						1	1	靴洗い



平面図 SCALE 1/50

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265-79-8836 Fax 0265-79-8912

設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 22 . 11 .
Scale 1/50

Title H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事

Drawing Title [機械設備]衛生設備平面図 器具表

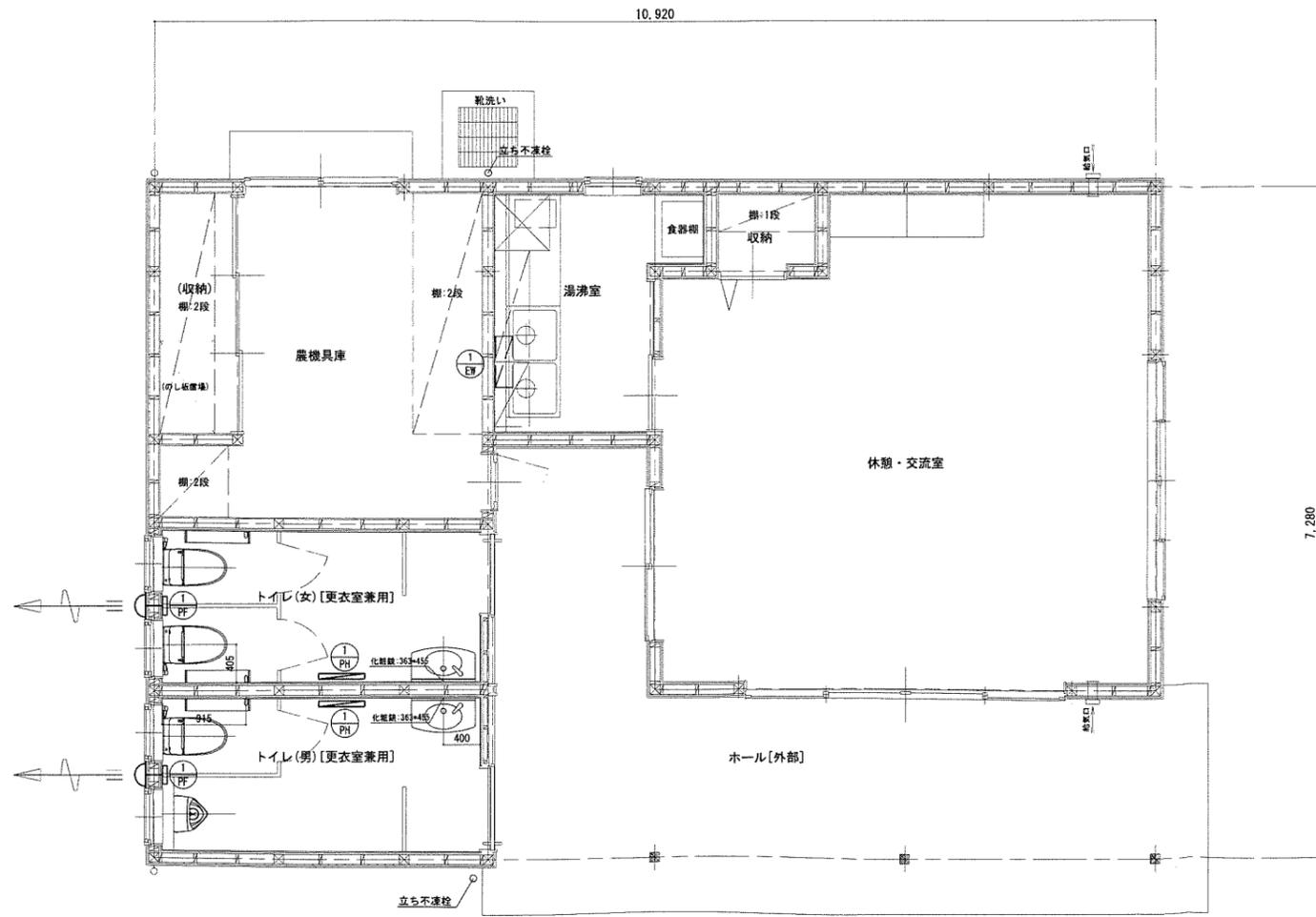
Sheet No. M-03 / M-04
整理番号 10018

機器表

記号	機器名称	台数	仕様	設置場所	参考品番
PF-1	ハイ用換気扇	2	ハイファン 64-37GMH 2.7W/100V 丸形フード(ギョウリ, 防虫網付)	トイレ(男)(女)	V-08PALD6, P-13FAQ5
PH-1	パネルヒーター	2	壁掛形 431kcal/h 単相100V-500W	トイレ(男)(女)	EP-45T 500S
EW-1	電気温水器	1	壁掛形 単相100V-1.1kW 貯湯量:約12L	湯沸室	RED12A1D

※1. レンジフード、キッチンセットは建築本体工事

※2. 浄化槽は別途



平面図 SCALE 1/50

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inaoatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265-79-8836 Fax 0265-79-8912

設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 22 . 11 .
Scale 1/50

Title
H22年度 農村活性化支援事業
創意工夫発揮施設 建設工事

Drawing Title
[機械設備]換気設備等平面図 機器表

Sheet No.
M-04 / M-04
整理番号 10018